



DVDビデオ・ナビゲーション内蔵
DVD/CD/MD ネットワークAVシステム

AVN7703D

取扱説明書

ナビゲーション編

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要ときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

NAVIGATION SYSTEM

ナビゲーションシステム

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として
地図と音声で案内するものですが、精度により、
まれに不適切な案内をする場合があります。

案内ルートを走行するときは、
必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

〈地図DVD-ROMについて〉

このGPSナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、株式会社デンソーと株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。

ただし、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。

地図データの詳細につきましては、**MENU**の**使用データ**、または地図ディスクのバックカードをご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図および2.5万分の1地形図を使用しました。
- この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
- 交通規制データの保証について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。

- 道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。
- 著作権および使用実施権について
この地図に使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が有し、二次的著作物作成の使用実施権は（株）ゼンリンが取得しています。
この地図に使用している交通規制データを無断で複写複製・加工または改変することはできません。

©財団法人 日本デジタル道路地図協会

©TMT

©（株）デンソー & （株）ゼンリン & （株）トヨタマップマスター

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行する

- GPSマークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

走行中は、一部の細街路を消去します

- 安全のため、走行中は細街路を地図に表示しません。（ただし、細街路を走行している場合は除きます）

※本書の画面と実際の画面は、地図DVD-ROMの作成時期・種類などによって異なることがあります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

はじめに

1. 本書の見方	12
2. 特長	14
3. GPSナビゲーションについて	18
ナビゲーション画面の見方	18
4. GPSについて	20
GPSを利用できないとき	20
5. VICS (FM)、FM多重放送 (一般文字情報)の切り替えについて	21

基本操作

1. メニュー画面・リスト画面 について	22
メニュー画面	22
リスト画面の切り替え方	24
▲・▼の切り替え表示	24
前・次の切り替え表示	24
50音順の切り替え表示	24
行の切り替え表示	24
ページの切り替え表示	24
記号の切り替え表示	25
地域の切り替え表示	25
施設項目の切り替え表示	25
ヒント機能の操作	26
2. 画面の調整・音声の設定	27
画面の調整	27
画質調整画面を表示するには	27
コントラスト (鮮明度) ／明るさ調整	48
ライト点灯時に昼画表示に するには	27
画面を消すときは	28
地図の表示色の切り替え	28

時計表示の切り替え	29
音声の設定	30
音量を調節する	30
自動音量切り替えを設定する	30
操作説明音声の設定	31
音声設定から操作説明音声を 設定する	31
ナビ設定から操作説明音声を 設定する	31
ハートフル音声の設定	32
ハートフル音声を設定する	32
3. 地図の表示	33
現在地の表示	33
地図の移動 (ワンタッチスクロール)	34
地図の移動	34
スクロール方面名称の表示を 設定する	35
タッチスイッチの表示	36
地図縮尺の切り替え	37
市街図の表示	38
市街図表示に切り替える	38
市街図表示を解除する	38
施設の内容を表示する	39
地図向きの切り替え	40
地図の向きを切り替える	40
フロントワイド表示の切り替え	41
フロントワイド表示を設定する	41
2画面表示の切り替え	42
2画面表示に切り替える	42
右画面を操作する	42
2画面表示を解除する	43
ハイウェイモード画面	44
ハイウェイモード画面を 操作する	45
ハイウェイモードを解除する	45

3D表示の設定	46
3D表示に切り替える	46
バーチャタウンマップを 表示する ..46	
バーチャタウンマップの 視点を設定する ..47	
見下ろす角度を調整する	48
地図向きを回転する	48
ビル表示を設定する	49
ビルの高さを設定する	49
ルート方向アップ表示を 設定する ..50	
スケラブルフォント 地図表示を設定する ..50	
3D表示を解除する	51
ビジュアルシティマップ (リアルワイドマップ) の表示 ..52	
ビジュアルシティマップ 表示を設定する ..52	
シーズンレジャーランドマーク の表示 ..53	
シーズンレジャーランドマーク 表示を設定する ..53	
観光地名称／均一区間料金 の表示設定 ..54	
観光地名称／均一区間料金 の表示を設定する	54
ポップアップ表示設定	55
ポップアップ表示を設定する ..55	
立体ランドマークの表示	56
表示切替から立体ランドマークを 表示する ..56	
ナビ設定から立体ランドマークを 表示する ..56	
立体ランドマークの内容を 表示する ..57	

県境お知らせの設定	57
県境お知らせ表示を設定する ..57	
施設の表示	58
1ジャンルのみを表示する (簡易操作) ...59	
施設ランドマークを消去する ..59	
複数ジャンルを表示する	59
周辺の施設を検索する	60
ルートを考慮したリストを 表示する ...61	
施設の情報を表示する	61

4. 地図の呼び出し方法

50音で地図を呼び出す	64
エリア別で絞り込みする場合 ..65	
施設ジャンル別で絞り込み する場合 ...67	
施設で地図を呼び出す	68
電話番号で地図を呼び出す	70
住所で地図を呼び出す	72
郵便番号で地図を呼び出す	73
メモリ地点で地図を呼び出す	73
目的地履歴で地図を呼び出す	74
マップコードで地図を呼び出す ...74	

5. 呼び出した地図の操作

表示した地図の操作	75
位置の変更	76
施設内容の表示	76
提携駐車場の検索	77
周辺住所の検索	78

ナビゲーション案内

1. 目的地設定・ルート探索

 について80

2. 目的地を設定して

 ルート探索82

目的地の設定	82	案内の中止・再開	105
ワンタッチで設定する	82	デモンストレーション (デモ)	106
地図の呼び出し方法から 設定する	84	5. 目的地案内について	107
ルート探索	85	交差点案内	107
全ルート図表示	86	分岐しない交差点	107
季節規制区間の表示・回避	88	分岐する交差点 (交差点案内画面)	107
季節規制区間を回避する	88	立体的な案内画面	108
季節規制区間メッセージ表示を 設定する	88	3D交差点案内画面	108
ルート情報 (案内道路情報) の表示	89	3D交差点拡大図を 設定する	108
5ルート同時表示	90	レーン (車線) リスト図表示	109
3. 探索ルートの変更	91	レーンリスト図表示を 設定する	109
目的地の追加	92	交差点案内画面・ レーンリスト図表示の解除	109
探索条件の変更	94	道路形状警告	110
目的地の並び替え	95	道路形状警告を設定する	110
目的地の消去	96	フェリー航路の案内	110
ルート変更から消去する	96	到着予想時刻の表示	111
目的地から消去する	97	到着予想時刻表示を設定する	111
出入口インターチェンジ (IC) の指定	98	平均車速を設定する	112
インターチェンジ (IC) 指定 の解除	99	料金案内	113
通過道路の指定	100	料金案内を設定する	113
全ルート図画面で指定する	100	車両情報を設定する	114
ルート変更から指定する	101	高速分岐案内	115
通過道路指定の修正	102	高速分岐案内画面を解除する	115
通過道路指定の解除	103	都市高速マップ	116
ルートのショートカット学習	104	都市高速マップ表示を 設定する	116
ルートのショートカット学習を 設定する	104	音声案内	117
4. 目的地案内の開始・ 中止・再開 ...	105	他モードでの案内	119
案内の開始	105	音声設定から他モードでの 案内を設定する	119
		ナビ設定から他モードでの 案内を設定する	119

6.案内ルート操作120

- 全ルート図の再表示120
- 残距離表示の切り替え120
- オンルートスクロール121
 - オンルートスクロールを
開始する ...121
 - オンルートスクロールの
施設を設定する ...121
 - オンルートスクロール画面の
操作について ...122

7.ルートの再探索123

- ルートの再探索について123
- ルートの再探索125
- 自動再探索126
- 自動再探索を設定する126

地点の登録

1.地点の登録とは128

2.自宅の登録129

- 自宅の登録・消去129
- 自宅を登録する129
- 自宅を消去する130

3.メモリ地点の登録・

修正・消去 ...131

- メモリ地点の登録131
 - ワンタッチ登録する131
 - 離れた場所を登録する131
- メモリ地点の位置修正134
- メモリ地点の記号変更135
- メモリ地点の電話番号入力136
- メモリ地点の名称入力137
- ひらがな・漢字を
入力するには ...138
- メモリ地点の名称読み入力139
- メモリ地点の名称表示140

- メモリ地点の消去140

4.特別メモリ地点の登録・

修正・消去 ...141

- 特別メモリ地点の登録141
- 特別メモリ地点の修正142
- 特別メモリ地点の消去143

5.迂回メモリ地点の登録・

修正・消去 ...144

- 迂回メモリ地点の登録144
- 迂回メモリ地点の修正146
- 迂回メモリ地点の消去146

6.目的地履歴について147

- 目的地履歴の消去147
- 履歴を消去する147

VICS機能

1.VICS情報について148

- VICSとは148
- VICSのメディア概要149
- VICS特有の事項149
 - FM多重放送特有の事項 ...149
 - 電波ビーコン特有の事項 ...150
 - 光ビーコン特有の事項150

VICS情報提供内容と

表示について ...151

- レベル1151
- レベル2151
- レベル3151

2.放送局の受信152

- VICS提供放送局の選択152
- 自動で選択する152
- エリアで選択する152
- 周波数を手動で選択する153

3.VICS情報の表示・案内154

VICS情報の表示設定	154
VICS情報の表示	154
VICS情報を地図表示する	155
渋滞情報	155
規制情報	155
駐車場、SA・PA情報	155
VICS記号の内容表示に ついて	156
VICS情報を消去する	156
渋滞・規制音声案内	156
渋滞・規制の案内を 再音声する	156
VICS文字情報の表示	157
VICS図形情報の表示	158
割り込み情報（ピーコン即時案内） の表示	159
割り込み情報の表示を 設定する	159
割り込み情報を呼び出す	160
渋滞考慮探索	161
渋滞考慮探索を設定する	161
VICS記号	162
凡例	162
VICSの用語説明	163
VICSの問い合わせ先	163

インフォメーション機能

1. インフォメーション（情報）

画面について	164
インフォメーション （情報）画面	164
画面の設定	166
優先画面を設定する	166
操作画面・効果音を設定する	166
背景画を切り替えるには	167

小音時の低・高音調整	167
ノンフェーダ出力の設定をする	167

8. デモ機能

デモの操作	168
-------------	-----

3. FM多重放送

FM多重放送の番組について	169
FM多重放送の表示	169
放送局の切り替え	169
番組の切り替え	170
独立情報番組のページ送り	170
連動情報番組の文字情報を 繰り返し見る	171
文字情報の記録・ 呼び出し・消去	171
記録する	171
呼び出す	171
消去する	172

4. メンテナンス機能

メンテナンスメニュー画面	173
メンテナンス時期の設定	174
メンテナンス案内の設定	176
メンテナンスの案内	176
メンテナンス時期の更新	177
メンテナンス時期の解除	178
販売店の設定	178
販売店の修正・消去	179

5. 電話帳機能

電話帳の検索	180
--------------	-----

6. レジャーインフォメーション

（レジャー <i>i</i> ）の検索	181
レジャーインフォメーション （レジャー <i>i</i> ）の検索・表示	181

7. カレンダー機能

カレンダー画面	182
メモの登録	182

メモの案内	183
メモの修正	183
メモの削除	184
メモマーク色・日付色の変更	184
メモ一覧の表示	185

8. 情報付施設の検索186

情報付施設の検索・

表示・編集	186
施設情報画面を操作する	186
施設情報画面を登録する	187
施設情報画面を呼び出す	187
施設情報画面を消去する	188

音声操作

1. 音声操作システムについて ...190

音声操作システムの構成	190
音声を正しく認識するために	190
音声操作の切り替え・解除	191
音声操作を切り替える	191
音声操作を解除する	191

2. 音声操作システムの操作例 ...192

基本操作	192
メニュー画面を表示する	192
音量を設定する	193
現在地を表示する	193
地図の縮尺を切り替える	193
市街図を表示する	194
地図の向きを切り替える	195
2画面表示に切り替える	195
3D表示に切り替える	196
施設ランドマークを表示する	196
地図の呼び出し方法	197
施設で地図を呼び出す	197
電話番号で地図を呼び出す	198
住所で地図を呼び出す	199

マップコードで地図を呼び出す	200
メモリ地点で地図を呼び出す	201
目的地の案内	202
目的地を設定する	202
登録されている地点へ ルートを探索する	202
目的地を追加する	202
音声案内を再度聞く	202
地点の登録	203
メモリ地点を登録する	203
音声付きメモリ地点を 登録する	203
方向付きメモリ地点を 登録する	203
VICS	204
知りたいインフォ機能	205
カレンダー機能について	205
地図に関して	205
目的地案内に関して	205
VICS情報に関して	205
タクシーモード	206
タクシーモードで目的地を 設定する	206
自動タクシーモードを 設定する	206
ハンズフリー機能	208
ダイヤル発信で電話をかける	208
メモリダイヤルから電話をかける	208
3. 音声認識コマンド一覧	209
ナビゲーション画面を 切り替えるコマンド	209
操作のヒントを 表示するコマンド	209
ナビゲーションの各機能を 実行するコマンド	210

地点を検索・表示する

コマンド ..212

ナビゲーションの設定を

変更するコマンド ..213

知れたインフォコマンド214

ハンズフリーで利用できる

コマンド ..215

設定する ..232

オプション機能

1. 電話機の接続216

電話機の取り付け216

電話機の取りはずし216

2. 接続先の設定218

通信モードの設定218

3. インターネットの操作220

インターネットとは220

インターネット情報について ..220

インターネットメニューの表示・221

インターネットを初めて

使うときは ..223

ホームページの表示223

Bookmark224

Bookmarkを登録する224

Bookmarkを呼び出す224

Bookmarkを編集する225

Bookmarkを削除する226

インターネット接続 (URL入力) ..227

履歴228

メール228

ブラウザ設定

(インターネット専用) ..229

接続設定230

登録済みのプロバイダから

設定する ..230

希望のプロバイダを入力して

4. iモードの操作235

iモードとは235

iモードのご利用について236

iモードメニュー画面の表示237

サイト (番組) の接続238

iモードによる施設検索240

Bookmark241

Bookmarkを登録する241

Bookmarkを呼び出す241

メール・メッセージとは242

メールやメッセージの受信242

iモードメール243

受信メールを表示する244

メールを返信する246

メールを転送する248

メールを作成する249

位置を添付する251

アドレスを表示する252

アドレスを登録する253

アドレスを修正する254

アドレスを削除する254

メッセージの表示255

インターネットの接続256

ブラウザ設定 (iモード専用) ..257

5. ハンズフリー機能の操作258

ハンズフリーの概要258

操作画面の概要259

電話をかける260

番号を入力して電話をかける ..260

着信履歴から電話をかける ..261

メモリダイヤルから

電話をかける ..262

リダイヤルから電話をかける ..263

電話を受ける263

電話番号の登録264

ダイヤル発信画面から登録する	・ 265
メモリダイヤル発信画面	
から登録する	...265
携帯電話の登録メモリを	
登録する	...266
メモリダイヤルの変更・削除	...267
メモリダイヤルを変更する	...267
メモリダイヤルを削除する	...267
設定	268
電話番号を転送する	268
登録されている電話番号を	
消去する	...268

6. ヘルプネットの操作269

ヘルプネットとは	272
緊急通報	272
緊急通報の主な流れ	273
各部の名称とはたらき	274
マイク	274
会員登録するとき	274
会員登録を解約するとき	276
通報するとき	276
システムの点検	280
自動保守点検	280
手動保守点検	281
一般電話を使うとき	284
ヘルプネットの緊急通報が	
できない場合について	...286
廃車／転売について	288

7. ETCの操作289

ETC車載器を初めて使う	289
車両情報などを	
ETC車載器に登録する	...289
ETCカードを入手する	289
ETCとは	290
ETCメニュー画面	291
履歴の表示	292

登録情報の表示	292
ETCの設定	293
ETCの各項目を設定する	293
ETC割り込み案内について	..293

8. バックモニターの操作294

バックモニターの映像	294
------------	----------

こんなときは

1. ナビゲーションの補正が

必要なとき296

現在地の修正	296
距離の補正	298
自動補正するとき	298
手動補正するとき	298

2. 車両情報の表示300

車両情報の表示	300
---------	----------

3. 地図DVD-ROMの情報301

地図DVD-ROMの情報表示	301
----------------	---------

4. 知っておいて

いただきたいこと ...302

こんなメッセージが	
表示されたときは	..302
ナビゲーション全般に	
関係するメッセージ	...302
VICSに関係するメッセージ	...304
通信全般に関係する	
メッセージ	...305
iモードに関係するメッセージ	...306
故障とお考えになる前に	307
ナビゲーション全般に	
関係すること	..307
VICSに関係すること	309
ハンズフリーに関係すること	..310
ヘルプネットに関係すること	..311

音声操作に関係すること	312
こんなトークバックのとき	313
ヘルプネットの表示灯について ..	314
ヘルプネットサービス会員規約 ..	316

ご参考に

1. 精度と誤差について326

測位精度について	326
----------------	-----

GPS衛星の電波の性質と

受信状態について ..326

現在地表示の誤差
 327 |

タイヤによる誤差
 327 |

マップマッチングによる

自車位置検出の補正 ..327

現在地の精度について
 328 |

道路、地名データについて
 329 |

ルート案内について
 329 |

2. 用語説明.....330

ナビゲーション全般
 330 |

データ通信全般
 332 |

iモード全般
 332 |

インターネット全般
 333 |

3. 目的別索引335

地図に関して
 335 |

目的地案内に関して
 337 |

VICS
 338 |

情報
 339 |

オプション機能
 339 |

その他
 340 |

4. 索引341

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索
してお使いください。

1.本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo. とタイトルが付けられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

●点の登録

メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点（目印にする場所）は、地図に100箇所まで登録することができます。（100箇所を超えて登録するときは、不要なメモリ地点を消去してから登録してください。）

メモリ地点を登録しておく、

- 地図に記号および名称が表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。（73ページ参照）

メモリ地点の登録

ワンタッチ登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1 メモリ地点を登録する位置の地図にタッチします。（現在地に登録するときは、地図をスクロールする必要はありません。）

2 地点登録 にタッチすると、 または  の位置にメモリ地点が  記号で表示されます。



離れた場所を登録する

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 メモリ地点の **登録** にタッチします。



●800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。（ワンタッチ登録を除く）

- 表示されるメモリ地点の住所は、場所により隣接の地名が表示されることがあります。
- 登録したメモリ地点は、付近の名称、または住所が表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が同時に入力されることがあります。
- 高速道路を走行中に **地点登録** にタッチすると  記号で登録され、確認音がなります。

- 3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。
- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(62、75ページ参照)



- 4 **セット** にタッチします。

- **位置変更**、または  にタッチして地図を動かすことができます。



- 5 記号にタッチすると、 の位置にメモリ地点が選択した記号で表示されます。

- メモリ地点の記号は、**マーク1**・**マーク2**・**音声付き** にタッチして、記号の種類を変更します。



- マーク1

- **記号なし** にタッチすると、登録したメモリ地点の記号を地図に表示されないようにすることができます。



- マーク2

- 音声付きの記号を選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくくと音が鳴るようにすることができます。



- 音声付き



- **修正・消去** は、すでにメモリ地点が登録されているときのみ表示されます。
- **音声付き** の記号を選択したときは、確認音が鳴ります。

次ページに続く

133

セクション見出し

セクションの見出しのみを濃い色で表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

次ページに続く

操作手順が次ページに続く場合を表します。

2.特長

高精度ハイスピードレスポンス、 データ書き込みを可能にしたDVD (デジタルビデオディスク)

大容量のDVD-ROMナビゲーション大幅な
スピードアップを実現。

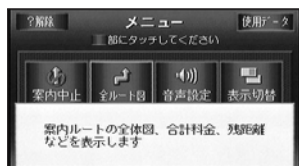
住所エリアをカラフルな色彩で色分け した見やすい地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに塗り分
けして地図を見やすく表示します。



タッチスイッチを説明する ヒント機能 (26ページ)

操作や機能について困ったときに画面上
(ナビゲーション) のタッチスイッチの機能
を説明します。



上下左右のスクロール先を 表示するスクロール方面表示

(35ページ)

地図のスクロール中は画面の上下左右方向
にある市区町村名、または都道府県名 (ス
ケールによって) を表示します。



ビルの向こう側まで透過して表示する バーチャタウンマップ (47ページ)

ドライバーの視点から現実の風景を3D画面
で表現した市街図で案内をすることができ
ます。また、視点の高さ、角度、地図の回
転や表示する建物の高さを設定することが
できます。



自由自在の3Dスクロール (48ページ)

3D地図表示のまま、好きな方向へ自由自在にスクロールができます。また、地図を見る位置を360°回転させたり、見下ろす角度を変えることができます。



音声のみで設定・操作する 音声操作システム (190ページ)

走行中に操作できなかったナビゲーションの操作が音声によって可能になります。また、オーディオ機能も操作できます。

道幅や道路種類などを表現する リアルワイドマップ (52ページ)

全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、広い道は太く、狭い道は細く、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。また、学校や駅などの施設マークを立体的に表示します（VICS情報表示中は、対象道路が専用色になります）。



全国の主要な観光地を表示する 観光地名表示 (54ページ)

全国の代表的な観光地名を表示することができます。また、均一区間有料道路の料金も地図上に表示することができます。



必要な道路だけを表示する 都市高速マップ (44ページ)

ルート案内中に都市高速道路を走行中、周囲の道路表示を省略して都市高速道路の情報のみを表示できます。



2. 特長

今いる場所を明確に把握できる

ポップアップ名称表示 (55ページ)

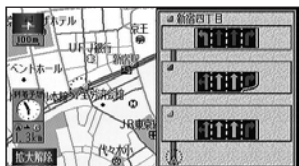
交差点、高速道路のICの名称をわかりやすくプレートでポップアップ表示することができます。また、同時に市区町村（または都道府県）名も表示することができるので、現在地やスクロール位置などが明確に把握することができます。



交差点までの車線を案内する

レーンリスト表示 (109ページ)

ルート案内中に分岐する交差点(手前約700mから)までの走行車線をリスト表示できます。



渋滞などの情報を表示する

VICS機能 (148ページ)

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字（レベル1）・簡易図形（レベル2）・地図（レベル3）で表示します。また、ビーコン／3レベル対応VICSユニットでは、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。



多様な情報を検索・表示・操作する

インフォメーション (情報) 機能 (164ページ)

●メンテナンス機能

ナビゲーションで使用するGPSカレンダーと距離情報を基に、車のオイルや消耗品の交換、各種点検時期あるいは車検などがきたことをナビゲーションの画面と音声でお知らせします。



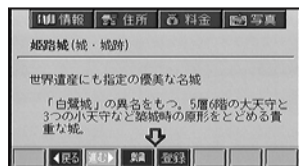
●電話帳検索機能

JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を検索します。



●情報付施設検索機能

主要な施設をジャンルから検索し、施設の情報・住所・料金・写真などを見ることができます。また、地図に表示したランドマークからも施設の情報をすることができます。



●レジャーインフォメーション (レジャー *i*) 検索機能

観光エリアからレジャー施設まで、多彩なスポットやコースを検索します。



●カレンダー機能

GPSのカレンダー機能でメモ（会議や用事など）などを登録し、当日にお知らせします。



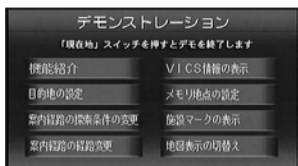
●FM多重放送表示機能

FM多重で放送される一般文字情報（見えるラジオ）を表示します。

各操作を確認できるデモ機能

(168ページ)

よく使われる機能の一連操作を確認することができます。



オプション機器を接続する システムアップ (216ページ)

●通信機能

携帯電話接続ケーブルを使って本機と携帯電話を接続し、インターネット、ヘルプネットなどの通信機能を利用できます。

●ETC

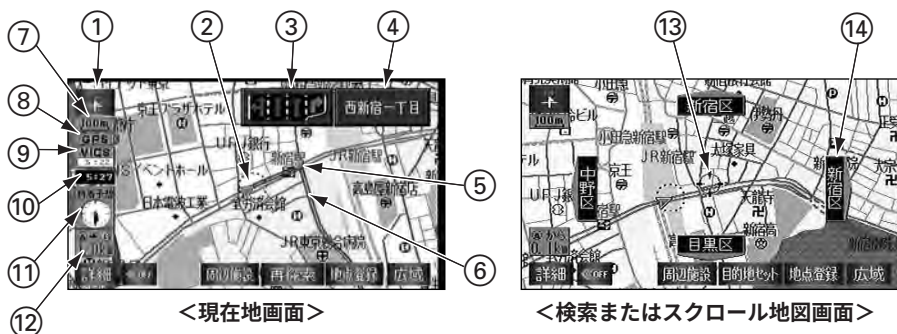
ETC(Electronic Toll Collection System)は、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。料金所に近づくと、ナビゲーション画面と音声で案内します。

3.GPSナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートを探検し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面と検索またはスクロールさせた地図画面があります。



①**方位マーク**（ヘディングアップ時は☉）
地図の方角が表示されます。

●**地図向き**（ノースアップ／ヘディングアップ）の切り替えについては、40ページを参照してください。

②**自車位置マーク**

現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③**レーン（車線）表示**

目的地案内中、通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図DVD-ROMに情報のある交差点のみ）

●分岐する交差点の手前では、走行する車線が青色（推奨）で表示されます。

④**名称表示**

目的地案内中、次のものが表示されます。（地図DVD-ROMに情報のある地点のみ）

- 通過・分岐する交差点の名称
- 走行している道路の名称
- 出口インターチェンジ（IC）の名称、ジャンクション（JCT）の方面名称（高速道路を走行しているとき）

⑤**案内ポイント**

目的地案内中、交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点案内画面）が表示される交差点に表示されます。

●交差点案内については、107ページを参照してください。

⑥**ルート表示**

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

●案内が行われるのは、濃い青（———）の表示上に現在地があるときのみです。

⑦**スケール表示**

表示させている地図の縮尺が表示されます。└─┐の長さがこの場合は100mになります。

⑧**GPSマーク**

状況により次のマークが表示されます。

●GPSについては、20ページを参照してください。

■GPSマーク **GPS**

人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、表示されます。

ただし、GPSマークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

⑨ VICSタイムスタンプ

VICS情報が発信されている地域で、VICS情報が提供された時刻が表示されます。

(目的地案内中のルート上に情報があるときは、タイムスタンプが、渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります。)

●VICS情報の表示については、154ページを参照してください。

⑩ 時計表示

現在の時刻が表示されます。

●表示については、29ページを参照してください。

⑪ 到着予想時刻表示／目的地方向マーク
状況により次のマークが表示されます。

■ 到着予想時刻表示

目的地案内中、目的地への到着予想時刻が表示されます。

●到着予想時刻については、111ページを参照してください。

■ 目的地方向マーク

ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。

⑫ 残距離表示

現在地から目的地までの距離が表示されます。

●目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。

●ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。

●残距離表示の切り替えについては、120ページを参照してください。

⑬ カーソルマーク

検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。

スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭ スクロール方面名称表示

スクロール先の方面名称が表示されます。

●スクロール方面名称については35ページを参照してください。

本書では一部の操作説明を除き、ノースアップ表示・2D表示の通常地図（ビジュアルシティマップ表示をしない）画面で説明しています。

また、「地図にタッチ」は直接、地図（タッチスイッチ以外の場所）をタッチすることを示しています。

4.GPSについて

GPS (Global Positioning System : 汎地球測位システム) は米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の GPS 衛星から地球に放射される電波を利用して現在地 (緯度・経度など) を知ることができるシステムです。本機では、GPS の各情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

GPSを利用できないとき



GPS受信中画像

次のようなときはGPSを利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき
- GPSアンテナの付近や上にものを置くなどして電波が遮断されるとき
- GPS衛星が電波を出していないとき (米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理などで電波が止まることがあります。)
- デジタル式携帯電話 (1.5GHz) をGPSアンテナ付近で使用したとき



GPSアンテナの取り扱いについて

- GPSアンテナにワックスがけや塗装をしないでください。電波の受信感度低下や受信不能の原因になります。
- GPSアンテナの上に雪などが積もった場合は受信感度が低下しますので、取り除いてください。
- GPSアンテナを取りはずしたり動かしたりする場合は、コードを引っ張らないでください。ショートや断線の原因となります。

5.VICS (FM)、FM多重放送（一般文字情報）の切り替えについて

内蔵のFM多重受信機能は、VICS情報または一般文字情報を受信することができます。

VICS情報・一般文字情報の受信については、次の条件により操作できます。

[内蔵のFM多重機能]

オーディオ		機能	VICS情報	一般文字情報 ^{*1}
OFF	VICS情報未表示		×	×
	VICS情報表示中		×	×
AM交通情報	VICS情報未表示		×	×
	VICS情報表示中		×	×
FM (NHK)	VICS情報未表示		×	○
	VICS情報表示中		○	○
FM (NHK以外)	VICS情報未表示		×	○ ^{*2}
	VICS情報表示中		×	○ ^{*2}
CD、MD、CD・MDチェンジャー	VICS情報未表示		×	○ ^{*3}
	VICS情報表示中		○	○ ^{*3}
MP3	VICS情報未表示		×	○ ^{*3}
	VICS情報表示中		×	○ ^{*3}
TV	VICS情報未表示		×	○ ^{*3}
	VICS情報表示中		○	○ ^{*3}

*1：一般文字情報の受信については、選局操作を行う前の受信状況について説明しています。

*2：一般文字情報を放送しているFM放送を受信しているとき。

*3：FMのラスト周波数が一般文字情報対応局の場合は、一般文字情報を表示します。



VICS、FM多重放送の受信について

- FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICS情報をポール式のラジオアンテナで受信する場合は、必ずアンテナを伸ばした状態で使用してください。
- VICS情報およびFM多重放送（一般文字情報）を同時に受信することができます。

1.メニュー画面・リスト画面について

メニュー画面

1 **MENU** を押すと、メニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面から次の操作を行うことができます。

- タッチスイッチにタッチして、項目を決定します。



項目（タッチスイッチ）	機 能	ページ
案内中止／案内再開※	目的地案内の中止・再開	105
全ルート図※	全ルート図の表示	86
音声設定	音量の設定	30
	操作説明音声の設定	31
	他モードでの音声案内の設定	119
	自動音量切り替えの設定	30
表示切替	2画面表示の設定	42
	3D表示の設定	46
	3D表示の角度の設定	48
	立体ランドマーク表示の設定	56
	ハイウェイモード画面の設定	44
	都市高速マップの設定	116
ルート変更※	目的地の追加・並び替え・消去	92、95、96
	インターチェンジ（IC）の指定・解除	98、99
	通過道路の指定・修正・解除	100、102、103
	探索条件の変更	94
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	131、134、140
	特別メモリ地点の登録・修正・消去	141、143
	迂回メモリ地点の登録・修正・消去	144、146
	自宅の登録・消去	129、130
	目的地履歴の消去	147
ナビ設定	現在地の修正・距離の補正・車速情報表示	296、298、300
	車両情報の設定	114

項目（タッチスイッチ）	機 能	ページ
ナビ設定	フロントワイド表示の設定	41
	3D時ルート方向アップの設定	50
	3D交差点案内画面の設定	108
	レーンリスト図表示の設定	109
	ビジュアルシティマップ表示の設定	52
	自動再探索の設定	126
	ルートのショートカットの学習の設定	104
	季節規制区間メッセージの設定	88
	到着予想時刻表示の設定	111
	平均車速の設定	112
	料金案内の設定	113
	立体ランドマーク表示の設定	56
	シーズンレジャーランドマーク表示の設定	53
	他モードでの音声案内の設定	119
	県境お知らせの設定	57
	道路形状警告の設定	110
	操作説明音声の設定	31
	ハートフル音声の設定	32
	自動タクシーモードの設定	206
	地図の表示色の切り替え	28
	スケーラブルフォント表示の設定	50
	3Dビル表示の設定	49
	スクロール方面表示の設定	35
	観光地名称／均一区間料金表示の設定	54
	ポップアップ表示の設定	55
	時計表示の設定	29
VICS	VICS情報の表示・消去	154、156
	VICS提供放送局の選択	152
	VICS情報の表示設定	154
	VICS文字情報・図形情報の表示	157、158
オンルートスクロール※	目的地近くの施設までの地図移動	121
ヒント	ヒント機能の表示	26
使用データ	地図DVD-ROMの情報の表示	301

※ 目的地が設定されていないときは、タッチスイッチの色が反転します。

1.メニュー画面・リスト画面について

リスト画面の切り替え方

▲・▼の切り替え表示

▲・▼にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



前・次の切り替え表示

▲前・▼次にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



50音順の切り替え表示

▲50音・▼50音にタッチすると、「あ→い」というように次の音に飛ばして、リストが動きます。



行の切り替え表示

あ行・か行・さ行・た行・な行・は行・ま行・や行・ら行・わ行

にタッチすると、「あ行→か行」というように行ごとにリストが動きます。

●リストがない行のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。



ページの切り替え表示

▲ページ・▼ページにタッチすると、1ページ（5項目）ずつリストが動きます。



記号の切り替え表示

▲記号・▼記号 にタッチすると、次の記号に飛ばして、リストが動きます。



地域の切り替え表示

北海道・東北・関東・中部・近畿・中四国・九州 にタッチすると、地域ごとにリストが動きます。



施設項目の切り替え表示

食事・店・車・宿泊・遊び・公共・交通・文化・他 にタッチすると、施設項目ごとにリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- ○○全て にタッチすると、その項目のすべての施設が選ばれます。
- 全ジャンル にタッチすると、すべての施設が選ばれます。



1.メニュー画面・リスト画面について

ヒント機能の操作

ナビゲーションの画面上に表示される各スイッチの機能説明を表示することができます。
下記の説明はヒント機能の一例です。

1 **?ヒント** にタッチします。

- 機能概要の説明が登録されているスイッチが赤い枠で囲まれます。



2 赤枠で囲まれているスイッチにタッチします。

- ?解除** にタッチするとヒント機能を解除します。



赤枠



- タッチしたスイッチの機能概要が数秒間表示され、元の画面に戻ります。
- 再度、機能概要を表示するときは、赤い枠で囲まれているスイッチにタッチします。



ヒント機能中は通常の操作はできませんので **?解除** にタッチしてから操作してください。

2.画面の調整・音声の設定

画面の調整

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時…〈昼画表示〉



●昼画表示〈ライト消灯時〉

●ライト点灯時…〈夜画表示〉



●夜画表示〈ライト点灯時〉

画質調整画面を表示するには

1 ナビゲーション画面で、**DISP**を押すと、画質調整画面になります。

2 調整が終了したら、**調整完了**にタッチする、または約20秒以上操作しなかったときは、画質調整画面にする前に表示させていた画面に戻ります。



●画質調整画面

コントラスト（鮮明度）／明るさ調整

1 ■コントラスト
強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

2 ■明るさ
明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。



昼画表示・夜画表示それぞれ独立して調整することができます。

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 ライト点灯時、**昼画面**にタッチすると、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●昼画表示のときは、**昼画面**が選択色になります。



2.画面の調整・音声の設定

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

- 再度、画面を表示させるには各モードのスイッチ（**NAVI**、**MENU** など）を押します。



ワンポイント

- 画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。
- 昼画表示・夜画表示それぞれ独立して調整することができます。

地図の表示色の切り替え

昼画・夜画それぞれの地図表示色を切り替える（5種類）ことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。



2 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、**ノーマル**・**グリーン**・**ブルー**・**パープル**・**ブラウン** にタッチします。

- 自動切替** にタッチすると、3カ月ごとに、地図表示色が切り替わります。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了** にタッチします。



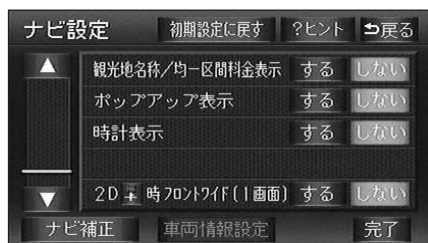
ワンポイント

- 画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。
- 地図表示色の自動切り替えは、以下のような設定になっています。
3月～5月…グリーン 6月～8月…ブルー
9月～11月…パープル 12月～2月…ブラウン

時計表示の切り替え

地図画面に表示している現在時刻の表示を切り替えることができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。



- 2 時計表示の **する**、**しない** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

- 3 **完了** にタッチします。



- 時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。(操作することはできません)
- **初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

2.画面の調整・音声の設定

音声の設定

ナビゲーションの音声を設定します。

音量を調節する

- 1 メニュー画面で、**音声設定** にタッチします。



- 2 **小**・**中**・**大**のいずれかにタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。
- **消** にタッチすると、音声はOFFになります。
音声はOFFのとき、いずれかの音量のタッチスイッチにタッチすると、音声はONになります。

自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**音声設定** にタッチします。



作動表示灯

- 2 **自動音量切替** にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。



車速が約80km/h以上になると、音量が自動的に1段階上がり、車速が約70km/h以下になると元の音量に戻ります。

操作説明音声の設定

ナビゲーションの操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

設定方法1

音声設定 から操作説明音声を設定する

操作説明音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**音声設定** にタッチします。



- 2 **音声条件設定** にタッチします。

- 3 **操作説明** にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。



作動表示灯



- 他モードでの案内…他モードに切り替えたときの音声案内の出力を設定します。（119ページ参照）
- **初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態になります。

設定方法2

ナビ設定 から操作説明音声を設定する

以下の方法で切り替えることもできます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。



- 2 操作説明音声の **する**、または **しない** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

- 3 **完了** にタッチします。

2.画面の調整・音声の設定

ハートフル音声の設定

今日の日付、曜日などをナビゲーションの音声案内とは、違った目的の音声を出力させることができます。また、ナビゲーションを立ち上げると、本日の記念日などを音声（アニバーサリー音声）でお知らせします。

〔ハートフル音声の例〕

●ナビゲーション画面が表示されるとき、
「おはようございます。今日は5月25日
曜日です。」

ハートフル音声を設定する

ハートフル音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。



- 2 ハートフル音声の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

- 3 **完了** にタッチします。



- 〔ハートフル音声の例〕は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されることがあります。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3.地図の表示

現在地の表示

エンジンスイッチをACCまたは、ONの位置にし、**NAVI** を押すと、現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の地図やメニュー画面などを表示させているときは、**NAVI** を押すと、現在地画面に戻ります。
- 走行中は道路の表示が制限されます。（細街路などは表示されません）
ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

- 1 現在地画面で、**NAVI** を押すと、現在地付近の地名が表示されます。



本機の取り付け直後、およびバッテリーターミナルを脱着した後、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク  が表示されている（自車位置マーク  がずれている）ことがあります。

ただし、地図の自車位置マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます（場合によっては、数分程度かかることがあります）。

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の補正を行ってください。（296ページ参照）

3.地図の表示

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）ができます。また、スクロール中は、画面の上下、左右方向の市区町村名（または都道府県名）のスクロール方面名称を表示することができます。

地図の移動

1 地図にタッチ（タッチスイッチがある以外の場所）します。

- 画面の端にタッチすると、隣の地図に動きます。
- 地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。
- 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくりと地図が移動します。
- 画面の端付近にタッチし続けると高速で地図が移動します。



スクロール方面名称



- 走行中は安全のため、地図を連続して移動させることはできません。また、走行中の市街図は地図を移動させることができません。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地を移動させても地図は動きません。**NAVI**を押すと、元の状態（地図が動く）に戻ります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（40ページ参照）ができないことがあります。

スクロール方面名称の表示を設定する

画面にタッチしたとき、画面の中心から上下左右方向にあたる方面の名称を表示させることができます。

スクロール方面名称の表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。



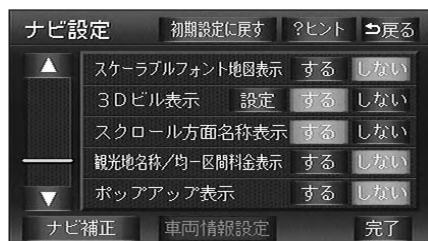
●スクロール方面名称表示

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 スクロール方面名称表示の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了** にタッチします。



●スクロール方面名称は地図の縮尺によって、市区町村名、または都道府県名に切り替わります。

●市区町村表示…50m～800mスケール図

●都道府県表示…1km～3kmスケール図

●スクロール方面名称は市街図（38ページ）および3kmスケールより広域な地図では表示されません。

●**初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3.地図の表示

タッチスイッチの表示

地図を表示させているときに、画面（下部）のタッチスイッチを表示させないようにすることができます。



●タッチスイッチがない表示

- 1 タッチスイッチがない表示にするときは 、タッチスイッチがある表示に戻すときは、 にタッチします。

●タッチスイッチがない表示では、タッチスイッチによる操作をすることはできません。 にタッチして、タッチスイッチを表示させてください。



地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図～1/2500図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

タッチスイッチ	縮尺	スケール表示	タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
市街図	1/2500	25m	↓	1/32万	3 k
詳細	1/5000	50m		1/64万	6 k
	1/1万	100m		1/128万	10 k
	1/2万	200m		1/256万	20 k
	1/4万	400m		1/512万	50 k
	1/8万	800m		1/1024万	100 k
	1/16万	1 k		1/2048万	200 k
			広域		

- 1 地図の範囲を広くするときは**広域**、狭くするときは**詳細**にタッチします。（13段階に切り替えることができます）



スケールバー

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- 広域**、または**詳細**にタッチした後、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。
- 広域**、または**詳細**を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。
- 新たに切り替えた縮尺が  で表示されます。



- 最大範囲（200kmスケール図）にすると**広域**が消去されます。また、最小範囲（50mスケール図）にすると**詳細**が**市街図**（次ページ参照）に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は**詳細**が消去されます）
- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替えることはできません。

3.地図の表示

市街図の表示

市街図が収録されている地域では、市街図表示1／2500図（25mスケール図）に切り替えることができます。



●市街図表示



●3D表示中（バーチャルタウンマップ表示）

市街図表示に切り替える

- 1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図** にタッチします。

市街図表示を解除する

- 1 市街図を表示させているときに、**広域** にタッチします。



- 市街図が収録されている地域のみ、50mスケール図に**市街図**が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます）
- 市街図では、一方通行をで表示します。（バーチャルタウンマップでは●で表示します）
- 走行中、市街図で地図の移動（ワンタッチスクロール）はできません。
- 3D表示にしているとき、市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャルタウンマップ表示になります。（通常の市街図は、表示されません）
バーチャルタウンマップ表示の操作については、47ページを参照してください。
- 車速が約80km/h以上になると、市街図表示は自動的に解除されます。（その状態のまま、車速が約70km/h以下になると、市街図表示に戻ります）
- VICS情報（154ページ参照）は市街図には表示されません。

施設の内容を表示する

- 1 市街図を表示させているときに、**情報** にタッチします。

- リアル市街図・2画面表示の場合は解除され、通常の市街図になります。



- 2 上向き矢印にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。



- 3 **施設情報** にタッチします。

- 選んだ建物の名称・件数・形状（建物が立ち上がり、立体表現されます）・階数・件数・店名・会社名などが表示されます。
- 建物形状は実際とは異なることがあります。
- リスト最上段の施設位置を建物に表示します。
- 選んだ建物に1つしか施設がないときは、**施設情報** にタッチすると、施設の内容が表示されます。



- 4 表示させる施設名称にタッチします。

- 選んだ施設の内容が表示されます。
- 目的地** にタッチするとこの施設を目的地としてルート探索が開始されます。



地図DVD-ROMに情報が収録されている建物のみ表示させることができます。

3.地図の表示

地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

●ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、常に北が上になるように地図が表示されます。(本書はノースアップ表示で説明しています)



●ノースアップ表示

●ヘディングアップ表示 北を示します

車の進行方向が常に上向きになるように地図が表示されます。



●ヘディングアップ表示

地図の向きを切り替える

- 1  (または ) にタッチすると、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。( または  が反転しているときは選択できません)



ヘディングアップ表示のとき目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示に戻ります。

フロントワイド表示の切り替え

通常は、画面の中心に表示される自車位置マークを、中心からずれて表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

次のそれぞれの条件で、フロントワイド表示にさせることができます。

- ① ノースアップ表示（1画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- ② ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- ③ 2画面表示（次ページ参照）の右画面が、ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。



●フロントワイド表示



●通常の表示

フロントワイド表示を設定する

①～③の条件それぞれで、フロントワイド表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 フロントワイド表示の項目の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3 **完了** にタッチします。



初期設定に戻す にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

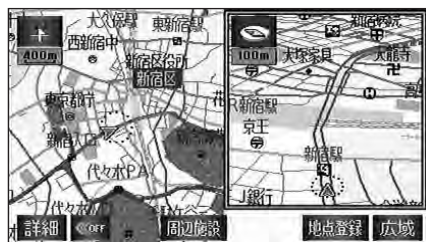
3.地図の表示

2画面表示の切り替え

地図を表示させているときに、画面を左右に2分割して次のような表示をさせることができます。

〔例〕

左右異なる縮尺で表示・ヘディングアップ表示とノースアップ表示・施設表示のONとOFF・3D表示のONとOFFに分割して表示できます。



●2画面表示

2画面表示に切り替える

1

メニュー画面で、**表示切替**にタッチします。



2

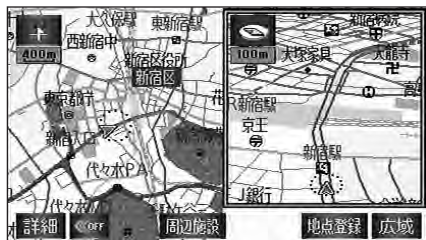
ツイン（通常の2画面表示）、または**3Dツイン**（2画面3D表示）にタッチすると、2画面表示に切り替わります。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。
- 左側の画面は1画面表示のときと同じ方法で操作できます。

右画面を操作する

1

右画面内の地図にタッチします。



2

各タッチスイッチにタッチすると次の操作ができます。



作動表示灯



- 2画面表示にさせているときは、左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示に戻ります。

■地図縮尺を切り替える（37ページ参照）

詳細、または **広域** にタッチします。

■地図の向きを切り替える（40ページ参照）

📐（または 🔄）にタッチします。

（2画面表示でも操作できます）

■3D表示に切り替える（46ページ参照）

3D表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

3D表示 にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

■施設の表示を設定する（58ページ参照）

左画面に施設を表示させているとき、施設をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

施設表示 にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

■VICS情報の表示を設定する

（154ページ参照）

左画面にVICS情報を表示させているとき、VICS情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

VICS地図表示 にタッチします。

- ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

2画面表示を解除する

- 1 メニュー画面で、**表示切替** にタッチします。



- 2 **ノーマル**（通常の表示）、または **3D**（通常の3D表示）にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

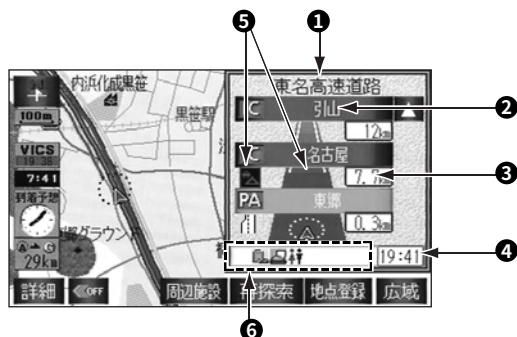


- 施設の表示・VICS情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されません。また、左画面に表示させていないときは、右画面に表示できません。
- 再度、2画面表示にさせたときは、前回、2画面表示にさせていたときの縮尺で地図が表示されます。

3.地図の表示

ハイウェイモード画面

高速道路走行中（東名高速道路、名神高速道路など）、自動的に画面左右に2分割して右側にハイウェイモード画面を表示します。



- ① 道路名称表示 現在走行中、または選んだ施設のある道路名称が表示されます。
- ② 施設名称表示 施設の名称が表示されます。
- ③ 距離表示 現在地からの距離が表示されます。
- ④ 通過予想時刻表示 選んだ施設の通過予想時刻が表示されます。
- ⑤ VICS記号・表示 VICS情報が受信されたとき、表示されます（VICS記号・表示については、154、162ページを参照してください）。
- ⑥ 設備マーク表示 選んだ施設〔サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）〕にある設備が最大7つまで表示されます（ガソリンスタンドは常に先頭に表示され、以下下表の番号順に最大6つまで表示します。設備が多い場合、表示されないマークもあります）。

■設備マーク表示

マーク	内容	マーク	内容	マーク	内容
	ガソリンスタンド		ショッピングコーナー		郵便ポスト
	身障者用施設		ドラッグストア		ベビーベッド
	インフォメーション		ファックスサービス		身障者用電話
	ハイウェイ情報ターミナル		キャッシュコーナー		公衆電話
	スナックコーナー		コインランドリー		授乳室
	休憩所		自動販売機		軽食
	レストラン		コイン洗車機		コーヒーショップ
	お風呂		仮眠室		
	コインシャワー		お手洗		

●ガソリンスタンドは、系列のロゴマークが表示されます。

ハイウェイモード画面を操作する

1 ▲・▼、または施設名称にタッチすると、選ばれる施設が切り替わります。

- 施設を選んだとき、**現区間へ**にタッチすると、現在地からのハイウェイモード画面に戻ります。



ハイウェイモードを解除する

ハイウェイモード画面をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で **表示切替** にタッチします。

2 **高速略図解除** にタッチします。

- 再度、ハイウェイモードを表示させるにはこの画面で、**高速略図表示** にタッチします。



- 目的地案内中は、都市高速でも自動でハイウェイモード画面を表示することができます。
- 高速道路にVICS情報が表示されているときのみハイウェイモードにVICS情報を表示させることができます。
- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均车速（112ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）に入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、または分岐するジャンクション（JCT）の手前では、高速分岐案内画面（115ページ参照）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。ジャンクション（JCT）のときは高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに戻ります。

3.地図の表示

3D表示の設定

地図を立体的に表示させることができます。



●3D表示



●バーチャルタウンマップ

3D表示に切り替える

1 メニュー画面で、**表示切替** にタッチします。

2 **3D**（通常の3D表示）、または**3Dツイン**（2画面3D表示）にタッチすると、3D表示に切り替わります。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



バーチャルタウンマップを表示する

3D表示にさせていたとき、市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャルタウンマップ表示になります（通常の市街図は、表示されません）。

●市街図表示については、38ページを参照してください。



●リアル市街図



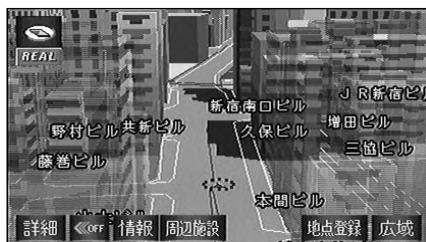
- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。
- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示に戻ります。
- 市街図表示中に3D表示に切り替えてもバーチャルタウンマップ表示になります。
- 高速道路路上ではバーチャルタウンマップを表示することができません。

バーチャルタウンマップの視点を調整する

視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

1 視点を上げるときは**広域**、下げるときは**詳細**にタッチします。

- タッチスイッチにタッチして、すぐに手を離れたとき…3段階
- タッチスイッチに約1秒以上タッチし続けたとき…9段階に切り替えることができます。
- 広域**、または**詳細**にタッチした後、スケールバーにタッチすると、タッチした視点に切り替わります。



↑
スケールバー



- 最低角度の地図にすると**詳細**は表示されません。また、自車マークは表示されません。
- 最高角度の地図にさせているとき、**広域**にタッチすると、バーチャルタウンマップ表示が解除されます。
- 走行中は安全のため、縮尺を9段階に切り替えることができません。

3.地図の表示

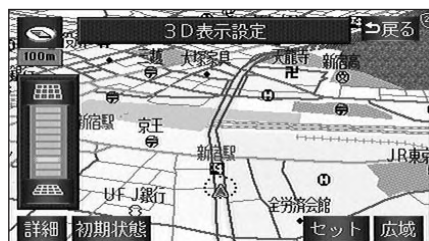
見下ろす角度を調整する

1 メニュー画面で、**表示切替** にタッチします。

2 **3D表示設定** にタッチします。



3 角度を上げるときは 、下げるときは にタッチして角度を設定します。

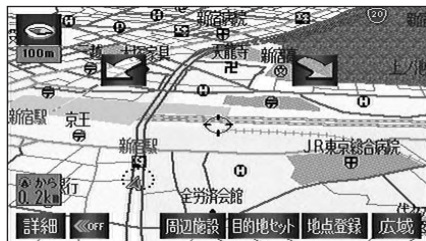


4 **セット** にタッチします。

地図向きを回転する

1 地図を表示させているときに、地図にタッチします。

2 にタッチすると時計まわり、 にタッチすると反時計まわりに回転します。



ワンポイント

- 最高角度（約70°）にすると 、最低角度（約18°）にすると の色が反転し、タッチしても操作できません。
- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態（約23°）に戻ります。
- **初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

ビルの高さを設定する

バーチャルタウンマップで3D表示する建物の高さ（階数）を設定することができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 3Dビル表示の**設定** にタッチします。



- 3 表示する高さ（階数）を上げるときは**▶**、下げるときは**◀**にタッチして高さを設定します。



- 4 **完了** にタッチします。

ビル表示を設定する

ビル表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 3Dビル表示の**する**、または**しない**にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



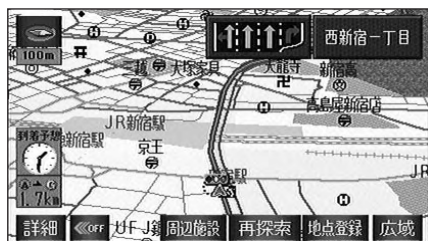
- 3Dビル表示の項目を**しない**に設定したときは、ビルの高さを設定してもビルは立体表示されません。
- ビルの高さを設定すると、設定した高さ以上のビルのみが表示されます。
- 最大高さ（20階以上）にすると**▶**、最小高さ（全て）にすると**◀**の色が反転し、タッチしても操作できません。
高さ：全て、3階以上～20階以上（1階単位）
- **初期状態** にタッチすると、高さが初期設定の状態（3階以上）に戻ります。
- 走行中は操作できません。
- **NAVI** を押すと、元の表示状態（回転前の状態）に戻ります。

3.地図の表示

ルート方向アップ表示を設定する

3D表示画面で目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。

●ONのときは、方位マークがになります。



●ルート方向アップ表示

ルート方向アップをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 3D  時ルート方向アップの **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3 **完了** にタッチします。

スケラブルフォント地図表示を設定する

3D表示画面の地図上の文字を画面下側の文字は大きく、画面上側の文字は小さく表示させることができます。



●スケラブルフォント地図表示

スケラブルフォント地図表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 スケラブルフォント地図表示の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3 **完了** にタッチします。



初期設定に戻す にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3D表示を解除する

1 メニュー画面で、**表示切替** にタッチします。

2 **ノーマル**（通常の表示）、または
ツイン（通常の2画面表示）にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3.地図の表示

ビジュアルシティマップ（リアルワイドマップ）の表示

地図記号・表示を立体的に表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）
また、道路の太さをより実際に近づけて表示します。（初期状態は表示する設定になっています）



●ビジュアルシティマップ（リアルワイドマップ）表示



●通常地図表示

ビジュアルシティマップ表示を設定する

ビジュアルシティマップ表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
 - 2 ビジュアルシティマップの**する**、または**しない**にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



初期設定に戻す にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

シーズンレジャーランドマークの表示

桜などの季節になると地図にシーズンレジャーランドマークを表示させることができます。



●シーズンレジャーランドマーク表示

(例)

マーク	内容
	桜の名所
	紅葉の名所

シーズンレジャーランドマーク表示を設定する

シーズンレジャーランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
 - 2 シーズンレジャーランドマークの**する**、または**しない**にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



- 800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 市街図画面では表示することができません。
- マークの表示は、季節・場所（名所）によって異なります。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3.地図の表示

観光地名称／均一区間料金の表示設定

全国の主要な観光地の名称を黄色、有料道路の均一区間料金を紫色の枠で囲った文字で表示させることができます。



●観光地名称表示



●均一区間料金表示

観光地名称／均一区間料金の表示を設定する

観光地名称／均一区間料金の表示を ON (表示する) にするか、OFF (表示しない) にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 観光地名称／均一区間料金表示の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが緑色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



● **初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

ポップアップ表示の設定

高速道路インターチェンジ（IC）名称や交差点名称を吹き出しで表示させることができます。



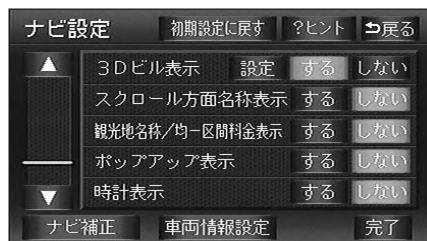
●ポップアップ表示

ポップアップ表示を設定する

ポップアップ表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 ポップアップ表示の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



- 10kmスケール図より詳細な地図で表示させることができます。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3.地図の表示

立体ランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。



●立体ランドマーク表示

設定方法1

表示切替 から立体ランドマークを表示する

立体ランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**表示切替** にタッチします。

2 **立体ランドマーク** にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。



作動表示灯

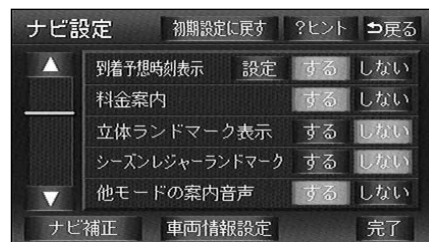
設定方法2

ナビ設定 から立体ランドマークを表示する

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 立体ランドマーク表示の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3 **完了** にタッチします。



●800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）

●**初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

立体ランドマークの内容を表示する

1 立体ランドマークにタッチすると、立体ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報** にタッチすると、立体ランドマークの内容が表示されます。

- 情報付施設が検索されたときの操作は、「施設情報画面を操作する」186ページを参照してください。



直線距離表示

県境お知らせの設定

都道府県境を越えたとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させ音声で案内することができます。



● 県境お知らせ表示

県境お知らせ表示を設定する

県境お知らせをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 県 境 お 知 ら せ の **する**、または **しない** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3 **完了** にタッチします。



初期設定に戻す にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

3.地図の表示

施設の表示

地図に施設ランドマークを表示させることができます。



●施設表示



- 800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)
- 表示させることができる施設ランドマークは、 または から半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)
- または が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。

施設表示ジャンル

食事	食事全て	薬	公営娯楽
	レストラン	化粧品	劇場
店	ファミリーレストラン	衣料品	公共全て
	ファーストフード	スポーツ用品	役所
	うどん・そば	靴・鞆	警察署
	すし	宝石・貴金属	図書館
	ラーメン	カメラ・時計	総合病院
	カレー・スパゲティ	めがね	医療機関
	とんかつ	電化製品	公園
	焼肉・ホルモン	食料品	交通全て
	お好み焼	本	駅
	フランス料理	C D・ビデオ	空港
	イタリア料理	家具・インテリア	港
	割ぼう・懐石	ガラス・陶磁器	高速IC
	和食	車	有料IC
	洋食	車全て	SA・PA
	中華	ガソリンスタンド	道の駅
	持ち帰り弁当	駐車場	文化全て
	喫茶店	カー用品	名所・旧跡
	店全て	カーディーラー	神社
	コンビニエンスストア	レンタカー	寺
	スーパー・ディスカウント店	自転車・バイク	教会
	デパート	宿泊	城・城跡
	ショッピングモール	宿泊全て	美術館
	アウトレットモール	ホテル・旅館	博物館
	ホームセンター	遊び	資料館
	C D・ビデオレンタル	遊び全て	ホール
	レンタルショップ	旅行	その他
	リサイクルショップ	スポーツ施設	その他全て
	ケーキ・菓子・パン	カラオケボックス	美容院・理容店
	酒	パチンコ店	エステティック
	米	ゲームセンター	クリーニング
	花	動植物園	写真
	日用雑貨	水族館	銀行
	文具	ゴルフ場	郵便局
	おもちゃ	温泉	式場
		スキー場	バリアフリートイレ
		遊園地	
		キャンプ場	

※選択できる施設は地図ディスクによって変わることがあります。

1 ジャンルのみを表示する（簡易操作）

- 1 地図を表示させているときに、**周辺施設** にタッチします。
- 2 表示させる施設（**GS**、**コンビニ**、**レストラン**、**喫茶店**、**銀行**、**駐車場**）にタッチすると、タッチした施設ランドマークが表示されます。
- **その他／複数表示** にタッチすると上記スイッチ以外の施設や複数の施設ランドマークを同時に表示することができます。



施設ランドマークを消去する

- 1 地図を表示させているときに、**周辺施設** にタッチします。
- 2 **表示解除** にタッチします。



複数ジャンルを表示する

GS（ガソリンスタンド）、コンビニ、レストラン、喫茶店、銀行、駐車場以外の施設ランドマークを表示させることができます。また、複数（5ジャンル）の施設ランドマークを表示させることもできます。

- 1 地図を表示させているときに、**周辺施設** にタッチします。
- 2 **その他／複数表示** にタッチします。



- 3 表示させる施設名称にタッチします。
- 5つのジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。
- **〇〇全て** にタッチすると、その項目のすべての施設が選ばれます。
- 間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1施設ずつ解除されます。
- 選んだ施設にタッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。
- 4 **完了** にタッチすると、選んだ施設ランドマークが表示されます。



各ジャンルの **〇〇全て** を複数選択すると、より多くの施設ランドマークを表示させることができます。

3.地図の表示

周辺の施設を検索する

①、または②の位置の近くにある施設の名称と①、または②からの直線距離・方向を表示させることができます。

1 地図に施設ランドマークを表示させているときに、**周辺施設**にタッチします。

2 **最寄り施設検索**にタッチします。

●選択されている施設のリストが表示されます。



3 表示させる施設名称にタッチします。選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

- 前方に施設がある場合は③(矢印上)で表示されます。(車の進行方向から見える位置)
- 目的地が設定されているときは、ルートに連動したリストを表示することができます。「**ルートを考慮したリスト表示**」(次ページ参照)



4 **情報**が表示されたときは、**情報**にタッチすると、施設の内容が表示されます。

- 情報付施設が検索されたときの操作は、「**施設情報画面を操作する**」186ページを参照してください。



- 検索させることができる施設ランドマークは、①または②から半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)
- 施設のリストは、①または②から距離の近い施設の順と、施設の記号の種類別の2種類の並べ方をさせることができます。

●距離順表示



●記号順表示



- 記号順に並べる**にタッチすると、施設の記号の種類別に並びかわります。
- 距離順に並べる**にタッチすると、①または②から近い施設の順に並びかわります。

ルートを考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストを表示することができます。(距離の表示は道なり距離、マークの表示は施設がルートの左右どちらかを表示しています)

1 ルート沿い考慮 にタッチします。

- ルートを考慮したリスト表示がされているときは、作動表示灯が緑色になります。
- 施設名称にタッチすると、選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設名称と現在地からの道なり距離が表示されます。



● ルート沿い考慮表示

マークの表示

距離の表示

施設の情報を表示する

1 施設ランドマークにタッチすると、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報**が表示されたときは、**情報**にタッチすると、施設の内容が表示されます。

- 情報付施設が検索されたときの操作は、「施設情報画面を操作する」186ページを参照してください。



- 表示させていた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示できません。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

4.地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・自宅の登録・メモリ地点の登録・特別メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目の該当ページを参照してください。

●目的地設定のとき



- 目的地の設定 (82ページ)
- 目的地の追加 (92ページ)

●メモリ地点登録のとき



- 自宅の登録 (129ページ)
- メモリ地点の登録 (131ページ)
- 特別メモリ地点の登録 (141ページ)
- 迂回メモリ地点の登録 (144ページ)
- 販売店の設定 (178ページ)

上の画面は、目的地設定・メモリ地点登録のときの画面を代表として記載しています。表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

項目（タッチスイッチ）	機 能
50音	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。（次ページ参照）
施設	さまざまなジャンルから施設を選び、その施設周辺の地図を表示させることができます。（68ページ参照）
電話番号	電話番号を入力することで、その番号の施設・個人宅周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（70ページ参照）
住所	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（72ページ参照）
郵便番号	郵便番号を入力することで、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（73ページ参照）
メモリ地点	メモリ地点周辺の地図を表示させることができます。（73ページ参照）[メモリ地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、131ページ参照。]
目的地履歴	過去に設定された目的地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（74ページ参照）[目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、147ページ参照。]
マップコード	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（74ページ参照）
先程の地図	メニュー、目的地設定画面にする前の地図を表示させることができます。
前回出発地	前回、目的地案内をさせた出発地の地図を表示させることができます。[一度目的地案内を行ったときのみ。]
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示させることができます。
自宅に帰る	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。[それぞれの地点が登録されているときのみ。] ●自宅の登録…自宅（129ページ参照） ●①～⑤…特別メモリ地点の登録（141ページ参照）
①／②／③／④／⑤ に行く	
①／②／③／④／⑤ 周辺	登録されている地点の地図を表示させることができます。[それぞれの地点が登録されているときのみ。] ●①～⑤…特別メモリ地点の登録（141ページ参照）

4.地図の呼び出し方法

50音で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称を50音入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を呼び出すことができます。

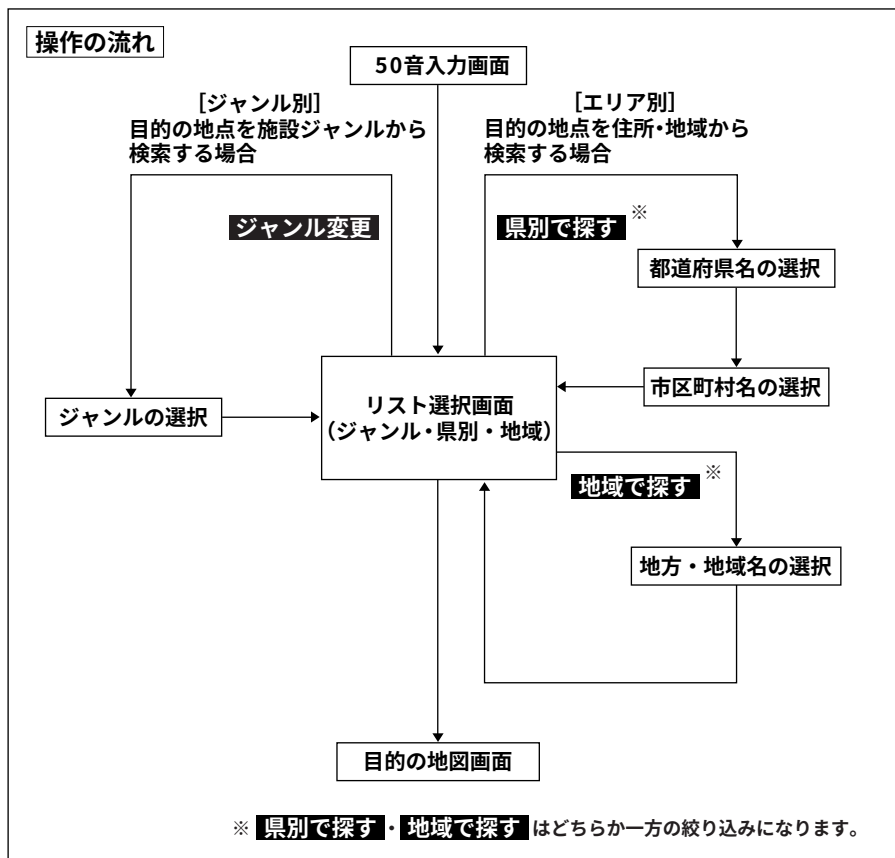
候補数が少なくリスト画面にあるときは直接選びます。

●目的の地点をエリアから絞り込む **エリア変更**

- **県別で探す** から、都道府県、市区町村の順に絞り込み、リストを呼び出します。
- **地域で探す** から、地方および地域を絞り込み、リストを呼び出します。

●目的の地点を施設ジャンルから絞り込む **ジャンル変更**

- **ジャンル変更** から、施設ジャンルを絞り込み、リストを呼び出します。



1 施設の名称（または住所）を1文字ずつタッチして入力します。

- 12文字まで入力できます。
- 小文字のつ、や、ゆ、よは**つ**、**や**、**ゆ**、**よ**、で入力します。
- 間違えたときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても入力できません。
- 1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。



2 **完了**にタッチすると、その時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

3 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。候補数が多いときは前ページの**操作の流れ**にしたがって**「エリア別」**または**「ジャンル別」**で絞り込みます。



- 全国施設リスト画面に表示させる施設のエリアを指定するときは**「エリア変更」**に、施設のジャンルを指定するときは**「ジャンル変更」**にタッチします。
- 住所を入力したときは、表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。**「住所一覧」**にタッチすると住所を検索することができます。(78ページ参照)

エリア別で絞り込みする場合

「県別から絞り込むとき」

- 1 全国施設リスト画面で、**「エリア変更」**にタッチします。
- 2 **「県別で探す」**にタッチします。
- 3 施設のある都道府県（一部市）名にタッチします。

- **「全エリア」**にタッチすると、全国施設リスト画面（左記**3**）に戻ります。



● **都道府県指定画面**



入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

4.地図の呼び出し方法

4 表示させる施設の市区町村名にタッチします。

- **〇〇全域** にタッチすると、指定した都道府県（一部市）別施設リスト画面が表示されます。



5 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

- **50音修正** にタッチすると、50音入力 of 画面に戻ります。
- **ジャンル変更** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（次ページ参照）



【地域から絞り込むとき】

1 全国施設リスト画面で、**エリア変更** にタッチします。

2 **地域で探す** にタッチします。

3 施設のある地域名にタッチします。



●地域指定画面

4 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

- **50音修正** にタッチすると、50音入力 of 画面に戻ります。
- **ジャンル変更** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（次ページ参照）



- 1エリアの設定になります。
- エリアを選択する場合は、**県別で探す** または **地域で探す** のどちらか1つのみの設定になります。また、**県別で探す** と **地域で探す** は最後に設定したエリアが有効になります。
- 設定したエリアに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のエリアを設定してください。

施設ジャンル別で絞り込みする場合

施設ジャンルの中から絞り込む方法です。目的の地点の施設でジャンルがわかっている場合に便利です。候補数が多いときは **エリア変更** による絞り込みで候補数を減らしてから検索します。

1 施設リスト画面で、**ジャンル変更** にタッチします。

2 表示させる施設のジャンルにタッチします。

● **全ジャンル** にタッチすると、施設リスト画面（前ページ **5**）に戻ります。

● **〇〇全て** にタッチすると、その項目すべての施設が設定されます。

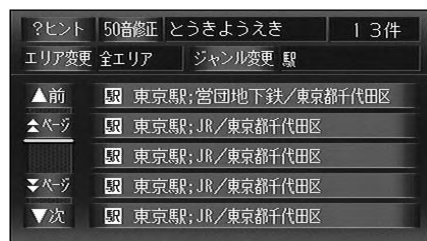


●ジャンル指定画面

3 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

● **50音修正** にタッチすると50音入力画面に戻ります。

● **エリア変更** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のエリアを指定することができます。（前ページ参照）



●施設ジャンルの選択は、1ジャンルの設定になります。また、**ジャンル変更** で設定後、**エリア変更** もできます。

●設定したジャンルに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のジャンルを設定してください。

●施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

4.地図の呼び出し方法

施設で地図を呼び出す

施設名がわかっている場合は、施設ジャンルから選んで、地図を呼び出すことができます。



施設ジャンル

項目	ジャンル
店	デパート
	ショッピングモール
	アウトレットモール
宿泊	ホテル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
	マリナー
	競技場
	公営娯楽
公共	役所
	警察署
	病院
	公園

項目	ジャンル
交通	駅
	空港
	港
	高速IC・SA・PA
	有料IC
	道の駅
文化	交差点
	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
	ホール
他	国際展示場
	式場



- 施設名称の中でも、登録されていない施設があります。その際は、50音、電話番号もしくは住所による検索で周辺の地図を呼び出すことができます。(64、70、72ページ参照)
- 高速インターチェンジ(IC)・サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)は、路線別のリストがあります。
- 高速インターチェンジ(IC)・サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)以外は、都道府県別のリストがあります。
- 駅、有料インターチェンジ(IC)は、都道府県別のリストの後に路線別のリストがあります。
- 交差点は、都道府県別のリストの後に市区町村別のリストがあります。
- 選択できるジャンルは地図ディスクにより、変わることがあります。

1 表示させる施設のジャンルにタッチします。

2 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。

●さらに市区町村名（路線名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（路線名）にタッチします。

●施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。

このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。

全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



3 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。



4.地図の呼び出し方法

電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設・個人宅の場合は、施設・個人宅周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点や特別メモリ地点に電話番号が設定してある場合（「**メモリ地点の電話番号入力**」136ページ参照、「**特別メモリ地点の修正**」142ページ参照）は、メモリ地点や特別メモリ地点が呼び出せます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了**にタッチすると、入力した番号から検索された地図が表示されます。

- 9桁目を入力すると、**完了**にタッチしなくても、約10秒後、自動的に検索が開始されます。（10桁目を入力すると、約3秒後、自動的に検索が開始されます）
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する個人宅があるときは**4**の画面になります。
- 入力した番号に該当する施設・個人宅がないときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

住所一覧にタッチすると住所を検索することができます。（78ページ参照）

3 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称・個人宅を選ぶ画面が表示されます。

- 個人宅**にタッチすると、**4**の画面になります。



- 市外局番から入力してください。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁（一部地域は5桁）入力した後、**完了**にタッチします。
- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- 個人宅周辺の地図を呼び出すには、個人宅の氏名の入力が必要です。
- 携帯電話番号は検索できません。

4 個人宅の名称（姓：名字）を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



5 **完了**にタッチすると、その時点で入力した電話番号と姓から検索された個人宅周辺の地図が表示されます。



- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化（追加・変更・削除）するため、実際と異なる場合があります。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される住所は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、最大100箇所まで記憶されます。100箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されます。
- 複数の読み方が可能な「氏名」については、実際とは異なる読み方でデータ収録されている場合があります。このため正確な氏名では検索できないことがあります。個人宅電話番号データに収録されている住所データにより、個人宅の周辺地点の地図を表示する場合があります。
- 個人宅電話番号データは、株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。

4. 地図の呼び出し方法

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。

- 1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、表示させる地名にタッチすると、地図が表示されます。



- 地名を選んだ後、詳細がわからないときは **〇〇主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。
- 地名を選んだ後、**番地を指定する** にタッチすると、番地・号数を入力することができます。



- 2 **番地を指定する** にタッチしたときは、数字、または一を1つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



- 3 **完了** にタッチすると、入力した番地から検索された地図が表示されます。

- 入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。**周辺住所** にタッチすると周辺住所を検索することができます。（78ページ参照）



〇〇主要部 にタッチして表示した地図の場合、**周辺住所** は表示されません。

郵便番号で地図を呼び出す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号から地図を呼び出すことができます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

●間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチすると、入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。

●7桁目を入力すると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に検索が開始されます。

●地図が表示された後、**住所一覧** にタッチすると周辺住所を検索することができます。(78ページ参照)

メモリ地点で地図を呼び出す

メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば、「**メモリ地点の登録**」131ページ参照)メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させるメモリ地点にタッチすると地図が表示されます。



郵便番号は7桁で入力してください。

4.地図の呼び出し方法

目的地履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新20件まで自動的に記憶し、もう一度すばやく同じ地点の地図を呼び出すことができます。

- 1 リストから表示させる目的地履歴にタッチすると地図が表示されます。



マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。

- 1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは「修正」にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



- 2 「完了」にタッチすると、入力したマップコードから検索された地図が表示されます。

- 10桁目を入力すると、「完了」にタッチしなくても、約3秒後、自動的に検索が開始されます。



- 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 目的地履歴を消去するには、「目的地履歴の消去」147ページを参照してください。
- マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、6～10桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定しにくいところ（景勝地や山、川、海など）もマップコードで位置を特定できるようになります。
- マップコードは、メモリ地点・特別メモリ地点を登録すると、修正画面の位置の名称の下に表示されます。
 - ・メモリ地点…131ページ参照
 - ・特別メモリ地点…141ページ参照
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

5.呼び出した地図の操作

50音・施設・電話番号・住所・郵便番号から地図を呼び出すと、ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。これらの呼び出した地図からさらに検索などをすることができます。

表示した地図の操作

ピンポイント検索できた地図には  マークが表示されます。

ピンポイントで地図を表示するには次の条件になります。

- ①「50音で地図を呼び出す」で施設名称を入力したとき
- ②「施設で地図を呼び出す」とき
- ③「電話番号で地図を呼び出す」で該当する施設のとき



●ピンポイントで検索できたとき



●ピンポイントで検索できないとき

呼び出した地図から次の操作ができます。

＜ピンポイントで検索できたとき＞

■位置の変更

スクロールして位置を変更します。

■施設内容の表示

左記①～③の条件で表示した施設情報を表示します。

■提携駐車場の検索

左記①～③の条件で表示した施設の提携駐車場を検索します。

＜ピンポイントで検索できないとき＞

■周辺住所の検索

呼び出した地図周辺（ピンポイントで該当しない）の住所から検索します。（「50音で地図を呼び出す」で住所を入力、「電話番号で地図を呼び出す」、「郵便番号で地図を呼び出す」から呼び出したときは **住所一覧** が表示されます。また、「住所で地図を呼び出す」および **住所一覧** から番地入力で検索できないときは **周辺住所** が表示されます）

5.呼び出した地図の操作

位置の変更

- 1 ピンポイント検索された地図で
位置変更にタッチします。



- 2 合にタッチして地図を動かします。



施設内容の表示

- 1 **情報**にタッチすると、施設の内容が表示されます。

- 情報付施設が検索されたときの操作は、「施設情報画面を操作する」186ページを参照してください。



- 施設の内容を表示させることができるのは、前ページの①・②・③の方法で、地図を呼び出したときのみです。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場の検索

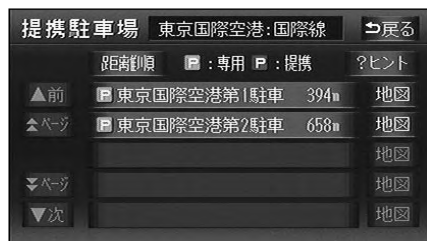
検索した施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 「提携」にタッチします。



2 表示させる駐車場名称にタッチすると、施設の内容（情報）が表示されます。また、駐車場名称の右にある「地図」にタッチすると、地図が表示されます。

●情報付施設が検索されたときの操作は、「施設情報画面を操作する」186ページを参照してください。



- 提携駐車場を表示させることができるのは、75ページの①・②・③の方法で、地図を呼び出したときのみです。また、「提携」が表示されても検索できない場合があります。
- 提携駐車場は車両情報の設定（112ページ参照）によって検索される駐車場が異なります。
- 駐車場のリストは、②から近い距離の施設の順と、駐車場の記号の種類別の2種類の並べ方をさせることができます。
- 「記号順」にタッチすると、「P」＜青色＞（専用駐車場）と「P」＜緑色＞（提携駐車場）別に並びかわります。
- 「距離順」にタッチすると、②から近い距離の駐車場の順に並びかわります。

●距離順表示



●記号順表示



5.呼び出した地図の操作

周辺住所の検索

- 「50音で地図を呼び出す」で、住所を入力したとき。
- 「郵便番号で地図を呼び出す」とき。
- 「電話番号で地図を呼び出す」で、検索できる施設がなかったとき。

1 「住所一覧」にタッチします。



2 表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。

- 「住所一覧」から番地を入力して検索できないときは「周辺住所」が表示されます。



- 「住所で地図を呼び出す」から番地入力で検索できないとき。
- 「住所一覧」から番地を入力して検索できないとき。

3 「周辺住所」にタッチします。



4 表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。

- リストの最上段の住所を📍で表示します。

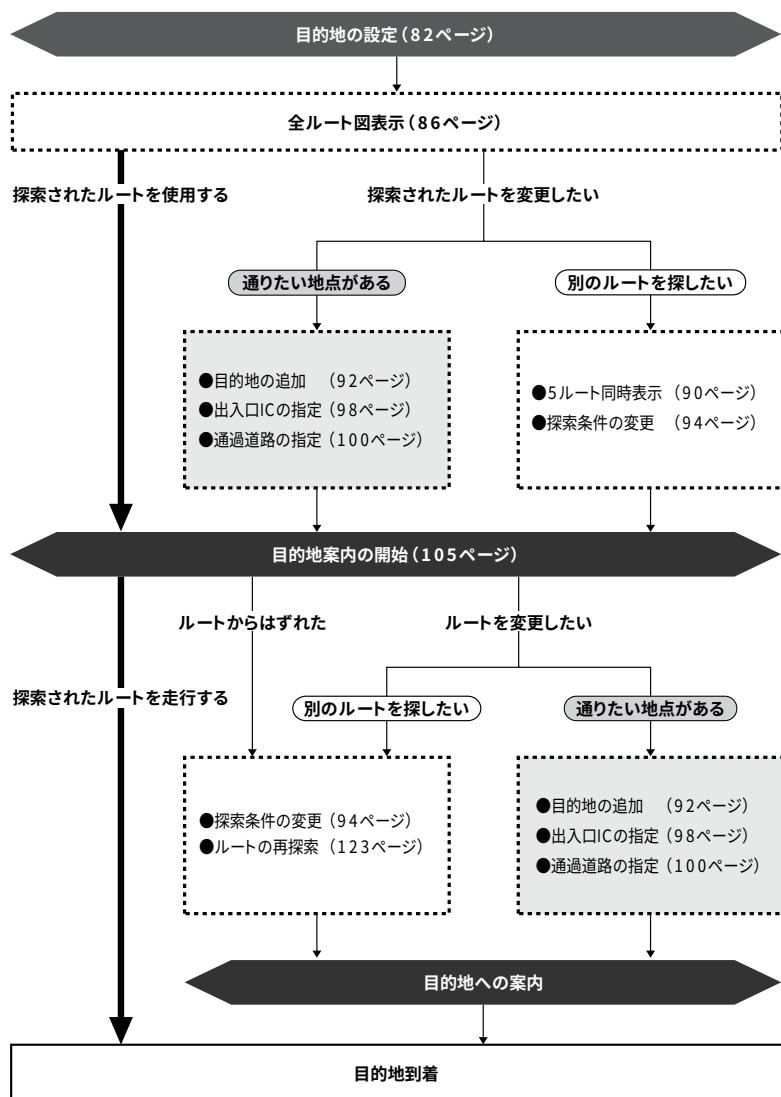


〇〇主要部にタッチして表示した地図の場合、「周辺住所」は表示されません。

MEMO

1.目的地設定・ルート探索について

目的地や目的地の追加、ルート探索の条件などを設定して目的地へ案内するまでのルート探索の流れを説明します。



目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには以下の方法があります。

- ワンタッチで設定
- 登録地点（自宅、特別メモリ地点）から設定
- 地図の呼び出し方法から設定

項目	設定方法
ワンタッチで設定	地図をスクロールさせて設定します。
登録地点から設定	自宅を登録してある地点を設定します。自宅を登録していないと使用できません。（「 自宅の登録 」129ページ参照）
	特別メモリ地点（5箇所）に登録してある地点を設定します。特別メモリ地点を登録していないと使用できません。（「 特別メモリ地点の登録 」141ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。（「 地図の呼び出し方法 」62ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。

推奨ルート以外のルートや目的地を追加したり、インターチェンジ・通過道路を設定するときは、ルート探索後に設定します。



- 目的地を設定する場合は800mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大20箇所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。20箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。（「**目的地履歴の消去**」147ページ参照）

2.目的地を設定してルート探索

目的地の設定

ワンタッチで設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 目的地を設定したい位置の地図にタッチします。

2 **目的地セット** にタッチします。

●1つ目の目的地を設定するときは、**4** の画面になります。



3 すでに目的地が設定されているときは、**設定する** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

●**追加する** にタッチすると、目的地が追加されます。



●目的地が高速道路上や進入できない地点などの場合、「高速道路上に目的地を設定しますか？」が表示されます。該当項目にタッチします。



●**設定する** にタッチすると、高速道路上を目的地に設定します。
●**他の道路** にタッチすると、他の道路を目的地に設定します。

●進入できない地点などや目的地周辺に河川などの障害がある場合、「目的地周辺に河川などの水域があります。目的地を移動しますか？」が表示される場合があります。



●**いいえ** にタッチすると、その地点を目的地に設定します。
●**はい** にタッチすると、目的地を移動することができます。

4

セット にタッチすると、 の位置に目的地が  記号で表示され、ルート探索が開始されます。

- **位置変更** にタッチし、 にタッチして、地図を動かすことができます。
- **3** で **追加する** にタッチした場合は、現在地から次に行く目的地として追加されます。
- 設定した目的地を消去するときは、「**目的地の消去**」96ページを参照してください。



目的地設定画面から目的地を設定します。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

●「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(62、75ページ参照)



3 **セット** にタッチすると、 の位置に目的地が  記号で表示され、ルート探索が開始されます。



4 **設定する** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加する** にタッチすると、目的地が追加されます。(「**目的地の追加**」92～94ページ5～6参照)



ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。



●ルート探索終了（全ルート図）画面

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。



高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（125ページ参照）を行ってください。

2.目的地を設定してルート探索

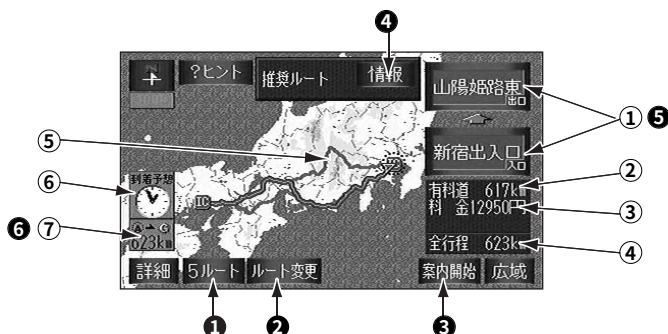
全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示された後、**NAVI** を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



●ルート探索終了（全ルート図）画面



■ 表示について

最終目的地までの表示になります。

① インターチェンジ（IC）名称表示

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の名称が上に表示されます。

② 有料道路距離表示

目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。

③ 料金案内

目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます。

④ 距離表示

目的地までの距離が表示されます。

⑤ ICマーク

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）と、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の位置に表示されます。

⑥ 到着予想時刻表示

目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ 残距離表示

目的地まで、表示されているルートを通った距離が表示されます。

■ タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

① 5ルート

別のルートを表示させ、選ぶことができます。(90ページ参照)

② ルート変更

探索条件の変更をすることができます。
また、目的地の追加、インターチェンジ(IC)・通過道路の指定をすることができます。(92、98、100ページ参照)

③ 案内開始

(目的地案内開始後は、**案内に戻る**)
目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。(106ページ参照) 目的地案内開始後は、現在地画面に戻ります。

④ 情報

ルート情報(案内道路情報)を表示させることができます。(89ページ参照)

⑤ インターチェンジ(IC) 名称

インターチェンジ(IC) 名称表示にタッチすると、表示されている出入口インターチェンジ(IC)を指定(すでに指定されている場合は変更)することができます。(98ページ参照)

⑥ 残距離表示

目的地が2箇所以上設定されているときは、残距離表示にタッチすると、残距離表示が表示される目的地を切り替えることができます。(120ページ参照)



● 次のときは、5ルートを表示させることはできません。

- 目的地が2箇所以上設定されているとき
- 出入口インターチェンジ(IC)・通過道路が指定されているとき
- 目的地案内が開始された後

● 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。

● 料金は設定した車両情報(114ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

● 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

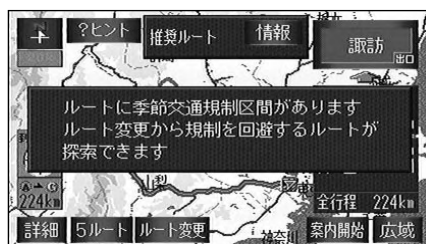
● 到着予想時刻は設定した平均車速(112ページ参照)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

● 目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。(120ページ参照)

2.目的地を設定してルート探索

季節規制区間の表示・回避

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが （橙色）で表示されます。
このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



●季節規制区間表示

季節規制区間を回避する

- 1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で、**ルート変更** にタッチします。
- 2 **季節規制回避** にタッチすると、ルート探索が開始されます。

●再度、季節規制区間を通るルートを探索する場合は **季節規制回避** にタッチします。



季節規制区間メッセージ表示を設定する

季節規制区間を含むルートが探索されたときに表示されるメッセージをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 季節規制区間メッセージの **する**、**しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



初期設定に戻す にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地までのルートを、出入口インターチェンジ、通る国道、一般道などに区分し、区間の距離、高速道路などの料金または出入口インターチェンジ（IC）の通過予想時刻を一覧で表示することができます。また、出発した地点・目的地などの周辺地図を表示することもできます。

1 全ルート図表示画面で **情報** にタッチします。

- 入口インターチェンジ（IC）・出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・目的地・通過道路・道路の種類の変わり目でルート情報が分割されて表示されます。



2 ▲または▼にタッチして情報をスクロールします。

- 分割されたそれぞれのルート情報は、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。



3 **地図** にタッチすると、設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。



- ルート案内中にもメニュー画面から全ルート図を表示してルート情報を表示することができます。
- 料金は、使用する道路によって表示しない場合があります。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自車位置  が表示されます。
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 料金は設定した車両情報（114ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均车速（112ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

2.目的地を設定してルート探索

5ルート同時表示

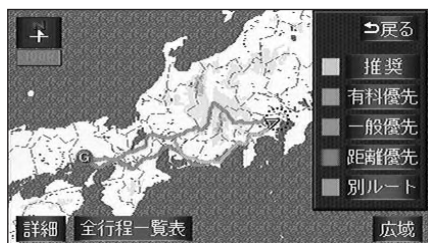
目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時に表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから次々と表示されます。

1 全ルート図表示画面で、**5ルート** にタッチします。

●5つのルートが5色に色分けされて表示されます。



2 ルートの種別にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



3 **全行程一覧表** にタッチします。

●5つのルートの距離・料金・所要時間が表示されます。

4 ルートの種別にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。

全行程一覧表				戻る
探索条件	料金	全行程	所要時間	
推奨	12950円	623km	8時間01分	
有料優先	13300円	615km	7時間52分	
一般優先		636km	21時間13分	
距離優先	12350円	612km	8時間33分	
別ルート	12900円	615km	7時間56分	



●次のときは、5ルート同時表示させることはできません。

- 目的地が2箇所以上設定されているとき
- 通過する地点〔出入口インターチェンジ (IC) ・通過道路〕が指定されているとき
- 目的地案内が開始された後
- 5つのルートの特長については、125ページを参照してください。
- 料金は設定した車両情報 (114ページ参照) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均车速 (112ページ参照) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3.探索ルートの変更

ここで説明する操作は目的地が設定されているときに操作することができます。
ルートを探索した後、目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定など、
ルートを変更することができます。ルートを変更するには次の方法があります。

●全ルート図表示画面から変更する。

●メニュー画面から変更する。

ルート変更 にタッチすると、ルート変更画面になります。

ルート変更画面から各設定を行います。

●全ルート図表示画面



ルート変更

●メニュー画面



ルート変更



●ルート変更画面

- 目的地の追加 次ページ
- 探索条件の変更 94ページ
- 目的地の並び替え 95ページ
- 目的地の消去 96ページ
- 出入口インターチェンジ（IC）の指定 98ページ
- インターチェンジ（IC）指定の解除 99ページ
- 通過道路の指定 100ページ
- 通過道路の修正 102ページ
- 通過道路指定の解除 103ページ

3.探索ルートの変更

目的地の追加

目的地を設定した後、さらに追加して目的地を設定することができます。

以下のようなときに、追加して目的地を設定します。

- 設定した目的地と現在地のあいだで、通過する地点を設定するとき
- 設定した目的地を通過する地点に変更し、新しく目的地を設定するとき

目的地の設定と同じ方法で**追加する**にタッチして、追加することもできます。（「ワンタッチで設定する」82～83ページ**1**～**4**参照、「地図の呼び出し方法から設定する」84ページ**1**～**4**参照）

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 目的地・通過目的地の**追加**にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」（62、75ページ参照）



- 800mスケール図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大20箇所まで）。20箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（「目的地履歴の消去」147ページ参照）
- インターチェンジ（IC）や通過道路（98、100ページ参照）が指定されているとき、目的地を追加すると、指定されている地点によっては、IC・通過道路の指定が解除されることがあります。
- 2箇所以上目的地が設定されているときに**並び替え**が表示されます。

4

セット にタッチすると、 の位置に目的地が  記号で表示されます。

- **位置変更** にタッチし、 にタッチして、地図を動かすことができます。
- 最大5箇所まで設定することができます。
- すでに5箇所設定されているときは、設定されている目的地を消去してから設定し直してください。(目的地を消去するときは、「目的地の消去」96ページを参照してください)



5

設定する区間の **設定** にタッチします。



(例) 「現在地」と「姫路城」の間に目的地を追加する場合、ここにタッチします。



- 目的地が高速道路上や進入できない地点などの場合、「高速道路上に目的地を設定しますか？」が表示されます。該当項目にタッチします。



- **設定する** にタッチすると、高速道路上を目的地に設定します。
- **他の道路** にタッチすると、他の道路を目的地に設定します。

- 進入できない地点などや目的地周辺に河川などの障害がある場合、「目的地周辺に河川などの水域があります。目的地を移動しますか？」が表示される場合があります。



- **いいえ** にタッチすると、その地点を目的地に設定します。
- **はい** にタッチすると、目的地を移動することができます。

3.探索ルートの変更

- 6 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、**はい**にタッチすると、インターチェンジ（IC）の指定を解除します。

- **いいえ**にタッチすると、ルート変更画面が表示されます。



- 7 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

- 目的地を設定した後、この画面から、次のことができます。
- ・探索条件の変更（右記）
 - ・目的地の並び替え（次ページ）
 - ・目的地の消去（96ページ）
 - ・出入口インターチェンジ（IC）の指定（98ページ）
 - ・インターチェンジ（IC）指定の解除（99ページ）
 - ・通過道路の指定（100ページ）
 - ・通過道路指定の修正（102ページ）
 - ・通過道路指定の解除（103ページ）



- さらに追加して、目的地を設定するときは、**追加**にタッチすると、92ページ**3**の画面が表示されますので、**3**～**6**を繰り返します。

探索条件の変更

探索条件を変更して、再探索することができます。

- 1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

- 2 **探索条件変更**にタッチします。



- 3 それぞれの区間の探索条件（ルート種別）にタッチします。



- 4 **探索開始**にタッチすると、ルート探索が開始されます。



- 探索条件の特長については、125ページを参照してください。
- 目的地が1つの場合は、**別ルート**が表示されます。

目的地の並び替え

複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。

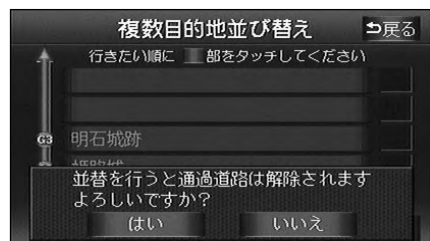
1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で **ルート変更** にタッチします。

2 **並び替え** にタッチします。



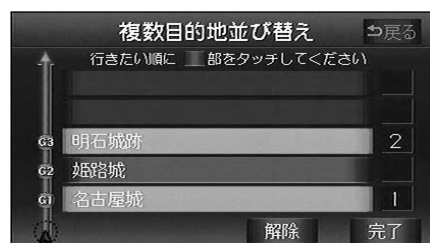
3 インターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されているときは、**はい** にタッチすると、インターチェンジ (IC) ・通過道路の指定を解除します。

● **いいえ** にタッチすると、元の画面にもどります。



4 次に行く目的地から順に、目的地名称にタッチします。

- タッチした目的地名称の右側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたときは **解除** にタッチすると、選ばれていた目的地名称の順番が解除されます。



5 **完了** にタッチします。

- すべての目的地名称の順番が決定されると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に **6** の画面が表示されます。
- すべての目的地名称にタッチしないで、並び替えたい目的地のみにタッチしてから **完了** にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

6 **設定完了** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



インターチェンジ (IC) ・通過道路 (98、100ページ参照) が指定されているときに並び替えをすると、インターチェンジ (IC) ・通過道路の指定が解除される場合があります。

3.探索ルートの変更

目的地の消去

複数設定した目的地の1つを消去することができます。また、すべての目的地を同時に消去することもできます。

設定方法1

ルート変更 から消去する

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で **ルート変更** にタッチします。

2 目的地・通過目的地の **消去** にタッチします。

● 1箇所のみ設定されていたときは、**4** の画面が表示されます。



3 消去したい目的地名称にタッチします。

● すべての目的地を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 はい にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。

● すべての目的地を消去したときは、現在地画面になります。



5 **設定完了** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。

設定方法2

目的地 から消去する

1 **目的地** を押します。

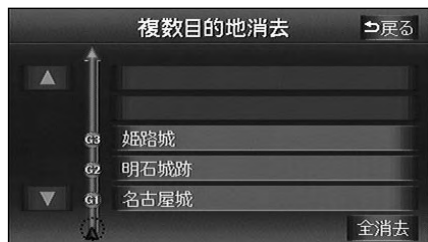
2 **目的地消去** にタッチします。

- 1箇所のみ設定されていたときは、**4** の画面が表示されます。



3 消去したい目的地名称にタッチします。

- すべての目的地を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。
- すべての目的地を消去したときは、現在地画面になります。



5 **設定完了** にタッチするとルート探索が開始されます。



3.探索ルートの変更

出入口インターチェンジ（IC）の指定

目的地を設定した後、全ルート図表示画面に表示されている出入口インターチェンジ（IC）を指定することができます。

- 1 全ルート図表示画面で、変更するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

- **ルート変更** にタッチしても指定することができます。



- 2 インターチェンジ（IC）名称にタッチします。

- 道路名称にタッチすると、次のインターチェンジ（IC）を表示します。



- 指定したインターチェンジ（IC）に出口（または入口）が2箇所以上あるときは、選択する画面が表示されます。

- 3 **次候補** にタッチして、出口（または入口）を選びます。

- 表示されている出口（または入口）を指定するときは、**セット** にタッチします。

- 4 **セット** にタッチします。

- 指定されたインターチェンジ（IC）が **IC** 記号で指定されます。
- 全ルート図表示画面から操作を行ったときは、ルート探索が開始されます。

- 5 ルート変更画面から操作を行ったときは **設定完了** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



- 探索ルートに高速道路などの使用がないときは、インターチェンジ（IC）の指定はできません。
- 指定できるインターチェンジ（IC）は、現在表示されているインターチェンジ（IC）を中心に前後3つまでです。また、ジャンクション（JCT）があり、分岐する場合は、両方の道路のインターチェンジ（IC）が表示されます。
- 目的地（現在地）が高速道路上の場合は、出口（入口）の指定はできません。
- 指定できるインターチェンジ（IC）は入口、出口とも各1箇所になります。

インターチェンジ（IC）指定の解除

1 全ルート図表示画面で、解除するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

● **ルート変更** にタッチしても解除することができます。

2 **出口指定解除**（または **入口指定解除**）にタッチすると、ICの指定が解除され、ルート探索が開始されます。



3.探索ルートの変更

通過道路の指定

全ルート画面で指定する

1 全ルート図表示画面で、通過させたい道路付近の地図にタッチします。

2 **通過道路指定** にタッチします。



3 **次候補** にタッチして、通過道路を選びます。

- 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



4 **セット** にタッチします。通過道路が
◆記号で指定されます。

- 目的地が1箇所のみ設定されていて、インターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されていないときは、ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

5 目的地が2箇所以上設定されているとき、またはインターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されているときは、指定する区間の**設定** にタッチします。

- ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。



- 最大2箇所まで指定することができます。
- すでに通過道路が2箇所指定されているときは、指定されている通過道路を解除してから指定し直してください（通過道路を解除するときは、「通過道路指定の解除」103ページを参照してください）。
- インターチェンジ (IC) が指定（98ページ参照）されているとき、通過道路を指定すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ (IC) の指定が解除されることがあります。
- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路を選べないことがあります。

ルート変更 から指定する

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **指定** にタッチします。



3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

4 **通過道路セット** にタッチします。



5 **次候補** にタッチして、通過道路を選びます。

- 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



6 **セット** にタッチします。通過道路が **◆** 記号で指定されます。

- 目的地が1箇所のみ設定されていて、インターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されていなかったときは、全ルート図表示画面になります。

7 目的地が2箇所以上設定されているとき、またはインターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されているときは、指定する区間の **設定** にタッチします。



8 **設定完了** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



- **修正** ・ **解除** は、すでに通過道路が指定されているときのみ表示されます。
- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

3.探索ルートの変更

通過道路指定の修正

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **修正** にタッチします。

● 1箇所のみ設定されていたときは、**4** の画面になります。



3 道路名称にタッチすると、地図が表示されます。



4 通過道路を修正する位置に地図を動かします。

● 道路の種類を変更するだけのときは、地図を動かす必要はありません。



表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

5 **通過道路セット** にタッチします。



6 **次候補** にタッチして、通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。

7 **セット** にタッチします。通過道路が◆記号で指定されます。



8 **設定完了** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



通過道路指定の解除

1 全ルート図表示画面、またはメニュー画面で**ルート変更**にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の**解除**にタッチします。

● 1箇所のみ設定されていたときは、**4**の画面になります。



3 解除したい通過道路の道路名称にタッチします。

● すべての通過道路を解除するときは、**全解除**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。

● **いいえ**にタッチすると、元の画面にもどります。



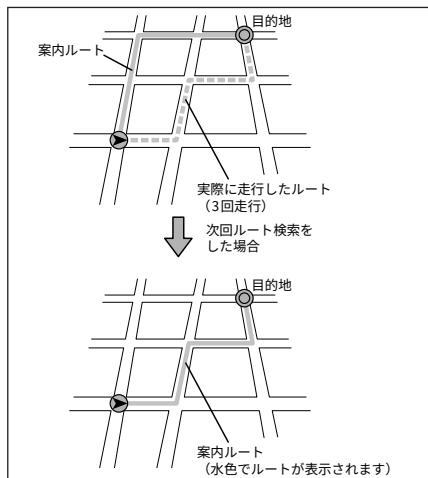
5 **設定完了**にタッチすると、ルート探索が開始されます。



3.探索ルートの変更

ルートのショートカット学習

探索したルートを外れてショートカットした区間のルートを次のルート探索に反映します。



ルートのショートカット学習を設定する

ルートのショートカット学習をON（学習する）にするか、OFF（学習しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で **ナビ設定** にタッチします。
- 2 ルートのショートカット学習の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



初期設定に戻す にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

4.目的地案内の開始・中止・再開

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で

案内開始 にタッチすると目的地案内が始まります。

また、目的地案内を途中で中止したり、再開することができます。

- 1 全ルート図表示画面で、**案内開始** にタッチすると、目的地案内が開始されます。

- 全ルート図が表示された後、**NAVI** を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。



案内の中止・再開

- 1 メニュー画面で、**案内中止** にタッチします。

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
- 中止した目的地案内を再開させるときは、再度メニュー画面で、**案内再開** にタッチします。



4.目的地案内の開始・中止・再開

デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモを見ることができます。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始**に約3秒以上タッチし続けます。

2 デモ中に **NAVI**（または **MENU**・**目的地**）を押すと、デモが終了し、現在地画面になります。

●デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。



●ここで説明する操作は、目的地設定後のルート探索終了時（案内開始前）に表示される全ルート図画面で行うことができます。

また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。

●デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域にしてください。

●デモンストレーションの速度を遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。

（「地図縮尺の切り替え」37ページ参照）

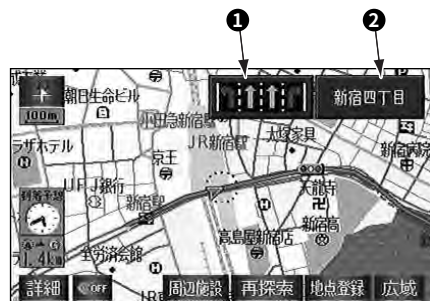
5.目的地案内について

ルート探索が終了すると、希望ルートの案内を開始することができます。
目的地に向かって走行すると、目的地までのルートを案内します。

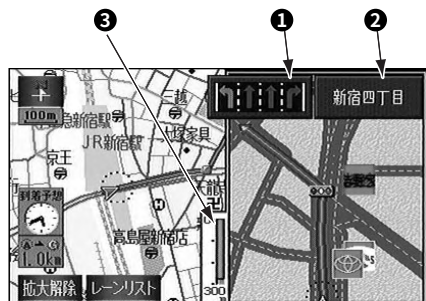
交差点案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、案内ポイントが表示されている交差点が近づく、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点案内画面が自動的に表示されます。

分岐しない交差点



分岐する交差点（交差点案内画面）



① レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。

② 交差点名称表示

通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

③ 残距離表示

交差点までの距離が表示されます（交差点に近づくとともに■が短くなります）。

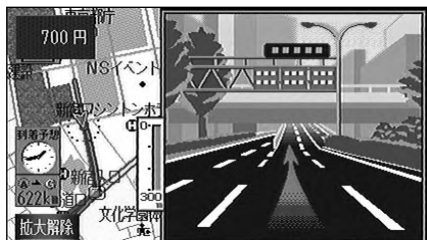


- 細街路などのルート（目的地および出発地周辺の水色ルート）を走行している場合は、交差点案内を行いません。
- 地図DVD-ROMに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は表示されません。
- 案内ポイントの種類により、表示される画面は異なります。
 - （赤）…交差点案内画面が表示されます。
 - （青）…交差点名称表示・車線表示が表示されます。
 - （灰）…車線表示が表示されます。
- 交差点名称表示・車線表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 次のようなときは、交差点案内が行われなかったりすることがあります。
 - 目的地案内開始直後
 - 目的地周辺
- 交差点案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点案内画面が表示されます。
- 交差点案内画面が表示されているとき、交差点名称表示・車線表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

5.目的地案内について

立体的な案内画面

立体情報のある交差点・都市高速のインターチェンジ（IC）入口では、立体的な案内画面が表示されます。



●立体的な案内画面

3D交差点案内画面

交差点拡大図案内画面を立体的（3D）に表示させることができます。



●3D交差点案内画面

3D交差点拡大図を設定する

3D交差点案内図をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 3D交差点拡大図表示の、**する** または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3 **完了** にタッチします。

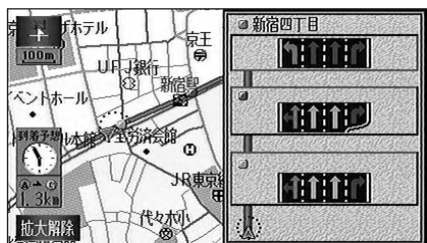


初期設定に戻す にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

レーン（車線）リスト図表示

分岐する交差点の手前（約700m以内）では、走行する交差点の名称と車線のレーンリスト図を表示させることができます。

- 案内交差点…赤色
- 案内ポイント…桃色、緑色、水色
- 地図上の案内ポイント■とレーンリストの■は同じ色で表示されます。



●レーン（車線）リスト図表示

- 1 交差点案内画面が表示されているときに、レーンリスト図を表示させるには、**レーンリスト** にタッチします。

- 再度、交差点案内画面を表示させるには、**交差点** にタッチします。



- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では、交差点案内画面が自動的に表示されます。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

レーンリスト図表示を設定する

レーンリスト図表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 レーンリスト図表示の **する**、または **しない** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。

交差点案内画面・レーンリスト図表示の解除

- 1 **拡大解除** にタッチします。

- 再度、交差点案内画面（レーンリスト図表示）を表示させるには、**NAVI** を押します。



5.目的地案内について

道路形状警告

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、道路形状警告地点（下図参照）が近づくと、地図右上に道路形状警告をマークで表示し、音声で案内（117ページ）します。

（例）

形状	警告マーク
踏切	
急カーブ	
合流道路	



●道路形状警告

道路形状警告を設定する

踏切警告、合流警告、カーブ警告をON（警告する）にするか、OFF（警告しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 道路形状警告の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は ー（破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



- 地図DVD-ROMに情報のない地点では、道路形状警告は行われません。
- 次のようなときは、道路形状警告が行われないことがあります。
 - 目的地案内開始直後
 - 目的地周辺
- 道路形状警告は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の道路形状警告が近いときは、続けて案内が行われます。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

到着予想時刻の表示

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、地図左に到着予想時刻を表示させることができます。



●到着予想時刻表示

到着予想時刻表示を設定する

到着予想時刻をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 到着予想時刻表示の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



- 到着予想時刻は設定した平均车速（次ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク📍になります。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

5.目的地案内について

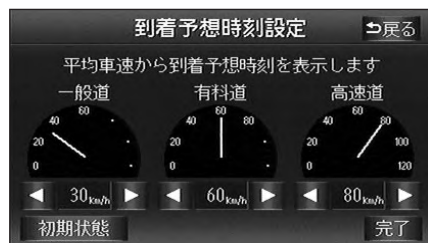
平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- ハイウェイモード画面の通過予想時刻
(44ページ参照)
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻
(86ページ参照)
- ルート情報の通過予想時刻
(89ページ参照)
- 全行程一覧表(5ルート同時表示)の
所要時間(90ページ参照)
- 現在地画面の到着予想時刻
(19ページ参照)

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 到着予想時刻表示の**設定** にタッチします。



3 それぞれの道路の設定速度を入力します。

- 速度を上げるときは**▶**、下げるときは**◀**にタッチします。(タッチするたびに、5km/hずつ変更されます)。

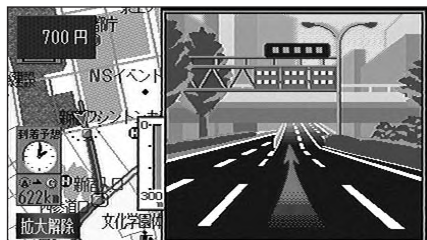
4 **完了** にタッチします。



- 最高速度(高速道120km/h・有料道80km/h・一般道60km/h)にすると**▶**、最低速度(5km/h)にすると**◀**の色が反転し、タッチしても操作できません。
- 初期状態** にタッチすると、初期設定の状態(高速道80km/h・有料道60km/h・一般道30km/h)に戻ります。

料金案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、地図左上に料金を表示し、音声で案内します。



●料金案内表示

料金案内を設定する

料金案内をON（案内する）にするか、OFF（案内しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 料金案内の **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **完了** にタッチします。



- 料金は設定した車両情報（次ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。
- 地図DVD-ROMに情報のない料金所では、料金案内は表示されません。
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもなります。

5.目的地案内について

車両情報を設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両情報を設定することができます。

- 提携駐車場の検索（77ページ参照）
- 全ルート図表示画面の料金表示（86ページ参照）
- ルート情報の料金表示（89ページ参照）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の料金表示（90ページ参照）
- 目的地案内中の料金案内（前ページ参照）

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 **車両情報設定** にタッチします。

3 お車のナンバープレートの分類番号（**1**・**3**・**5・7**・**軽**）にタッチします。

4 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。

- 寸法を大きくするときは▲、小さくするときは▼にタッチします。

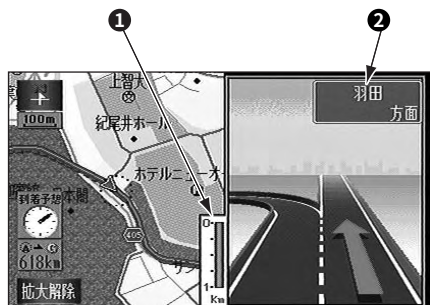
5 **完了** にタッチします。



- 安全のため、走行中は操作できません。
- 車両寸法については、車検証を参照してください。
- 最大寸法（長さ600cm・幅250cm・高さ300cm）にすると▲、最小寸法（長さ450cm・幅160cm・高さ150cm）にすると▼の色が反転し、タッチしても操作できません。
 長さ 450～500cm（5cm刻み）、500～600cm（10cm刻み）
 幅 160～200cm（5cm刻み）、200～250cm（10cm刻み）
 高さ 150～200cm（5cm刻み）、200～300cm（10cm刻み）
- 提携駐車場は、車両寸法、ナンバープレートから検索しています。
- 料金案内・表示はナンバープレートから計算しています。
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（寸法が入力されていない状態）に戻ります。

高速分岐案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、高速道路を走行しているとき、分岐点〔出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）〕が近づくと、高速分岐案内画面が自動的に表示されます。



① 距離表示

分岐点までの距離が表示されます（分岐点に近づくとともに■が短くなります）。

② 分岐点名称表示

インターチェンジ（IC）の出口名称、またはジャンクション（JCT）の方面名称が表示されます。

高速分岐案内画面を解除する

1 拡大表示 にタッチします。

- 再度、高速分岐案内画面を表示させるには、**NAVI** を押します。

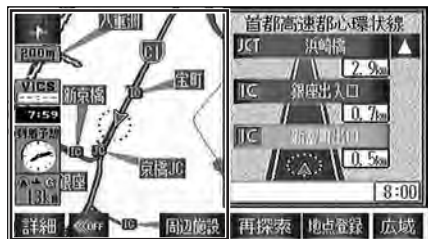


- 地図DVD-ROMに情報のない分岐点では、高速分岐案内は表示されません。また、高速分岐案内が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示が実際の分岐点と異なることがあります。
- 次のようなときは、高速分岐案内が行われなかったことがあります。
 - 目的地案内開始直後
 - 目的地周辺
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点に近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

5.目的地案内について

都市高速マップ表示

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、都市高速に入ると、自動的に都市高速マップを表示させることができます。



都市高速マップ表示

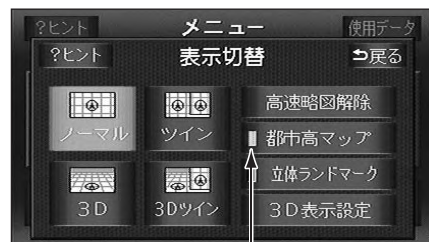
都市高速マップ表示を設定する

都市高速マップをON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で **表示切替** にタッチします。

2 **都市高マップ** にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。



作動表示灯



- 200m～800mスケール図の地図で表示させることができます。
- 都市高速マップが表示されるのは、都市高速のみです。（地図DVD-ROMに情報がある道路のみ）
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）に入るなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ（ランプ）の入口、出口、ジャンクション、目的地に近づくと、残りの道のりと曲がる方向を10方向（右、左、ナナメ右、ナナメ左、右に戻る、左に戻る、右手前、左手前、戻る、直進）で音声案内します。音声案内はPCM音声（肉声）で案内します。

1

NAVI を押すと、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。



まもなく右方向です

●カーブ・合流・踏切の音声案内

目的地案内中、カーブ・踏切などを事前に音声で案内します。（ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります）

また、高速道路のルート走行中に合流点がある場合、音声にて合流を知らせます（合流手前1km以内に分岐点などがある場合は案内しません）。

◆音声案内例

- ・この先カーブがあります。
- ・この先、踏切です。
- ・この先、右からの合流があります。



- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- たとえば「およそ700m先左方向です。」の音声案内の後、しばらく走行した後に、**NAVI** を押すと、「およそ600（500）m先左方向です。」というように音声案内が刻々と状況に合わせて変化します。
- 目印の音声案内は、交差点目印音声案内を **する** にすると案内します。（119ページ参照）
- カーブ・合流・踏切の音声案内は各道路形状警告を **する** にすると案内します。（110ページ参照）

5.目的地案内について

●高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

◆音声案内例

- ・およそ〇〇km先、〇〇方向、〇〇方面です。

●高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

◆音声案内例

- ・この先〇〇mで料金所です。
料金は〇〇です。その先〇〇方面です。

〔目的地に到着したときの音声案内の例〕

◆音声案内例

- ・目的地周辺です。音声案内を終了します。



- 高速道路の料金案内は、料金案内を **する** にすると案内します。(113ページ参照)
- 【〇〇〇音声案内の例】は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が行われなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができます。(30ページ参照)
- 初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

他モードでの案内

他モード（ナビゲーション画面以外の画面）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

設定方法1

音声設定 から他モードでの案内を設定する

他モードに切り替えたときの音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**音声設定** にタッチします。

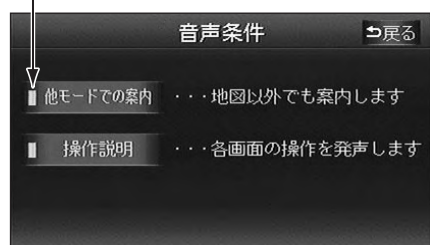
2 **音声条件設定** にタッチします。



3 **他モードでの案内** にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

作動表示灯



設定方法2

ナビ設定 から他モードでの案内を設定する

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 他モードの案内音声の**する**、または**しない**にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



3 **完了** にタッチします。



●**初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

6.案内ルートの操作

全ルート図の再表示

- 1 メニュー画面で、**全ルート図** にタッチします。

●全ルート図表示画面になります。



- 全ルート図表示画面の詳しい内容については、「**全ルート図の表示**」86ページを参照してください。

残距離表示の切り替え

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、目的地が2箇所以上設定されているとき、切り替えることができます。

- 1 残距離表示にタッチするごとに、残距離表示される目的地が切り替わります。



残距離表示



状況により目的地までの距離の数値が異なります。

- 現在地がルート上にあるとき…表示されているルートを通っての距離
- ルートからはずれたとき…直線距離

オンルートスクロール

目的地案内中のとき、出発地または目的地までルートに沿って自動で地図をスクロール表示させることができます。また、ルート沿いの施設まで地図をスクロール表示させることもできます。

オンルートスクロールを開始する

- 1 メニュー画面で、**オンルートスクロール**にタッチします。

- 2 スクロールのタッチスイッチ
(  ・   ・  ) にタッチします。

- **設定** にタッチすると目的地またはルート沿いの施設までの移動を設定することができます。



オンルートスクロールの施設を設定する

- 1 **設定** にタッチしたときは、

- 2 **次の目的地まで**、または**次の施設まで** にタッチします。

- 3 オンルートスクロール画面に表示させたい施設にタッチします。

- 設定できる施設は1つのみです。
- **その他** にタッチすると、GS（ガソリンスタンド）、コンビニ、レストラン、喫茶店、銀行、駐車場以外の施設の記号も表示させることができます。
- 間違えたときは**選択解除** にタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

6.案内ルート操作

オンルートスクロール画面の操作について

- **II** にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
- **NAVI** を押すとオンルートスクロールが終了します。
- **▶|G**・**G|◀** にタッチすると、移動が早送りされます。



- 表示している地図にルートが表示されていないときは、オンルートスクロールをさせることができません。
- 次の表示中は、オンルートスクロールを行うと表示が解除されますが、**NAVI** を押すと戻ります。
 - 2画面表示をさせているとき
 - 都市高マップを表示しているとき
 - 3D表示させているとき
- 走行中は操作できません。オンルートスクロール中に走行すると **▶|G** **G|◀** のみ操作することができます。
- 次の施設までの場合
施設が選ばれているときのみタッチすることができます。
 - ▶|G** …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークまで地図が移動されます。
 - G|◀** …出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークまで地図が移動されます。
 - ▶|G** …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークの地図が表示されます。
 - G|◀** …出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークの地図が表示されます。
- 次の目的地までの場合
 - ▶|G** …次の目的地まで、地図が移動されます。
 - G|◀** …出発した地点（前の目的地）まで、地図が移動されます。
 - ▶|G** …次の目的地の地図が表示されます。
 - G|◀** …出発した地点（前の目的地）の地図が表示されます。
- 以下の地図より広域の地図を表示させたときは、「次の施設まで」のオンルートスクロールはできません。
 - ▶|G**・**G|◀** … 400mスケール図
 - ▶|G**・**G|◀** … 800mスケール図
- オンルートスクロールで設定した施設は周辺施設で設定した施設とは異なります。
- 施設ランドマークまで移動したときは、施設の情報を表示することができます。（61ページ参照）
- 表示される地図によってオンルートスクロールが止まることがあります。

7. ルートの再探索

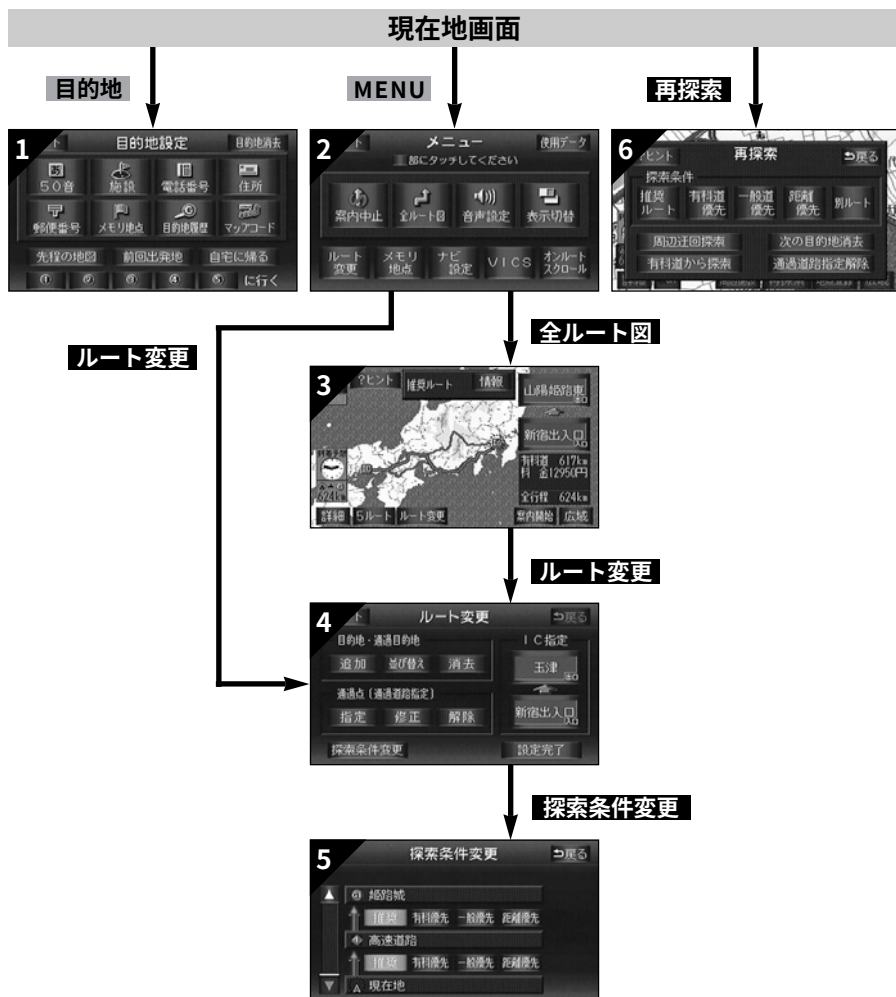
ルートの再探索について

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

ルートを変更するには、「**MENU**」の**全ルート図**または**ルート変更**から変更する方法」、「**目的地**」から変更する方法、または「案内中の**再探索**」から簡易に変更する方法」があります。

以下の画面でルートを再探索することができます。

● 各画面のタッチスイッチについては次ページを参照してください。



7. ルートの再探索

画面No.	タッチスイッチ	機 能	ページ
1	地図の呼び出し方法	目的の地図を呼び出します。 目的地を設定・追加します。	62
2	全ルート図	全ルート図を表示します。	86
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	91
3	インターチェンジ (IC) 名称	入口・出口のインターチェンジ (IC) を指定・解除します。	98、 99
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	91
4	目的地・通過目的地 追加・並び替え・ 消去	目的地を追加・並び替え・消去します。	92、 95、 96
	通過点 (通過道路指定) 指定・修正・解除	通過道路を指定・修正・解除します。	100、 102、 103
	インターチェンジ (IC) 名称	入口・出口のインターチェンジ (IC) を指定・解除します。	98、 99
	探索条件変更	探索条件設定画面を表示します。	94
5	探索条件	各区間の探索条件を設定します。	94
6	探索条件	ルートの探索条件を変更します。	125
	周辺迂回探索 ※1	周辺を迂回するルートを探します。	125
	有料道から探索 ※2 一般道から探索	高架道路の上下でルートを訂正して探索します。	125
	次の目的地消去 インター指定解除 (通過道路指定解除)	次の目的地を消去・インターチェンジ (IC) の指定を解除・通過道路指定を解除して探索します。	125

※1 ルートからはずれたときは、表示されません。

※2 有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは、表示されません。

画面No.	タッチスイッチ	機能
6	ルート種別	
	推奨ルート	現在地から次の目的地※ ⁴ のあいだで、一般的なルートが探索されます。
	有料道優先	現在地から次の目的地※ ⁴ のあいだで、有料道路を優先してルートが探索されます。
	一般道優先	現在地から次の目的地※ ⁴ のあいだで、一般道路を優先してルートが探索されます。
	距離優先	現在地から次の目的地※ ⁴ のあいだで、距離の短いルートが探索されます。
	別ルート※ ³	現在地から次の目的地※ ⁴ のあいだで、他のルートとは別のルートが探索されます。

※³ 5ルート同時表示（90ページ）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。

※⁴ 現在地と次の目的地のあいだにインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されま

ルートの再探索

1 現在地画面で「再探索」にタッチします。

2 再探索させる項目にタッチすると、ルート探索が開始されます。



- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定されている目的地［インターチェンジ（IC）・通過道路］に向かうルートが再探索されます。
- 「○○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**「有料道優先」**にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**「一般道優先」**にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 「次の目的地消去・インター指定解除（通過道路指定解除）」**にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して［インターチェンジ（IC）の指定・通過道路指定を解除して］、再探索をさせることができます。

7. ルートの再探索

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

- 周辺探索…元のルートへ復帰するルートが探索されます。
- 全ルート探索…現在地から目的地※の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。

※現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路のあいだで、ルートが探索されます。

自動再探索を設定する

自動再探索をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 自動再探索の **する**、または **しない** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **完了** にタッチします。



- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ案内可能な道路を走行していると判断されたときに行われます。
- **初期設定に戻す** にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

MEMO

1.地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、メモリ地点または特別メモリ地点として登録することができます。また、迂回メモリ地点を登録すると、ルート探索時にはその地点を迂回するルートを探索することができます。

登録した自宅、メモリ地点および特別メモリ地点は地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

間違って登録した場合は、修正および消去を行ってください。

自宅

自宅は1箇所登録でき、地図上に自宅マークを表示します。また、ワンタッチで自宅に帰るルートを探索することができますので、**最初に登録することをおすすめします。**

メモリ地点

メモリ地点は最大100箇所まで登録でき、46種類の記号で地点ごとに覚えて登録しておくことができます。また、すべてのメモリ地点には、名称、名称読み、電話番号が設定でき、拡張機能として7種類の記号で、次のような機能を持たせることができます。

- ①音声付きメモリ地点に設定する……………近づくと言で知らせる設定（6種類）
- ②方向付き音声付きメモリ地点に設定する…近づく方向を限定して音で知らせる設定（1種類）

特別メモリ地点

特別メモリ地点は5箇所まで登録でき、地図を呼び出すときに使用するタッチスイッチ（**①** ～ **⑤**）に記憶させることができます。また、特別メモリ地点ごとに名称、名称読み、電話番号が設定できます。目的地の設定のときはワンタッチでルートを探索することができます。

迂回メモリ地点

迂回メモリ地点は10箇所まで登録でき、地点ごとに迂回範囲を設定することができます。また迂回メモリ地点には名称が設定できます。



自宅、特別メモリ地点および迂回メモリ地点は、記号を変更することはできません。

2. 自宅の登録

自宅は、地図に1箇所登録することができます。

自宅を登録しておくと、目的地設定画面から、1回の操作でルート探索を開始させることができます。(62ページ参照)

自宅の登録・消去

自宅を登録する

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点**にタッチします。

- 2 **自宅登録** にタッチします。



- 3 地図の呼び出し方法を選び、自宅を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(62、75ページ参照)



- 4 **セット** にタッチすると、⊕の位置に自宅が📍記号で表示されます。

- **位置変更** にタッチし、⬆にタッチして地図を動かすことができます。



2. 自宅の登録

自宅を消去する

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 **自宅消去** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点（目印にする場所）は、地図に100箇所まで登録することができます。（100箇所を超えて登録するときは、不要なメモリ地点を消去してから登録してください。）

メモリ地点を登録しておくと、

- 地図に記号および名称が表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。（73ページ参照）

メモリ地点の登録

ワンタッチ登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

- 1 メモリ地点を登録する位置の地図にタッチします。（現在地に登録するときは、地図をスクロールする必要はありません。）

- 2 **地点登録** にタッチすると、、または  の位置にメモリ地点が  記号で表示されます。



離れた場所を登録する

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 メモリ地点の **登録** にタッチします。



- 800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。（ワンタッチ登録を除く）
- 表示されるメモリ地点の住所は、場所により隣接の地名が表示されることがあります。
- 登録したメモリ地点は、付近の名称、または住所が表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が同時に入力されることがあります。
- 高速道路を走行中に **地点登録** にタッチすると  記号で登録され、確認音がなります。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(62、75ページ参照)



4 **セット** にタッチします。

- **位置変更**、または **合** にタッチして地図を動かすことができます。



5 記号にタッチすると、**+**の位置にメモリ地点が選択した記号で表示されます。

- メモリ地点の記号は、**マーク1**・**マーク2**・**音声付き** にタッチして、記号の種類を変更します。



●マーク1

- **記号なし** にタッチすると、登録したメモリ地点の記号を地図に表示されないようにすることができます。



●マーク2

- 音声付きの記号を選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

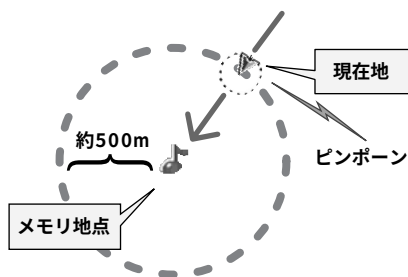


●音声付き

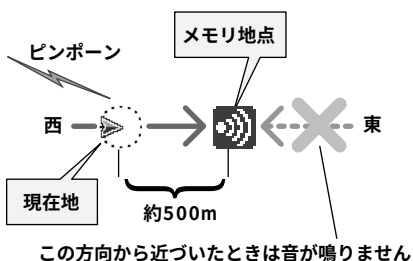


- **修正・消去** は、すでにメモリ地点が登録されているときのみ表示されます。
- **音声付き** の記号を選択したときは、確認音が鳴ります。

<音声付き>



<方向付き>



<方向付きを設定する場合>

- **方向付き** にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。

例えば、東西に走る道路では、西側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴りません。

6

方向付き にタッチしたときは、方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは 時計まわりに動かすときは にタッチします。
- メモリ地点が 記号で表示されます。



7

セット にタッチします。

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 メモリ地点の **修正** にタッチします。

3 修正するメモリ地点にタッチします。



4 位置の **変更** にタッチします。

●地図が表示されます。



5 ↑ にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。

6 **セット** にタッチします。

- ⊕ の位置にメモリ地点が **4** で表示されている記号で表示されます。
- 位置を修正すると、**4** で表示されている位置の名称も修正されます。



メモリ地点の記号変更

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 メモリ地点の **修正** にタッチします。
- 3 変更するメモリ地点にタッチします。



- 4 記号の **変更** にタッチします。



- 5** 変更する記号にタッチします。

- 記号については、132ページを参照してください。



メモリ地点のリストは、メモリ地点を登録した順と、メモリ地点の記号の種類別の2種類で並べることができます。

- **記号順に並べる** にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。
- **登録順に並べる** にタッチすると、メモリ地点の登録順に並びかわります。



●登録順表示



●記号順表示

3. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の電話番号入力

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 メモリ地点の **修正** にタッチします。

3 入力するメモリ地点にタッチします。



4 電話記号の **変更** にタッチします。



5 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



6 **完了** にタッチします。



- メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。(70ページ参照)
- 入力することができる桁数は最大10桁までです。

メモリ地点の名称入力

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 メモリ地点の **修正** にタッチします。
- 3 入力するメモリ地点にタッチします。

- 4 名称の **変更** にタッチします。

- 5 ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ** (カタカナ) ・ **英字** ・ **数・記号** (数字・記号) にタッチして、入力画面を切り替えます。

● ひらがな入力と漢字入力については次ページを参照してください。

- 6 **半角入力** (または **全角入力**) にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- 7 文字を1文字ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **クリア** にタッチすると、1つずつ消去されます。

- 8 **完了** にタッチします。



入力することができる文字数は最大12文字（半角文字は24文字）までです。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

ひらがな・漢字を入力するには

- 1 **かな** にタッチします。
- 2 文字（ひらがな）を入力します。
- 3 ひらがなのときは **無変換**、漢字のときは **変換** にタッチします。



- 4 **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更し、再度 **変換** にタッチします。



メモリ地点の名称読み入力

メモリ地点に名称読みを入力しておく、そのメモリ地点は音声操作で地図を呼び出すことができます。

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 メモリ地点の**修正** にタッチします。

3 入力するメモリ地点にタッチします。



4 名称読みの**変更** にタッチします。



5 名称を1文字ずつタッチして入力します。

●間違えたときは**クリア** にタッチすると、1ずつ消去されます。



6 **完了** にタッチします。



- 入力することができる文字数は最大24文字（半角のみ）までです。
- 言葉として、読めない文字（例：ラ、ア）を入力すると音声操作で地図を呼び出すことはできません。

3. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の名称表示

地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。



- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 メモリ地点の **修正** にタッチします。
- 3 表示するメモリ地点にタッチします。



- 4 地図上の名称表示の **する**、または **しない** にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



メモリ地点の消去

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
 - 2 メモリ地点の **消去** にタッチします。
 - 3 消去するメモリ地点にタッチします。
- すべてのメモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



- 4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます。

4. 特別メモリ地点の登録・修正・消去

特別メモリ地点は、地図に5箇所まで登録することができます。

特別メモリ地点を登録しておくと、地図を呼び出すときに、ほかのメモリ地点と異なり、地図の呼び出し画面からワンタッチで呼び出すことができます。また、目的地の設定のときは、目的地設定画面からワンタッチでルート探索を開始させることができます。(62ページ参照)

特別メモリ地点の登録

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 特別メモリ地点の **登録** にタッチします。

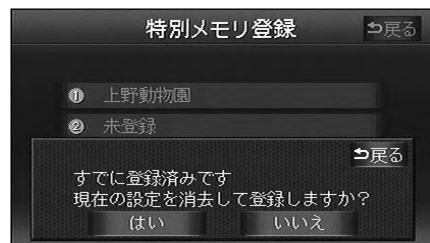


3 登録したい特別メモリ地点の番号にタッチします。



4 3ですでに登録されている特別メモリ地点の番号を選んだときは、**はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



5 地図の呼び出し方法を選び、特別メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

● 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(62、75ページ参照)



- 800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。
- 表示される特別メモリ地点の住所は、場所により隣接の地名が表示されることがあります。
- 登録した特別メモリ地点は、付近の名称、または住所が表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が同時に入力されることがあります。
- **修正・消去** は、すでに特別メモリ地点が登録されているときのみ表示されます。

●の位置に特別メモリ地点が**3**で選んだ記号（番号）で表示されます。



3 修正・入力する特別メモリ地点にタッチします。



- ・位置（134ページ参照）
- ・電話番号（136ページ参照）
- ・名称（137ページ参照）
- ・名称読み（139ページ参照）
- ・地図上の名称表示（140ページ参照）

?ヒント		特別メモリ修正		戻る	
記号	①				
名称	上野動物園				変更
名称読み	地図上の名称表示 ☒ する ☐ しない				変更
位置 (マップコード)	上野公園上野動物園付近 (767629)				変更
電話番号	0338285171				変更

特別メモリ地点の消去

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
 - 2 特別メモリ地点の **消去** にタッチします。
 - 3 消去する特別メモリ地点にタッチします。
- すべての特別メモリ地点を消去するとき
は、**全消去** にタッチします。



- 4 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



5. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点は、地図に10箇所まで登録することができます。(10箇所を超えて登録するときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。)

迂回メモリ地点を登録しておくと、ルートを探索させるとき、登録したエリアを迂回するルートを探索させることができます。

工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

迂回メモリ地点の登録

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 迂回メモリの**登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(62、75ページ参照)



4 **セット** にタッチします。

- 位置変更**、**↑** にタッチして地図を動かすことができます。



5 迂回させる範囲を設定します。

- 範囲を広くするときは**▲**、狭くするときは**▼** にタッチします。
- 最大範囲にすると**▲**、最小範囲にすると**▼**の色が反転し、タッチしても操作できません。



6 **セット** にタッチします。

- ↑**の位置に迂回メモリ地点が**■**記号または、**□**(範囲)で表示されます。



- 800mスケール図より詳細な地図で登録することができます。
- 表示される迂回メモリ地点の住所は、場所により隣接の地名が表示されることがあります。
- 登録した迂回メモリ地点は、付近の名称、または住所が表示されます。
- **修正・消去**は、すでに迂回メモリ地点が登録されているときのみ表示されます。
- 設定される範囲は、表示させている地図の縮尺により異なります。
 - 最小………ポイント（点）
 - 最小範囲…スケール表示されている長さの正方形
(例 100mスケール：100m)
 - 最大範囲…スケール表示されている長さの4倍の正方形
(例 100mスケール：400m)
- 範囲について

単位：m

スケール	■ (最小)	□	□	□	□ (最大)
50m	ポイント	50	100	150	200
100m	ポイント	100	200	300	400
200m	ポイント	200	400	600	800
400m	ポイント	400	800	1200	1600
800m	ポイント	800	1600	2400	3200

- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

5. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点の修正

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 迂回メモリの **修正** にタッチします。
- 3 修正・入力する迂回メモリ地点にタッチします。

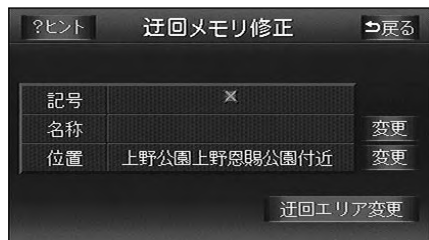


- 4 修正・入力する項目の **変更** にタッチします。

- 修正方法は、メモリ地点の修正・入力方法と同じです。

- ・位置 (134ページ参照)
- ・名称 (137ページ参照)

- 迂回エリア変更** にタッチすると、迂回させる範囲を変更することができます。(前ページ参照)



迂回メモリ地点の消去

- 1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 迂回メモリの **消去** にタッチします。
- 3 消去する迂回メモリ地点にタッチします。

- すべての迂回メモリ地点を消去するときには、**全消去** にタッチします。



- 4 **はい** にタッチします。

- いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



6.目的地履歴について

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大20箇所まで）。20箇所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

目的地履歴の消去

履歴を消去する

1 メニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 **目的地履歴消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



3 消去する地点名称にタッチします。

● すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。

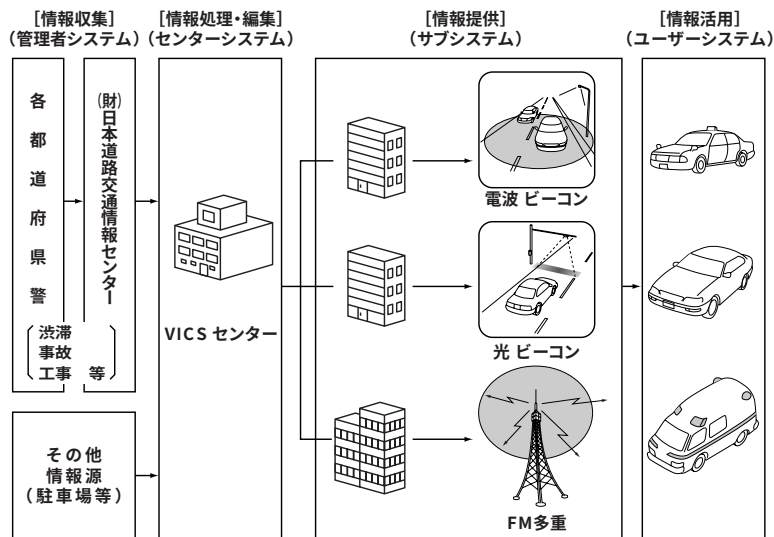


1.VICS情報について

VICSとは

道路交通情報通信システム(VICS: Vehicle Information and Communication System)は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面などに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をととして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



VICSリンクデータベースの著作権は(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会が有しています。

VICSおよび本機に付与された  のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICSのメディア概要

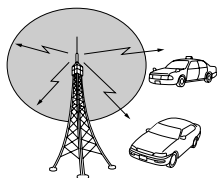
VICSは、それぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。本書では、FM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。また、2メディアVICSユニットによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。

本書では、FM多重の操作機能は

FM多重、電波・光ビーコンの操作機能は **ビーコン** で表しています。

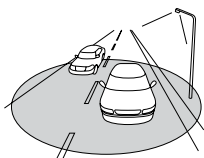
●FM多重（FMチューナー）

FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。



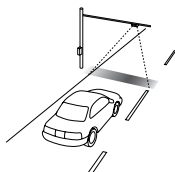
●電波ビーコン（2メディアVICSユニット）

電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



●光ビーコン（2メディアVICSユニット）

光ビーコンは、主に一般道路上に各レーンごとに設置され、そのレーンを通る車両に情報の提供を行います。



本機はFM多重、電波・光ビーコンの情報を受信することができます。

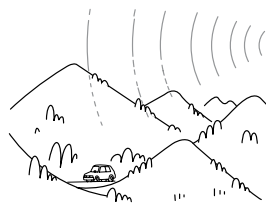
VICS特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。（提供される情報は最新でない場合があります）
- VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。

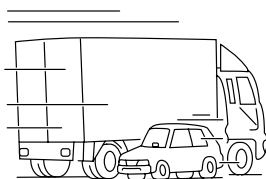
FM多重放送特有の事項



- ①高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。



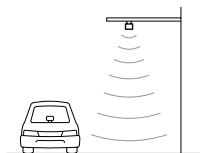
- ②盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。



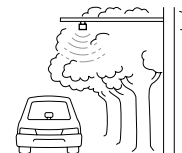
- ③トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

1.VICIS情報について

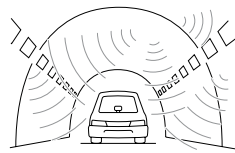
電波ビーコン特有の事項



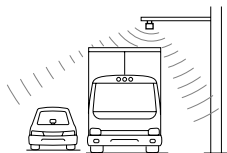
①直線的にしか電波は届きません。



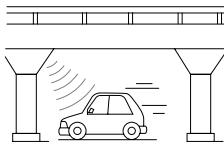
②水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



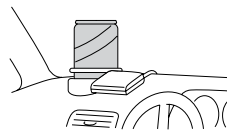
③トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



④トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。

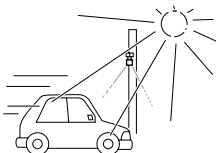


⑤高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。

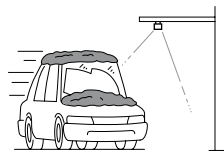


⑥VICISのアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

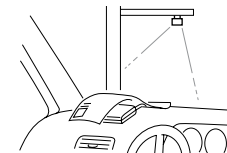
光ビーコン特有の事項



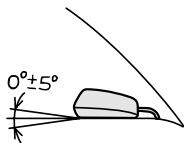
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



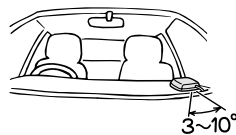
②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICISのアンテナの上や近くに紙類など光を受信するのを妨げる物を置かないでください。



④VICIS のアンテナの取り付け角度は、取り付け底面が $0^{\circ} \pm 5^{\circ}$ でセットしてください。これとずれると、うまく受信できないことがあります。



⑤VICIS のアンテナの取り付け方向は、車両進行方向に対し少し内側に向けて（ $3 \sim 10^{\circ}$ ）セットしてください。これとずれると、うまく受信できないことがあります。



ワンポイント

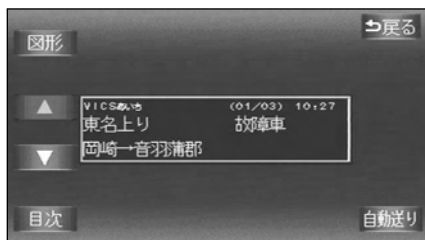
- 電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICIS情報をポール式のラジオアンテナで受信する場合は、必ずアンテナをのびした状態で使用してください。

VICS情報提供内容と表示について

- VICS情報は文字表示、簡易図形表示または地図表示から渋滞・交通規制などを表示します。

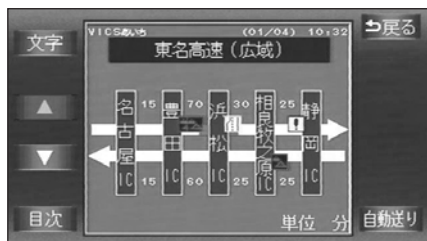
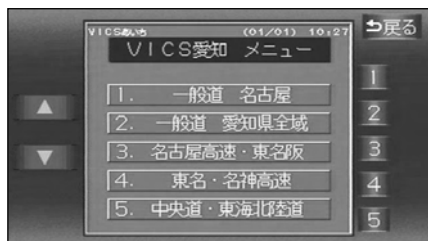
レベル1

●文字表示



レベル2

●簡易図形表示



レベル3

●地図表示



- 1/8万図より広域または、市街図ではVICS地図表示はされません。
- レベル3の地図表示は新規エリアでは表示できないことがあります。
- MP3を聞いているときは、VICS情報を受信することができません。

2.放送局の受信

VICIS提供放送局の選択

FM多重

VICIS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**VICIS** にタッチします。

2 **VICIS設定** にタッチします。

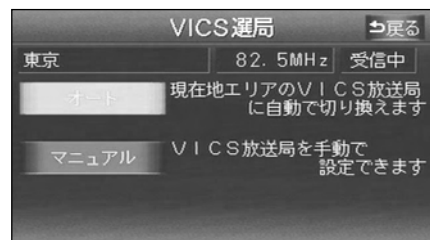


3 **VICIS選曲** にタッチします。



4 **オート**、または**マニュアル** にタッチします。

- **オート** ……自動で選択します。
- **マニュアル** ……手動（エリアまたは周波数）で選択します。

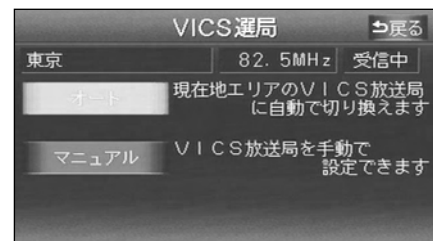


自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地が移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

1 **オート** にタッチすると自動で受信します。

- 放送局が受信されると、「**受信中**」が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチが選択色になります。



エリアで選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

1 **マニュアル** にタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

- 放送局が受信されると、「**受信中**」が表示されます。



周波数を手動で選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 **マニュアル** にタッチします。

2 **TUNE▲** または **TUNE▼** にタッチして、放送局の周波数を選びます。

●放送局が受信されると、「**受信中**」が表示されます。



●VICS提供放送局の選択は、走行中操作することができません。停止してから操作してください。

●オーディオがOFFまたはラジオ（VICS提供放送局以外）が選択されている場合またはMP3再生中は、VICSの放送局を受信できません。設定のみの選択になります。

●通常は **オート** でご使用ください。

●以前（前回）にVICSのFM多重放送局をマニュアル設定をしたときは、その放送局の周波数が設定されています。

●VICS情報が受信できる代表的な周波数（2003年3月現在）

北海道（旭川地区）	85.8MHz	北海道（札幌地区）	85.2MHz
北海道（釧路地区）	88.5MHz	北海道（函館地区）	87.0MHz
北海道（室蘭地区）	88.0MHz	北海道（帯広地区）	87.5MHz
青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz
福島県	85.3MHz	新潟県	82.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz
群馬県	81.6MHz	埼玉県	85.1MHz
千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz
石川県	82.2MHz	富山県	81.5MHz
静岡県	88.8MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	滋賀県	84.0MHz
福井県	83.4MHz	京都府	82.8MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz
鳥取県	85.8MHz	徳島県	83.4MHz
佐賀県	81.6MHz	鹿児島県	85.6MHz
大分県	88.9MHz		
宮崎県	86.2MHz		
熊本県	85.4MHz		
高知県	87.5MHz		
福岡県	84.8MHz		
長崎県	84.5MHz		
沖縄県	88.1MHz		

●自動およびエリアで受信した周波数は、その都道府県で受信できる周波数の中で電波の一番強い放送局を選局します。

●VICSによる交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

●情報提供エリアの違いによって情報内容が異なります。

●VICS FM多重放送の運用時間は24時間（第1、第3月曜日の午前1時～5時までは保守のため放送を休止します）です。休止時間については、VICS FM多重放送の「お知らせ」でご案内します。

運用時間は予告なく変更されることがあります。

3.VICIS情報の表示・案内

VICIS情報の表示設定

1 メニュー画面で、**VICIS** にタッチします。

2 **VICIS設定** にタッチします。



●VICIS情報表示の設定は、走行中操作することができません。停止してから設定してください。

3 VICIS情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

●「表示する」にしたときは、作動表示灯が緑色になります。

- **渋滞・混雑** …渋滞・混雑情報の表示
- **空き道** …空いている情報の表示
- **規制情報** …事象・規制情報の表示
- **駐車場** …駐車場情報の表示

●VICIS記号は、**規制情報** または **駐車場** を設定していないと表示されません。



作動表示灯

作動表示灯

VICIS情報の表示

地図にVICIS情報（VICIS記号・表示）を表示させることができます。



●VICIS情報表示



●VICIS情報表示（ハイウェイモード画面）



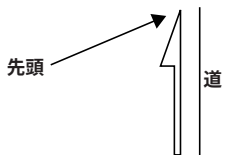
- 渋滞考慮検索を設定しておくと、ルート探索時に渋滞・規制を考慮したルートを探します。
- 割込設定を設定しておくと、VICIS情報を受信したとき、画面にVICIS情報が自動で割り込んで表示されます。
- 800mスケール図より詳細な地図で表示させることができます（市街図表示画面を除く）が、VICIS記号によっては、200mスケール図より詳細な地図で表示する記号もあります。
- 高速道路にVICIS情報が表示されているときハイウェイモードにVICIS情報を表示させることができます。
- VICIS情報が流れていない地域では、情報を得ることはできません。

VICS情報を地図表示する

- 1 メニュー画面で、**VICS** にタッチします。
- 2 VICS 地図表示の **全ての道路**（一般道・有料道路）・**高速道のみ**（高速道路のみ）・**一般道のみ**（一般道のみ）にタッチします。
 - タッチしたタッチスイッチが選択色になります。
 - VICS 情報が受信されると、タイムスタンプに VICS 情報が提供された時刻が表示され、VICS 情報が表示されます。
 - タイムスタンプの表示は下記になります。

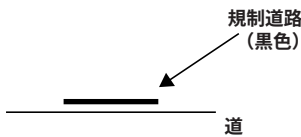


渋滞情報



赤色……………渋滞
 橙色……………混雑
 水色……………空いている道

規制情報



駐車場、SA・PA情報



規制情報、駐車場、サービス
エリア（SA）・パーキングエ
リア（PA）情報の詳細につ
いては「**VICS記号**」162ペ
ージを参照してください。



- VICS情報を地図に表示すると道路（一般道）の色が変わります。
VICS対象一般道：緑 VICS対象高速道：紫
- VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。
- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
- タイムスタンプの時刻は、VICS情報が継続して受信されないと、約30分後に自動的に消去されます。
- 約10km先までのルート上に渋滞・規制情報があるときは、タイムスタンプが渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります。
- 駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。

3.VICIS情報の表示・案内

VICIS記号の内容表示について

- 1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号などにタッチすると、VICIS記号の内容と現在地からの直線距離が表示されます。



VICIS情報を消去する

- 1 メニュー画面で **VICIS** にタッチします。
 - 2 **VICIS非表示** にタッチすると、VICIS情報が表示されなくなります。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。
 - タイムスタンプも表示されなくなります。



渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、約10km以内のルート上のVICIS情報を音声でお知らせします。また、音声を聞き逃したときは、もう一度音声を聞くことができます。

〔音声案内の例〕

- VICIS表示がある地点では、「およそ1km先、渋滞があります。」
 - VICIS記号のある地点では、「およそ5km先、電気工事のため車線規制中です。」
- 音声案内はあくまでも参考としてください。

渋滞・規制の案内を再音声する

渋滞・規制音声案内を再度聞くことができます。

- 1 メニュー画面で **VICIS** にタッチします。
 - 2 **渋滞・規制案内** にタッチします。
- 渋滞・規制案内情報が音声で案内されます。



- VICIS記号によっては、内容が表示されないVICIS記号もあります。
- 〔音声案内の例〕は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が行われなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができます。（30ページ参照）

VICS文字情報の表示

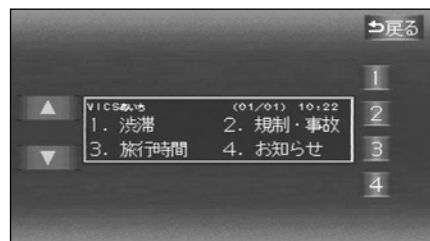
FM多重

1 メニュー画面で **VICS** にタッチします。

2 **FM文字** にタッチします。

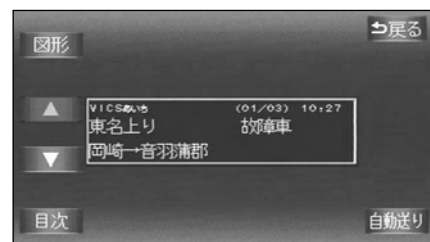


3 表示させる文字情報の番号にタッチします。



4 ▲、または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示された後、最初のページに戻ります。
- 文字情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
また、自動送り中に ▲、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、3 の画面に戻ります。



VICS



受信している放送局により、送られてくるメニューが異なる場合があります。

3.VICS情報の表示・案内

VICS図形情報の表示

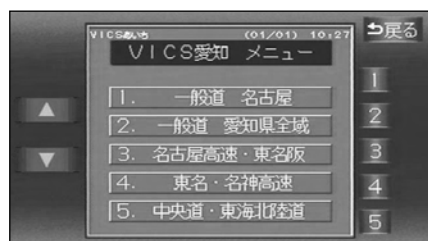
FM多重

1 メニュー画面で **VICS** にタッチします。

2 **FM図形** にタッチします。

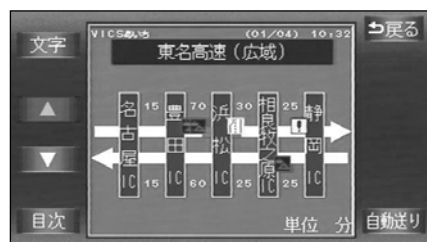


3 表示させる図形情報の番号にタッチします。



4 ▲、または▼にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲、または ▼ にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります）、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示された後は、最初のページに戻ります。
- 図形情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
また、自動送り中に ▲、または ▼ にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **文字** にタッチすると、VICs図形情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、3 の画面に戻ります。



受信している放送局により、送られてくるメニューが異なる場合があります。

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコン

ビーコンからVICS情報が受信されたとき、VICS文字情報（または図形情報）を自動的に表示させることができます。

- 割り込み情報が表示されたときの操作は、「割り込み情報を呼び出す」次ページを3参照してください。
- **VICS表示消** にタッチする、または約15秒以上操作しなかったときは、元の画面に戻ります。



● 割り込み情報の表示

割り込み情報の表示を設定する

割り込み情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で **VICS** にタッチします。

- 2 **VICS設定** にタッチします。



- 3 **割り込設定** にタッチします。



- 4 割り込み情報の項目の **自動割り込** にタッチします。

- ・ 注意警戒情報…注意警戒情報の表示
 - ・ ビーコン割り込（文字）…文字情報の表示
 - ・ ビーコン割り込（図形）…図形情報の表示
- ONになったときは、作動表示灯が緑色になります。



作動表示灯



- FM多重放送のみのVICS情報では、割り込み情報の表示は行われません。
- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。
- 割り込み情報をOFFにしても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

3.VICS情報の表示・案内

割り込み情報を呼び出す

割り込み情報を「表示しない」にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

1 メニュー画面で **VICS** にタッチします。

2 **割込情報** にタッチします。



3 ▲ または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。

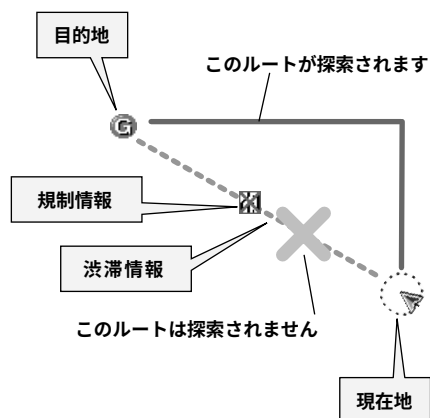
- 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**図形**（図形情報を表示させているときは **文字**）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。



- 受信されてから約30分以上経過した割り込み情報は表示させることができません。
 - 再表示した割り込み情報画面は自動的に地図画面には戻りません。
- 「戻る」にタッチすると割り込み情報画面を解除します。

渋滞考慮探索

ビーコン



ビーコンからのVICS情報が受信されたとき、受信された渋滞・交通情報が考慮されてルート探索をさせることができます。

渋滞考慮探索を設定する

渋滞考慮探索をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 メニュー画面で **VICS** にタッチします。
- 2 **VICS設定** にタッチします。



- 3 **渋滞考慮探索** にタッチします。

●ONにしたときは、作動表示灯が緑色になります。

作動表示灯



- FM多重放送のみのVICS情報では、渋滞考慮探索は行われません。
- 現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮しません。
- ルート探索後に道路状況が変わり、別のルートの方が到着時間が早くなる場合があります。

3.VICS情報の表示・案内

VICS記号

凡例

VICS情報の中で使用される記号の代表的な例を示します。

表 示	情報内容	表 示	情報内容
	事故		駐車場 空(青)
	故障車		駐車場 満(赤)
	路上障害		駐車場 混雑(橙)
	注意		駐車場 不明(黒)
	注意(地震警戒宣言)		駐車場 閉鎖
	工事		対面通行
	火災		車線規制
	雨		徐行
	凍結		入口閉鎖
	雪		大型通行止め
	作業		入口規制
	通行止め		出口規制
	右折禁止		速度規制 30km/h
	左折禁止		SA PA情報 空(青)
	直進禁止		SA PA情報 満(赤)
	片側交互通行		SA PA情報 混雑(橙)
	チェーン規制		SA PA情報 不明(黒)
	進入禁止		イベント

表示される記号は実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つの記号で表示することがあります。

VICSの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

(1) 緊急情報

津波情報などの緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

(2) 交通情報関連の用語

①渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。

②混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

(3) 駐車場情報関連の用語

①満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。

②混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。

③空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。

④不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。

⑤閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICSの問い合わせ先

●VICSの車載機の調子、その他に関するもの

●地図表示型の表示に関するもの

●VICSのサービスエリアに関するもの

●その他、上記に類するもの

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

●簡易図形、文字情報の情報に関するもの

●VICS事業計画（サービスエリアの計画等）に関するもの

これらの内容のお問い合わせは、VICSセンターまでご連絡ください。

電話番号 0570-00-8831（全国）

（全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。）

※ 携帯電話・PHSからはご利用できません。

携帯・PHS専用番号 03-3592-2033（東京） 06-6209-2033（大阪）

FAX番号 03-3592-5494（東京）

1.インフォメーション（情報）画面について

インフォメーション（情報）機能には、「デモ」、「画面設定」、「FM多重放送」、「メンテナンス機能」、「電話帳検索」、「レジャーインフォメーション（レジャー）の*i* 検索」、「カレンダー機能」、「情報付施設」があります。オプション品を接続することで操作可能となる機能としては「インターネット」、「iモード」、「ハンズフリー機能」、「HELPNET」、「ETC機能」があります。

インフォメーション（情報）画面

1 **INFO** を押すと、インフォメーション（情報）画面が表示されます。

- **前ページ**、または **次ページ** にタッチするとページが切り替わります。
- **通信設定** をタッチすると、通信モードを設定することができます。通信モードについては218ページを参照してください。

2 インフォメーション（情報）画面から次ページの操作を行うことができます。



● **INFO** を押したとき



● **INFO** を押した後、**次ページ** にタッチしたとき

表示順序／ 項目（タッチスイッチ）		機 能	ページ
1	インターネット	インターネットへの接続・表示	220
2	iモード	iモードへの接続・表示	235
3	TEL	ハンズフリー機能の設定・通話	258
4	HELPNET	ヘルプネットへの通報	269
5	デモ	機能紹介・操作デモ機能の表示	168
6	画面設定	操作画面の設定	次ページ
7	F M多重	F M多重放送の表示	169
8	メンテナンス	メンテナンス時期の 設定・更新・解除	174、177、178
		販売店の設定・修正・消去	178、179
9	電話帳	施設の電話番号の検索	180
10	レジャー <i>i</i>	観光スポットの表示	181
11	カレンダー	カレンダーの表示、 メモの登録・修正・削除	182、183、184
12	情報付施設	情報付施設の検索・表示	186、187、188
13	ETC※	ETC情報の設定・表示	289

※ タッチスイッチは、その機器が接続されていない場合は表示されません。

1.インフォメーション（情報）画面について

画面の設定

優先画面を設定する

インフォメーション（情報）画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったときの画面表示を「継続表示する」、または「元の画面に戻す」のどちらかに選択することができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。
 - 2 優先画面設定の **自動解除**（元の画面に戻す）、または **継続表示**（継続表示する）にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **設定完了** にタッチします。

画面操作・効果音を設定する

現在地画面から**目的地**、**MENU**、または、目的地設定画面やメニュー画面から現在地画面へ表示を切り替えるときに画面がスライドするような表示となり、流れるような音が鳴ります。

- 1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。
 - 2 画面動作・効果音の **ON** または **OFF** にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **設定完了** にタッチします。

背景画を切り替えるには

画面の背景色やスイッチ色を3タイプから選ぶことができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。
 - 2 壁紙の **1**、**2** または **3** にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **設定完了** にタッチします。

小音量時の低・高音調整

オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。
 - 2 オートLOUDの **ON** または **OFF** にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



- 3 **設定完了** にタッチします。

ノンフェーダ出力の設定をする

ウーファーを接続したときに、オーディオの音をお好みの出力レベルに調整することができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。
- 2 ノンフェーダ出力設定の **▲** または **▼** にタッチします。
- 3 **設定完了** にタッチします。



2. デモ機能

デモの操作

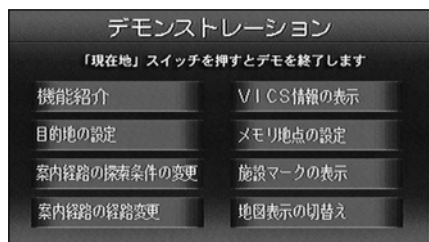
ナビゲーションの機能の紹介や、各操作方法のデモを表示することができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で **デモ** にタッチします。



- 2 表示させるデモにタッチします。

- デモが開始されます。
- デモ中に **NAVI**（または **MENU**）
・ **目的地**）を押すとデモが終了します。



- **機能紹介** ではナビゲーションのいろいろな機能の紹介や、経路設定、経路案内のデモをくり返して行います。
- その他のデモは、ナビゲーションの各操作の手順を追って紹介しています。

3.FM多重放送

FM多重放送の番組について

FM多重放送は1つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

FM多重放送の表示

- 1 インフォメーション（情報）画面で **FM多重** にタッチします。

- FMモードで選ばれている放送局の連動情報番組が表示されます。



放送局の切り替え

- 1 **自動選局** にタッチします。

- FM音声を楽しんでいるときは、オーディオスイッチ（「取扱説明書オーディオ編」-「ラジオの使い方」参照）でも、切り替えることができます。



ワンポイント

- 走行中は表示させることができない番組もあります。また、FM多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。
- オーディオの電源がOFFのとき、またはAM放送（交通情報放送を含む）を受信しているときやFM放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、FM多重放送を表示させることはできません。
- FM多重放送を表示させているときに、FM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
- FM多重放送を表示させているときは、そのFM多重放送を放送している放送局の番組の音声のみ聞くことができます。（文字情報を表示させているFM多重放送局とは別のFM放送局の番組の音声聞くことはできません。）
- テレビの音声を聞いているときに、FM多重放送を受信すると雑音が入ることがあります。

3.FM多重放送

番組の切り替え

- 1 **目次** にタッチします。



- 2 表示させる番組の番号にタッチします。

- **番組連動** にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。(連動情報番組を受信しているときは、タッチスイッチが選択色になります。)



独立情報番組のページ送り

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報（▲・▼が表示されます）が送られる独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。

- 1 ▲、または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが**停止**になります）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示された後は、最初のページに戻ります。
- 文字情報の自動送りを停止するときは**停止** にタッチします。

また、自動送り中に ▲、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。



緊急情報を受信しているときは自動送りはできません。

連動情報番組の文字情報を繰り返し見る

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度見たいときは▲にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

- 1 ▲、または▼にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

- タッチすると、文字情報の自動切り替えが中断されます。
- 自動切り替えを中断したとき、**最新情報**にタッチすると、最新の文字情報に戻り、元の状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる）になります。



文字情報の記録・呼び出し・消去

記録する

- 1 記録する文字情報を表示させ **メモ記録** にタッチします。

- 文字情報が記録されます。
- 記録項目は最大20件です。



呼び出す

- 1 **メモ呼出** にタッチします。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

- 2 ▲、または▼にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。



記録する内容によっては、20件記録できないこともあります。

3.FM多重放送

消去する

1 **メモ呼出** にタッチして文字情報を呼び出します。

2 **▲**、または **▼** にタッチして、消去する文字情報を表示させます。



3 **消去** にタッチします。

- すべての文字情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。

4 **はい** にタッチします。

- いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



4. メンテナンス機能

メンテナンス機能は、ナビゲーションのGPSカレンダー機能と車速信号を使用して、車のオイルや消耗部品の交換、各種点検などの時期がきたことをナビゲーションの画面と音声（初回）でお知らせします。

メンテナンスメニュー画面

- 1 インフォメーション（情報）画面で **メンテナンス** にタッチします。

●メンテナンスメニュー画面になります。



●メンテナンス項目

項目	内容	項目	内容
	エンジンオイル交換		ワイパーゴム交換
	オイルフィルター交換		LLC (冷却水) 交換
	タイヤローテーション (タイヤ位置交換)		ブレーキフルード交換
	タイヤ交換		ATF (オートマチックトランス ミッションフルード) 交換
	バッテリー交換		パーソナル項目 (その他の項目を5つまで設定 することができます。)
	ブレーキパッド交換		



- 設定したメンテナンスまたは各種点検などの項目以外は時期をお知らせしません。
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日を基に設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じる場合があります。
- 保守点検** は、ヘルプネット加入時に操作します。手動保守点検（281ページ参照）を行い、ヘルプネットオペレーションセンターとの会員登録の確認を行います。
- 未設定の項目は、（灰色）・すでに設定されている項目は、（緑色）・メンテナンス案内が行われる時期の項目は（橙色）で表示します。

4. メンテナンス機能

● パーソナル項目

項目	内容	項目	内容
	12 ヶ月点検		空気清浄器交換
	車検		保険満了日
	ガラスコート		免許証更新日
	ハイポリマーメンテナンス		任意入力 (文字入力することができます)

メンテナンス時期の設定

- 1** メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- **?** (パーソナル項目未設定) にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。
- **?** (パーソナル項目未設定) 以外にタッチしたときは、**5** の画面になります。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。



- 2** **?** (パーソナル項目未設定) にタッチしたときは、設定する項目にタッチします。

- **!** (任意入力項目) にタッチすると、名称を入力することができます。



- 3** **!** (任意入力項目) にタッチしたときは、名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、「メモリ地点の名称入力」137ページを参照してください。



- 4** **完了** にタッチします。

5 **お知らせ日** または **お知らせ距離** にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。
- 項目によっては日付のみの場合があります。

●日付入力画面

●距離入力画面

6 数字を1つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

7 **完了** にタッチします。

8 **設定完了** にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときには、**1**～**8** を繰り返し操作してください。



メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンス案内をONにしないと、メンテナンス案内は行われません。(次ページ参照)

4. メンテナンス機能

メンテナンス案内の設定

案内をONにすると、時期を設定した項目の案内が行われます。

- 1 メンテナンスメニュー画面で、**ON** にタッチします。

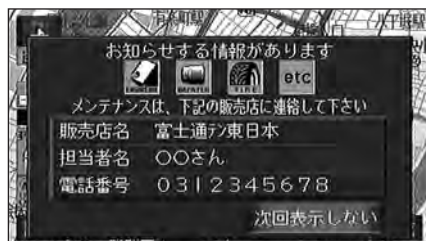
- 案内をOFFにするには、再度この画面で、**OFF** にタッチします。
- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



メンテナンスの案内

設定をした日がすぎる、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。

- 5つ以上の項目があるときは、**etc**が表示されます。（メンテナンスメニュー画面で確認してください。）
- 次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。



- メンテナンス時期に到達した後、最初にナビゲーションを立ち上げたときには、画面と音声（初回）で案内します。
- パーソナル項目の**!**（任意入力）が時期に到達した場合、設定したタイトルを表示します。（任意入力設定時）

メンテナンス時期の更新

1 メンテナンスの設定を更新する項目にタッチします。

- すべての項目を更新するときは、**自動全更新**にタッチします。



2 **自動更新**にタッチします。



3 **はい**にタッチします。

- いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。
- 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。



4 パーソナル項目の免許証更新では、**3年後**、または**5年後**にタッチします。



新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算し、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

4. メンテナンス機能

メンテナンス時期の解除

- 1 メンテナンスメニュー画面で、設定を消去する項目にタッチします。

- すべての項目を消去するときは、**設定全解除**にタッチします。



- 2 **設定消去**にタッチします。



- 3 **はい**にタッチします。

- いいえ**にタッチすると、元の画面に戻ります。



販売店の設定

- 1 メンテナンスメニュー画面で、**販売店設定**にタッチします。



- 2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(62、75ページ参照)



- 3 **セット**にタッチすると、の位置に販売店が設定されます。



販売店の修正・消去

- 1 メンテナンスメニュー画面で、**販売店設定** にタッチします。



- 2 修正する項目の**変更** にタッチします。

- 販売店名・スタッフ名前の修正・入力は、「メモリ地点の名称入力」137ページと、位置の修正は、「メモリ地点の位置修正」134ページと、電話番号の修正・入力は、「メモリ地点の電話番号入力」136ページと同じです。

- 販売店の消去** にタッチすると、販売店が消去されます。
- 販売店に行く** にタッチすると、販売店の地図が表示されます。



- 3 **販売店の消去** にタッチしたときは、**はい** にタッチします。

- いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



5. 電話帳機能

電話帳の検索

JAF（日本自動車連盟）や道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、携帯電話が接続されていると、オートダイヤルで電話発信できます。また、設定されている目的地（82ページ）や登録されているメモリ地点（136ページ）・特別メモリ地点（141ページ）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示させることができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で **電話帳** にタッチします。

- 2 表示させる項目にタッチします。

- **目的地**（1カ所のみ設定されているとき）、または **1 2 3 4 5** にタッチすると、地点の名称と電話番号が表示されます。



- 3 表示させる施設のある都道府県名にタッチします。

- 2 で、**メモリ地点** または **目的地**（2箇所以上設定されているとき）にタッチしたときは、地点の名称と電話番号が表示されます。



- 4 表示させる施設名称にタッチすると、施設名称と電話番号が表示されます。



- 本機と携帯電話が接続されている場合、**電話をかける** にタッチすると表示されている番号へ電話をかけることができます。
- 本機と携帯電話の接続については、216ページを参照してください。



6. レジャーインフォメーション(レジャーi)の検索

レジャーインフォメーション(レジャーi)の検索・表示

登録されている施設を、「観光エリアガイド」・「おすすめドライブコース」・「100選(日本の桜・滝・渚・名水)」などから検索し、観光地や名所などの情報を表示させることができます。

- 1 インフォメーション(情報)画面で、**レジャーi**にタッチします。

- 2 表示させるガイドにタッチします。



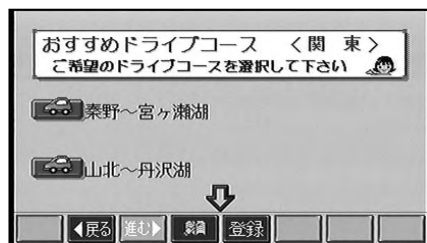
- 3 地域・地点・項目にタッチします。

- 選択したガイドにより、情報を表示させる方法は異なります。



- 4 表示させる地点にタッチすると、施設の情報が表示されます。

- 操作は、「施設情報画面を操作する」186ページを参照してください。



- ドライブコースでは、**順コースで案内**(**逆コースで案内**)にタッチすると目的地が設定され、ルートが探索されます。



7. カレンダー機能

カレンダー機能とは、GPS カレンダー機能を利用して、登録させたメモ（会議や用事など）の案内を行う機能です。

カレンダー画面

1 インフォメーション（情報）画面で、**カレンダー** にタッチすると、カレンダー画面になります。

- **▲月・▼月** にタッチすると、表示される月が切り替わります。
- **▲年・▼年** にタッチすると、表示される年が切り替わります。
- 月、または年を切り替えたとき、**今月** にタッチすると、今月のカレンダーが表示されます。



メモの登録

メモは、100件まで登録することができます。（100件を超えて登録するときは、不要なメモを消去してから登録してください。）また、メモは1日につき3件まで登録させることができます。

1 カレンダー画面で、メモを登録する日付にタッチします。



3 登録するメモを1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、「メモリ地点の名称入力」137ページと同じです。



2 **新規登録** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

- カレンダー画面の日付にマークが表示されます。



メモ1件に入力できる文字は最大12文字（半角24文字）までです。

メモの案内

登録した日は、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、メモの内容が案内されます。

- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。
- メモを登録した日にナビゲーション画面を立ち上げなかった（過去7日間）ときは「未通知メモあり」が表示されます。（カレンダー画面でメモ案内の内容を確認してください。）



メモの修正

- 1 カレンダー画面で、修正するメモのある日付にタッチします。



- 2 メモが2つ以上登録されているときは、**▲前**、または**▼次**で修正するメモに切り替えます。

- 3 **修正** にタッチします。



- 4 登録するメモを1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、「メモリ地点の名称入力」137ページと同じです。



- 5 **完了** にタッチします。

7. カレンダー機能

メモの削除

- 1 カレンダー画面で、削除するメモのある日付にタッチします。



- 2 メモが2つ以上登録されているときは、**▲前**、または**▼次**で削除するメモに切り替えます。

- 3 **削除** にタッチします。



- 4 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。



メモマーク色・日付色の変更

日付色は、100日まで変更することができます。(100日を超えて変更するときは、不要な日付色を解除してから変更してください) また、メモのマークの色を変更することができます。

- 1 カレンダー画面で、変更する日付にタッチします。



- 2 **マーク変更** にタッチします。



- 3 変更する日付色・メモマーク色にタッチします。

- **解除** にタッチすると、日付色が解除され(通常の色に戻り)ます。



- 4 **完了** にタッチします。

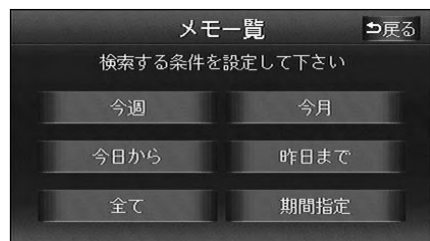
メモ一覧の表示

- 1 カレンダー画面で、**メモ一覧**にタッチします。



- 2 表示させる期間にタッチすると、メモが表示されます。

- **期間指定** にタッチすると、表示させるメモの期間を指定することができます。



- 3 **期間指定** にタッチしたときは、数字を1番号ずつタッチして期間を入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



- 4 **完了** にタッチすると、メモが表示されます。

- **日付色解除** にタッチすると、設定した日付色（前ページ参照）が解除されます。
- **一括削除** にタッチすると、表示したすべてのメモが削除されます。



8. 情報付施設の検索

主要施設の情報（情報・住所・料金・写真など）を画面に表示することができる機能です。

情報付施設の検索・表示・編集

- 1 インフォメーション（情報）画面で
情報付施設 にタッチします。

- 2 表示させる施設のジャンルにタッチします。



- 3 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。



- 4 表示させる施設名称にタッチします。

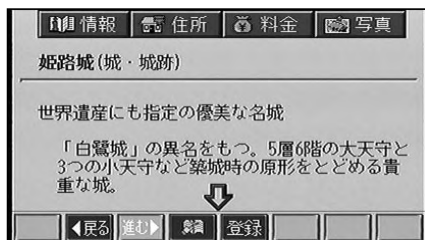
- 施設の内容が表示されます。



施設情報画面を操作する

- 1 画面の矢印にタッチします。

- 矢印にタッチすると施設の情報をスクロールさせることができます。
- ○○（**住所**・**写真**など）にタッチすると、表示されている項目の情報が表示されます。

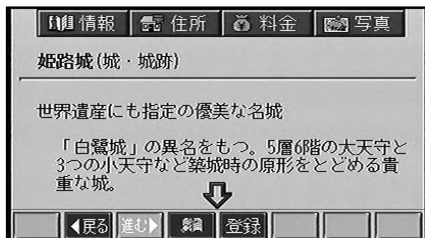


- **地図表示** にタッチすると、施設を中心にした地図が表示されます。



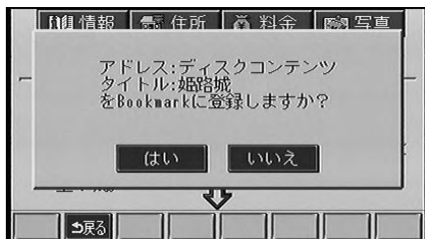
施設情報画面を登録する

- 1 登録する情報を表示させ、**登録** にタッチします



- 2 **はい** にタッチします。

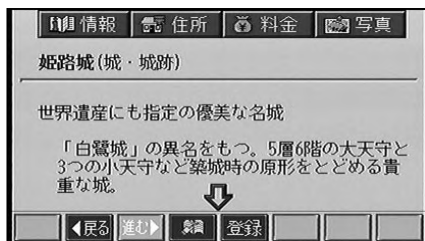
- **いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。
- 情報が登録されます。
- 記録項目は最大50件です。



施設情報画面を呼び出す

- 1  にタッチします。

- 登録されている情報がリスト表示されます。



- 2 表示したい情報名にタッチします。

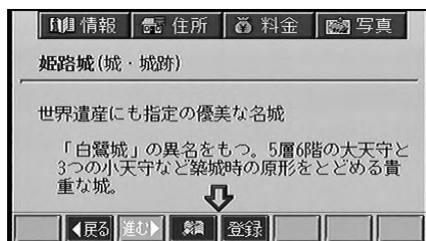


登録する内容によっては、50件まで記録できないことがあります。

8. 情報付施設の検索

施設情報画面を消去する

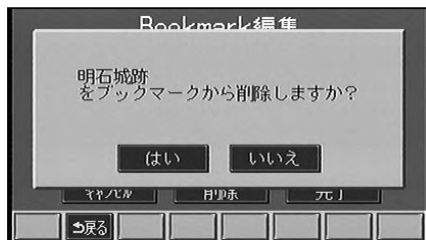
- 1 **編集** にタッチします。
 - 2 消去したい情報名にタッチします。
- すべての情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。



- 3 **削除** にタッチします



- 4 **はい** にタッチします。
- **いいえ** にタッチすると、元の画面に戻ります。

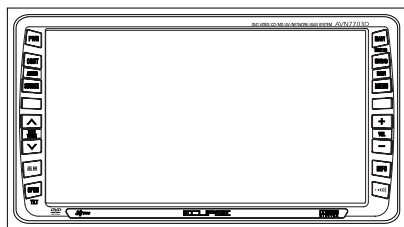


MEMO

1. 音声操作システムについて

音声操作は音声認識マイク＆スイッチを使い、音声でナビゲーションの操作を行うことができる機能です。また、走行中、操作できなかった機能を使うことも可能になります。

音声操作システムの構成



マイク

音声入力を認識します。

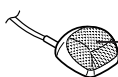
音声認識スイッチ

音声操作への切り替えや、訂正・解除に使用します。

音声を正しく認識するために

音声操作システムは音声認識コマンドを正しく発声しないと認識しない場合があります。発声を正しく認識させるため以下の点に留意してください。

- 大きな声でハッキリと発声してください。
- 音声入力をする際に、発声以外の音があると認識されにくくなったり、誤って認識されることがあるため、自動車の窓はできるかぎり閉めてから行ってください。窓を開けていることにより風切り音や外からの騒音など、周囲の音により認識しない場合が考えられます。また、エアコンの風量が多く、マイクに雑音が入る場合も誤作動する場合があります。
- 運転者の話す言葉を拾いやすい向きと距離にマイクを取り付けていますので、マイクに近づいたり、マイクの方を向かないで、安全に運転できる姿勢で発声してください。
- マイクの向きは右図のように正しく設置してください。
- 方言やいい方の違いには対応していません。音声認識コマンドの指定された読みで発音してください。
- 地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず画面に表示されるリスト・スイッチ（タッチスイッチ）の名称または音声コマンド一覧表を参考に発声してください。



マイクのこの部分を顔（口）
の方向へ向けてください。

音声操作の切り替え・解除

音声操作を切り替える

- 1 音声認識スイッチを押します。



- 音声認識マークが表示されます。

音声認識マーク



音声操作を解除する

- 1 音声認識スイッチを約1秒以上押します。



- 音声認識マークが消えます。



- 2 "ピッ"と音がしたら、約6秒以内にマイクに向かって発声します。



- 発声した内容を復唱するトークバックが聞こえます。
- 発声を間違えたときは、再度音声認識スイッチを押して、発声してください。



- 音声認識マークが表示されている間に発声してください。
- トークバック中に音声認識スイッチを押すと、発声内容を実行する前にキャンセルします。キャンセル後、再度発声すると、発声内容を認識させることができます。
- コマンドによっては復唱しない場合があります。

2. 音声操作システムの操作例

操作するときは、各項目の該当ページを合わせてご覧ください。

画面に表示されているタッチスイッチやパネルスイッチのスイッチ名称を発声することで、画面を切り替えたり、操作することができます。基本的には、すべてのスイッチ名称に対応していますが、リストの項目や名称が記号になっているタッチスイッチ・インフォメーション機能・画質調整などのテレビやオーディオの操作に関するタッチスイッチ名称を発声しても、認識させることはできません。

基本操作

メニュー画面を表示する

1 「メニュー^{がめん}画面」と話します。

●メニュー画面が表示されます。



- 住所、施設認識モードおよびタクシーモードでは、認識させた音声認識コマンドの操作をキャンセルする場合は「中止」・「キャンセル」・「戻る」と話します。また、トークバックが出力された後、約6秒間以内に音声認識スイッチを押すといい直しが可能です。
- 認識されるコマンド（発声された単語）の中には、一度の発声で操作することができるものもあります。
例）：「メニュー」→「表示切り替え」→「ツイン表示」で2画面表示に切り替わりますが、「ツイン表示」と発声するだけでも、2画面表示に切り替わります。
- 2画面表示の場合は、左画面が切り替わります。右画面については、音声認識コマンド一覧（209ページ参照）を参照してください。

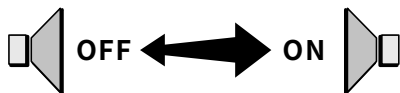
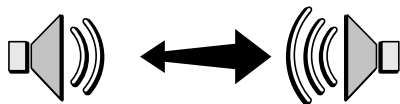
音量を設定する

1 「ナビ音量アップ」(「ナビ音量ダウン」)と話します。

- 選択されていた音量が1段階上がり(下がり)ます。

2 「ナビ音量ミュート」(「ナビ音量ミュート解除」)と話します。

- 音量がOFF (ON) になります。



現在地を表示する

1 「現在地」(「現在地」)と話します。

- 現在地が表示されます。



地図の縮尺を切り替える

地図を表示させているときのみ、認識させることができます

1 「〇〇メートル」(「〇〇メートル」)と話します。

- その縮尺の地図に切り替わります。
- 広域(詳細)と話す则表示されている地図の縮尺が1段階広域(詳細)な地図になります。



スケールの表示は、2桁(または3桁)の数字で認識されます。

例) : 400mスケール図→

「ヨンヒャクメートル」

50kmスケール図→

「ゴジュウキロメートル」

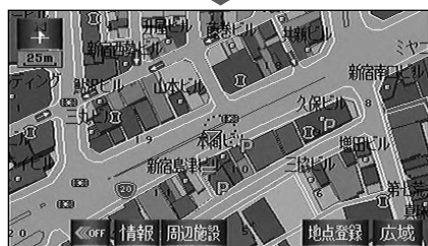
2. 音声操作システムの操作例

市街図を表示する

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

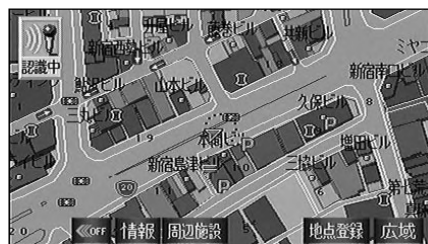
1 「市街図」と話します。

●市街図が表示されます。



2 「3D市街図」と話します。

●3D市街図（バーチャタウンマップ）が表示されます。



地図の向きを切り替える

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「地図向き変更」と話します。

- 現在の表示が切り替わります。
- 「ノースアップ」（「ヘディングアップ」）と話すとノースアップ（ヘディングアップ）表示になります。



2画面表示に切り替える

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「2画面表示」と話します。

- 2画面表示になります。

2 「2画面表示解除」と話します。

- 1画面表示になります。



2. 音声操作システムの操作例

3D表示に切り替える

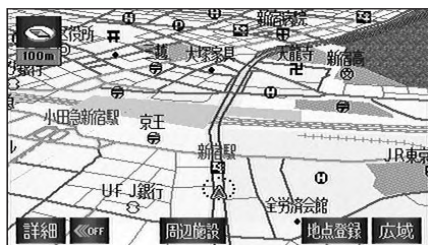
地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「3D表示」と話します。

●3D表示になります。

2 「2D表示」と話します。

●2D表示になります。



施設ランドマークを表示する

地図を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「ガソリンスタンド」・「コンビニエンスストア」・「レストラン」・「喫茶店」・「銀行」・「駐車場」と話します。

●発声した施設ランドマークが表示されます。



地図の呼び出し方法

施設で地図を呼び出す

1 「施設」と話します。

- “施設認識マーク”が表示され、「施設をどうぞ」というトークバックが聞こえます。



施設認識マーク



2 「□□□ (施設名のある都道府県名)」と「■■■■ (施設名称)」を話します。

- 地図が表示されます。



- 施設のジャンルにより、認識させる方法が異なります。

- 駅…鉄道会社名→(路線名+) 駅名
- 高速IC・SA・PA…道路名(+路線名)→施設名
例) 名古屋高速3号大高線→大高インター
- その他の施設…都道府県名→施設名

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。

- 都道府県名・政令指定都市※で開始される施設名称は、施設名称のみで認識されています。また、施設名称の最初の名称と実際に存在する都道府県(政令指定都市※)名が一致しなくても、認識されます。

例) 千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、「千葉県」を発声する必要はありません。

※13政令指定都市: 札幌市、仙台市、千葉市、東京23区、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
(2003年3月現在)

- 認識できる施設名称については「施設で地図を呼び出す」(68ページ参照)で表示されるリスト(タッチスイッチ)と同じです。

2. 音声操作システムの操作例

電話番号で地図を呼び出す

1 「でんわばんごうにやうりよく電話番号入力」と話します。

- 「電話番号入力画面を表示します」というトークバックが聞こえます。



2 音声認識スイッチを押して、「〇〇〇(数字)」と話します。

- “数字入力認識マーク”が表示されます。
- 言い直す場合は、「しゆせい修正」と発声すると、1番号ずつ消去されます。「ぜんしょう全消去」と発声するとすべての番号が消去されます。

数字入力認識マーク



3 「かんりよう完了」と話します。

- 地図が表示されます。



- 数字は以下のように発声してください。

1…「イチ」、2…「ニ」、3…「サン」、4…「ヨン」、5…「ゴ」、6…「ロク」、
7…「ナナ」、8…「ハチ」、9…「キュー」、0…「ゼロ」、または「レイ」
12を「ジューニ」、123を「ヒャクニジュウサン」のように2ケタ以上の数字を
認識させることはできません。12は「イチ・ニー」、123は「イチ・ニー・サン」
と発声してください。

- 「-」（ハイフン）は省略して発声してください。
- 数字入力画面では数字以外の発声を認識しない場合があります。

住所で地図を呼び出す

1 「住所」^{じょしょ}と話します。

- “住所認識マーク”が表示され、「住所をどうぞ」というトークバックが聞こえます。



2 「〇〇〇 (地名)」^{ちめい}と話します。

- 都道府県名・市区町村名・町名・丁目 (字) の順で、一度にすべての地名を発声します。
- 番地まで検索できる住所の場合は、メッセージが表示されます。

住所認識マーク



3 音声認識スイッチを押して、「番地」^{ばんち}と話します。

- “番地認識マーク”が表示され、「番地をどうぞ」というトークバックが聞こえます。

4 「〇〇〇 (数字)」^{すうじ}と話します。

例) 14-12は「イチヨンのイチニー」または「イチヨンはいふんイチニー」と発声します。

番地認識マーク



- 地図が表示されます。



- いい直す場合は、間違えた地名のみのいい直せば、認識されます。例) 「東京都新宿区」と発声した後、「文京区」にいい直すときは、「東京都」を発声する必要はありません。
- 郡名、町名の“大字”、“字”は省略して発声してください。
- 都道府県名、市区町村名、町名、丁目 (字) はそれぞれわけて発声して入力することもできます。
- 丁目まで、すべての地名を発声しなかったときは、最後に発声した地名の広域図が表示されます。
- 12を「ジュニー」、123を「ヒャクニジュウサン」のように2ケタ以上の数字を認識させることはできません。12は「イチ・ニー」、123は「イチ・ニー・サン」と発声してください。

2. 音声操作システムの操作例

マップコードで地図を呼び出す

1 「マップコードにゅーりょくがめん入力画面」と話します。

- 「マップコード入力画面を表示します」というトークバックが聞こえ、マップコード入力画面に切り替わります。



2 音声認識スイッチを押して、「〇〇〇(数字)」と話します。

- “数字入力認識マーク”が表示されます。
- いい直す場合は、「修正」と発声すると、1番号ずつ消去されます。「全消去」と発声するとすべての番号が消去されます。

数字入力認識マーク



3 「完了かんりょー」と話します。

- 地図が表示されます。



メモリ地点で地図を呼び出す

1 「○○○（登録されているメモリ地点の名称読み）」と話します。

- メモリ地点の名称読みの入力については「メモリ地点の名称読み入力」（139ページ）を参照してください。
- 地図が表示されます。



- 登録されている名称読みが短すぎるとき、または他のコマンドと類似しているときは、認識されないことがあります。
- 言葉として認識できない名称読みは地図を表示することはできません。（例「ラ」「ア°」など）

目的地の案内

目的地を設定する地図を表示しているときのみ、認識させることができます。

●ルート探索が開始されます。



登録されている地点ヘルートを探索する

③自宅
に目的地を設定しました

●登録されている自宅を目的地としてルート探索が開始されます。

1 「特別メモリ○に行く（○は1～5の数字）」と話します。

●登録されている特別メモリ地点を目的地としてルート探索が開始されます。

目的地が設定されているとき（1箇所以上で4箇所以下）で目的地を設定する地図を表示させているときのみ認識させることができます。

●現在地の次に行く目的地として設定されます。

音声案内を再度聞く

目的地案内中の現在地画面を表示させているときのみ、認識させることができます。

1 「^{さいおんせー}再音声」と話します。

300m先
○Xを右方向です。

●音声案内が出力されます。

2. 音声操作システムの操作例

VICS

地図を表示させているときのみ、各VICS情報をON（表示する）にするかOFF（表示しない）にするか認識させることができます。

1 「VICS（ビックス）^{ひょーじ}表示」と話します。

- VICS情報が表示されます。
- VICS情報を消去する場合、「VICS（ビックス）^{ひょーじしよーきょ かいじょ}表示消去（解除）」と話します。



- VICS情報が受信できないとき、または受信しても情報がないときは表示できません。
- VICS情報の条件設定を解除する場合、条件の名称の後に「^{しよーきょ}消去」または「^{かいじょ}解除」を話します。
例）「^あ空き道表示消去」「^{あ みちひょーじかいじょ}空き道表示解除」

知れたインフォ機能

ナビゲーションに関するさまざまな情報を音声で質問し、音声案内を出力させることができます。

カレンダー機能について

1 「今日は^{きょう}何^{なん}日^{にち}」・「今日は^{きょう}何^{なん}曜^{よう}日^び」と話します。

●今日の日付と曜日が案内されます。

今日は3月4日
日曜日です。

1 「今日は^{きょう}何^{なん}の^ひ日^ひ」と話します。

●今日の記念日が案内されます。

今日は
海の日です。

地図に関して

1 「どっち向^むいてるの」と話します。

●方角が案内されます。

現在、東方向に
向かって走行中です。

1 「今走^{いまはし}ってる道^{どう}路^ろは」と話します。

●走行中の道路名称が案内されます。

現在、国道1号線を
走行中です。

目的地案内に関して

目的地が設定されているときのみ、認識させることができます。

1 「あとどれくらい」・「あと何^{なんぶん}分^{ぶん}」
「あと何時間」と話します。

●目的地までの時間が案内されます。

目的地までおよそ〇kmで
所要時間は〇分です。

VICS情報に関して

目的地案内中にVICS情報を受信したときのみ認識させることができます。

1 「この先^{さき}渋^{じゅう}滞^{たい}は」と話します。

●約10km先までのルート上の渋滞情報が案内されます。

この先、電気工事の
ため渋滞です。



問い合わせする内容は「いつ着^つきますか」、「あと何^{なん}キロ」、「どこから乗^のるの」、「どこで降^{くだ}りるの」などがあります。

2. 音声操作システムの操作例

タクシーモード

タクシーモードで目的地を設定する

住所や施設を発声すると、その地点を目的地としてルートを探求することができます。

1 「タクシー」と話します。

- 「タクシー認識マーク（住所・施設）」が表示され、「どちらへ行きますか」というトークバックが聞こえます。

2 「○○○（地名または施設名称）」と話します。

- 「○○○まで案内します」というトークバックが聞こえます。
- 地図が表示され、目的地に設定しルート探索が開始されます。



タクシー認識マーク（住所・施設）



自動タクシーモードを設定する

ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、音声操作で目的地を設定することができます。

- ナビゲーション画面が立ち上がると、「どちらへ行きますか」という音声案内が出力され、目的地を設定することができます。



自動タクシーモードをON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 MEMU を押します。

2 メニュー画面でナビ設定にタッチします。



3 自動タクシーモードの**する**、または**しない**にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。



4 **完了**にタッチします。



- 認識できる住所・施設名称は「施設で地図を呼び出す」「住所で地図を呼び出す」と同様です。(62、75ページ参照)
- 自動でタクシーモードを開始することができます。「自動タクシーモードの設定」(左記参照)
- 「どちらへ行きますか」という音声案内の後に音声認識スイッチを押して、「○○(地名または施設名称)」と話します。
- **初期設定に戻す**にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態に戻ります。
- すでに目的地が設定されているときは「どちらに行きますか」という音声案内は出力されません。

2. 音声操作システムの操作例

ハンズフリー機能

携帯電話を操作しなくても、音声で電話をかけることができます。

ダイヤル発信で電話をかける

- 1 「電話^{でんわ}をかける」と話します。
- 「電話番号をお話してください」というトークバックが聞こえます。
- 2 音声認識スイッチを押して、「○○○
(相手の電話番号)」と話します。
- 3 「発信^{はっしん}」と話します。
- 4 相手が出たら通話します。
- 5 通話が終了したら、音声認識スイッチを押して、電話を終了します。



メモリダイヤルから電話をかける

- 1 「メモリダイヤル」と話します。
- 「メモリダイヤルの名前をお話してください」というトークバックが聞こえます。



- 2 音声認識スイッチを押して、「○○○
(メモリダイヤルの名前)」と話します。
- 3 相手が出たら通話します。
- 4 通話が終了したら、音声認識スイッチを押して、電話を終了します。



事前にメモリダイヤルを登録しておく必要があります。メモリダイヤルの登録については264ページを参照してください。

3. 音声認識コマンド一覧

音声操作するときの音声認識コマンド一覧を紹介します。

画面に表示されているタッチスイッチやパネルスイッチの名称はすべて音声コマンドとして認識できます。ただし、リストの項目や名称が記号になっているタッチスイッチ、インフォメーション機能、画質調整などのテレビやオーディオの操作に関連するタッチスイッチの名称は認識できません。

<音声認識コマンド一覧表の見方>

■音声認識コマンドについて

●のコマンドは最後に「**消去**」、または「**解除**」と発声することにより、表示が解除（または消去）されます。

例）：「**2画面表示**」…「**2画面表示解除**」（または「**2画面表示消去**」）と発声すると、2画面表示が解除されます。

◆のコマンドは最初に「**右画面**」と発声することにより、右画面の設定が切り替わります。

例）：「**詳細**」…「**右画面詳細**」と発声すると、右画面の地図が1段階詳細なものになります。

■読みについて

「I」の記号は「I」の前後どちらかのコマンドを話すと認識できます。

例）：ぜんるーと（ずIひょーじ）…ぜんるーとずまたはぜんるーとひょーじと話します。

「[]」の記号は「[]」内のコマンドを話しても、話さなくても認識できます。

例）：しがい[ち]ず[ひょーじ]…しがいず、しがいちず、しがいずひょーじまたはしがいちずひょーじと話します。

ナビゲーション画面を切り替えるコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
現在地	げんざいち なび	現在地画面を表示する
メニュー画面	めにゅーがめん	メニュー画面を表示する
目的地設定	もくてきちせってー[がめん]	目的地設定画面を表示する

操作のヒントを表示するコマンド

ヒント対象画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
? ヒント	[はてな クエスチョン]ひんと	操作のヒントを表示する



- 画面に表示中のタッチスイッチのみ有効です。
- 画面の表示状況によっては、認識されないことがあります。

3. 音声認識コマンド一覧

ナビゲーションの各機能を実行するコマンド

現在地、地図画面を表示中に有効です。

<音声認識コマンド一覧表の見方>

■音声認識コマンドについて

- のコマンドは最後に「**消去**」、または「**解除**」と発声することにより、表示が解除（または消去）されます。

例）：「**2画面表示**」…「**2画面表示解除**」（または「**2画面表示消去**」）と発声すると、2画面表示が解除されます。

- ◆のコマンドは最初に「**右画面**」と発声することにより、右画面の設定が切り替わります。

例）：「**詳細**」…「**右画面詳細**」と発声すると、右画面の地図が1段階詳細なものになります。

音声認識コマンド		読 み	機 能
詳細	◆	しょーさい	1段階詳細地図を表示する
広域	◆	こーいき	1段階広域地図を表示する
○(数字)メートル	◆	○めー(とる たー) [すけーる]	○メートルで地図を表示する
○(数字)キロメートル	◆	○きろめー(とる たー) [すけーる]	○kメートルで地図を表示する
市街図※1	◆	しがい [ち] ず [ひょーじ]	市街図を表示する
3D市街図※1	◆	(さんでいー すりーでいー) しがい [ち] ず [ひょーじ]	3D市街図(バーチャタウンマップ)を表示する
地図向き変更	◆	ちず [の] むきへんこー	地図向きを変更する
ノースアップ	◆	のーすあっぷ	ノースアップで表示する
ヘディングアップ	◆	へでいんぐあっぷ	ヘディングアップで表示する
3D表示	◆●	(さんでいー すりーでいー) ひょーじ	3D画面を表示する
2画面表示	●	にがめんひょーじ	2画面で表示する
ツイン表示		ついんひょーじ	2画面で表示する
3Dツイン表示		(さんでいー すりーでいー) ついんひょーじ	3D2画面で表示する
施設名称	ガソリンスタンド	がそりんすたんど じーえす	施設名称のランドマークを表示する
	コンビニエンスストア	こんびにえんすすとあ こんびに	
	レストラン	れすとらん	
	喫茶店	きっさてん	
	銀行	ぎんこー	
	駐車場	ちゅーしゃじょー	

音声認識コマンド	読み	機能
右画面施設表示	みぎがめんしせつひょーじ	右画面に施設ランドマークを表示する
施設表示消去 ◆	しせつ [ひょーじ] (かいじょ しょーきょ)	施設ランドマークを消去する
高速路図表示※2 ●	こーそくりゃくずひょーじ	ハイウェイモード画面を表示する
都市高マップ表示※3 ●	としこー [そく] まっぷ [ひょーじ]	都市高マップを表示する
立ち寄り地点※4	たちよりちてん	目的地を追加する
全ルート図※4	ぜんるーと (ず ひょーじ)	全ルート図を表示する
再音声※5	さいおんせー	音声案内をもう一度聞く
メモリ地点	めもりちてん	メモリ地点を登録する
音声付きメモリ地点	おんせーつきめもりちてん	音声付きメモリ地点を登録する
方向付きメモリ地点※6	ほうこーつきめもりちてん	方向付きメモリ地点を登録する
VICS表示 ◆●	びっくすひょーじ	VICS情報を表示する
VICS全道路表示	びっくすぜんどー [ろ] ひょーじ	全ての道路にVICS情報を表示する
VICS高速道表示	びっくすこーそく [どー [ろ]] ひょーじ	高速道にVICS情報を表示する
VICS一般道表示	びっくすいっぱん [どー [ろ]] ひょーじ	一般道にVICS情報を表示する
VICS FM文字表示	びっくすえふえむもじひょーじ	VICS FM文字情報を表示する
VICS FM図形表示	びっくすえふえむずけいひょーじ	VICS FM図形情報を表示する
VICS割込情報	びっくすわりこみじょーほー	VICS割り込み情報を表示する

※1…市街図収録エリアのとき

※2…高速道路を走行しているとき

※3…目的地案内中に都市高速を走行しているとき

※4…目的地が設定されているとき

※5…目的地案内中のとき

※6…現在地のとき

この他にもナビゲーションの画面（一部除く）に表示されるスイッチ名称に対して音声で操作することができます。

3. 音声認識コマンド一覧

地点を検索・表示するコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
住所	じゅーしょ	住所認識モードに切り替える
施設	しせつ	施設認識モードに切り替える
タクシー	たくしー	タクシーモードに切り替える

ナビゲーションの画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
電話番号入力	でんわばんごー [にゅーりょく] [がめん]	電話番号入力画面に切り替える
マップコード入力	まっぷコード [にゅーりょく] [がめん]	マップコード入力画面に切り替える
自宅に帰る※1	じたく (え に) かえる	自宅までのルートを探索する
特別メモリ○ (1～5) に行く※2	とくべつめもり○ (え に) いく	特別メモリ○までのルートを探索する

※1…自宅が登録されているとき

※2…特別メモリ地点が登録されているとき

住所、施設認識モードおよびタクシーモードで有効です。

(発声する前に音声認識スイッチを押してください)

音声認識コマンド	読 み	機 能
中止、キャンセル	ちゅーし きゃんせる	コマンドを中止 (キャンセル) する
戻る	もどる	前の状態に戻す
番地入力※1	ばんちにゅーりょく ばんち	番地入力モードに切り替える
次の候補※2	つぎのこーほ ちがう	次の候補を表示する

※1…住所認識モードで番地を入力するとき

※2…住所、施設認識モードで複数の施設を検索し地図表示したとき (6秒間)

ナビゲーションの設定を変更するコマンド

ナビゲーションすべての画面で有効です。

<音声認識コマンド一覧表の見方>

■音声認識コマンドについて

●のコマンドは最後に「消去」、または「解除」と発声することにより、表示が解除（または消去）されます。

例）：「2画面表示」…「2画面表示解除」（または「2画面表示消去」と発声すると、2画面表示が解除されます。

音声認識コマンド	読 み	機 能
立体ランドマーク ●	りったいらんどまーく [ひょうじ]	立体ランドマークを表示する設定
ビーコン割込（文字） ●	びーこんわりこみもじ [じどーわりこみ] [ひょーじ]	VICS文字情報の割り込みを表示する設定
ビーコン割込（図形） ●	びーこんわりこみずけー [じどーわりこみ] [ひょーじ]	VICS図形情報の割り込みを表示する設定
注意警戒情報 ●	ちゅーいけーかいじょーほー [じどーわりこみ] [ひょーじ]	VICSの注意警戒情報を表示する設定
VICS渋滞・混雑表示 ●	びっくすじゅーたいこんざつ [どーろ] [ひょーじ]	VICSの渋滞情報を表示する設定
VICS空き道表示 ●	びっくすあきみち [ひょーじ]	VICSの空いている道の情報を表示する設定
VICS規制情報表示 ●	びっくすきせーじょーほー [ひょーじ]	VICSの規制情報を表示する設定
VICS駐車場表示 ●	びっくすちゅーしゃじょー [じょーほー] [ひょーじ]	VICSの駐車場情報を表示する設定
VICS渋滞考慮探索※ ●	びっくすじゅーたいこーりよ たんさく	VICSの渋滞を考慮してルートを探る設定
ナビボリュームアップ	なびおんりょーあっぷ	ナビ音量を1段階上げる
ナビボリュームダウン	なびおんりょーだうん	ナビ音量を1段階下げる
ナビミュート ●	なびおんりょーみゅーと	ナビ音量をOFFにする

※…目的地が設定されているとき

3. 音声認識コマンド一覧

知りたインフォコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
おはよう	おはよー [ございます]	あいさつをする
こんにちは	こんにちわ	あいさつをする
こんばんは	こんばんわ	あいさつをする
おやすみ	おやすみ [なさい]	あいさつをする
今日の ラッキーカラーは？	[きょーの] らっきーからー [わ]	今日のラッキーカラーを聞く
今日の運勢は？	[きょーの] (うんせー [わ] おみくじ うらない)	今日の運勢を聞く
今日は何日？	きょーわ (なんにち なんようび)	今日の日付の案内
今何時？ 今日は何の日？	いまなんじ きょーわなんのひ	現在の時間の案内 今日の記念日の案内
今走っている道路は？	いまはしっているどーろ [めー] [わ]	走行中の道路名称の案内
どっち向いているの？	どっちむいている [の]	方角の案内
あとどれくらい？※1	あとどれくらい	目的地までの時間の案内
あと何分？※1	あとなん (ふん ぶん じかん)	目的地までの時間の案内
あと何キロ？※1	あとなんきろ	目的地までの距離の案内
いつ着きますか？※1	(いつ なんじに) (つきますか つく [の])	目的地までの時間の案内
次の目的地にいつ 着きますか？※2	つぎのもくてきに [わ] (いつ なんじに) (つきますか つく [の])	次の目的地までの時間の案内
次の目的地まで あとどれくらい？※2	つぎのもくてきちまで [あと] どれくらい	次の目的地までの時間の案内
次の目的地まで あと何分？※2	つぎのもくてきちまで [あと] なん (ふん ぶん)	次の目的地までの時間の案内
次の目的地まで あと何キロ？※2	つぎのもくてきちまで [あと] なんきろ	次の目的地までの距離の案内
どこから乗るの？※1	どこ (で から) のる [の]	入るインターチェンジ (IC) の案内
どこで降りるの？※1	どこ (で から) おりる [の]	出るインターチェンジ (IC) の案内
この先渋滞は？※1	このさき [の に] (じゅーたい きせー) わ [ある ありますか]	約10km先までの渋滞の案内

音声認識コマンド	読 み	機 能
今何 Km/h?	いまなんきろ	現在の速度の案内
次の施設は？※3	つぎのしせつわ [なに]	最寄りのインターチェンジ (IC)、 ジャンクション (JCT)、 サービスエリア (SA)、 パーキングエリア (PA) の案内
次の SA/PA は？※3	つぎの (さーびすえりあ ぱーきんぐえりあ) わ [なに]	最寄りのサービスエリア (SA)、 パーキングエリア (PA) の案内

※1…目的地案内中のとき

※2…目的地案内中で複数目的地が設定されているとき

※3…高速道路を走行しているとき

ハンズフリーで使えるコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
電話をかける	でんわをかける けいたいでんわ はんずふりー	ダイヤル発信画面を表示させ、電話 発信をする
メモリダイヤル	めもりだいやる	メモリダイヤル発信画面を表示させ、 電話発信をする
リダイヤル	りだいやる	リダイヤルをする

1. 電話機の接続

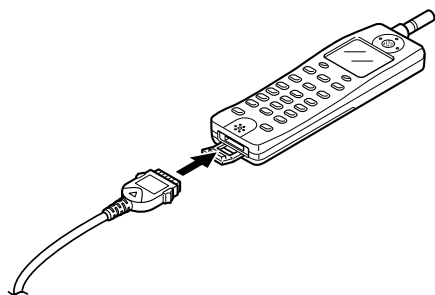
携帯電話接続ケーブル（オプション）を使って本機と携帯電話を接続することでインターネット、「iモード」、ハンズフリー、ヘルプネットなどの機能を使用することができます。



走行中に携帯電話とコネクタの接続や携帯電話本体のご使用はさせていただきます。

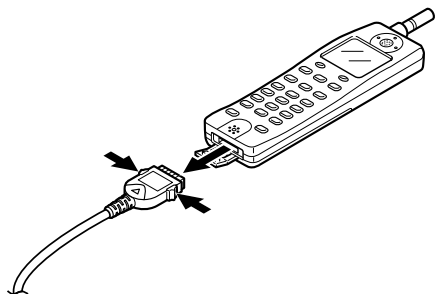
電話機の取り付け

- 1 本機に携帯電話接続ケーブル（オプション）を接続します。携帯電話のコネクタ接続部のふたを開け、コネクタを接続します。



電話機の取りはずし

- 1 ツマミを押しながら携帯電話を引き抜きます。



指定の携帯電話以外は絶対にご使用にならないでください。指定外の携帯電話をご使用になると、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。



- 携帯電話の電波の届くところでご使用ください。
- 本機は、携帯電話に対する充電機能をもっていません。なるべく満充電に近い状態で使用してください。バッテリーが切れたら電話が使用できなくなります。
- 携帯電話を本機に接続中、携帯電話の充電ランプが点灯または点滅していても、異常な状態ではありません。
- 電話接続時は、携帯電話本体での操作（EZweb／EZaccess／「iモード」などを含む）を行わないでください。誤動作の原因になることがあります。
- エンジンがかかっているときに携帯電話を接続すると、一時的に携帯電話の電源が切れますが、しばらくするとONの状態に戻ります。
- 上記の動作直後、あるいは携帯電話を接続した状態でエンジンをかけた直後は、通信および電話をかけることはできません。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチONで表示部の照明がついたままになることがあります。この場合は携帯電話の照明をOFFに設定してください。（設定については携帯電話の取扱説明書を参照してください）
- エンジンを切っても携帯電話の電源がOFFされない場合がありますので、エンジンを切った後、必ず携帯電話の電源を確認してください。

2. 接続先の設定

「iモード」、インターネットを使うにはそれぞれ接続先が異なるため、通信モードを設定する必要があります。



走行中に携帯電話とコネクタ接続や携帯電話本体の使用はさけてください。



- 携帯電話本体にダイヤルロックがかけられていないか確認してください。ダイヤルロックがかけられていると通信できません。ダイヤルロックを解除してから接続してください。
- 通信接続中は、携帯電話の操作はしないでください。
- 通信を行うときは、携帯電話または自動車電話の電波のよく届くところで使用してください。
- サイトの情報やインターネット上のホームページは一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページから本機に取り込んだ文章や画像などのデータを個人として楽しむ以外に、著作権者の許可無く、一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。

通信モードの設定

- 1 インフォメーション（情報）画面で **通信設定** にタッチします。



- 2 使用する接続先の左にある○にタッチします。

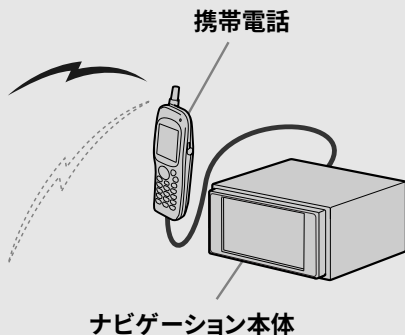
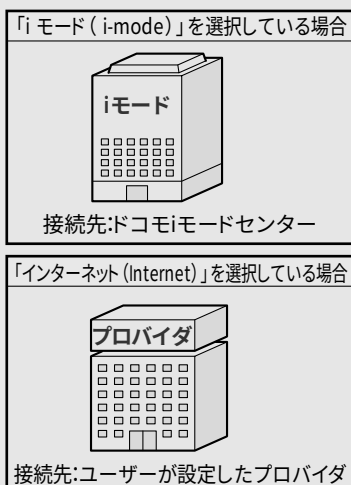
- 3 **設定完了** にタッチします。





- 「iモード (i-mode)」 「インターネット (Internet)」 を選択すると、それぞれの機能を優先するため、通信状況が下記ようになります。
 1. 「iモード (i-mode)」 を選択している場合、iモードの機能を優先します。
ナビゲーション画面表示中に下記の項目を受信できます。
 - ・ iモードメール
 - ・ メッセージフリー、メッセージリクエスト
 2. 「インターネット (Internet)」 を選択している場合、インターネットの機能を優先するため、「iモード」 の機能が一部使えなくなります。
iモードのメール・メッセージをナビゲーションではなく、携帯電話で受信することができます。(携帯電話で受信したiモードのメール・メッセージは、ナビゲーションで見ることができません)
- 通信モードを設定した後は、それぞれの機能の説明にしたがい操作してください。
iモード……………235ページ参照
インターネット… 次ページ参照

(例) 「iモード」 使用時



※ 「iモード」 使用時はドコモiモードセンターと通信しているため、インターネット (ドコモiモードセンター以外のプロバイダ) が一部使用できなくなります。

3.インターネットの操作

インターネットとは

全世界のコンピュータが共通の通信方式（プロトコル）に基づいて接続されたネットワークです。インターネットではこのネットワークを利用して、さまざまな情報や電子メール（電子の葉書）などの送受信ができます。

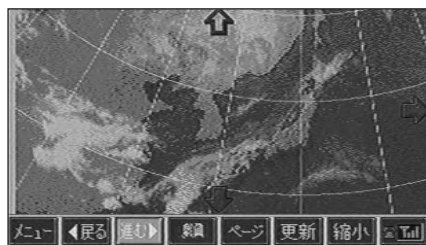
インターネットを使用する際は事前にプロバイダとの契約が必要となり、プロバイダとの契約料および携帯電話の使用料が必要となります。

プロバイダによっては携帯電話からの接続ができないところもありますので、お確かめください。また、プロバイダによってはパケット通信での接続ができないところもありますのでお確かめください。

インターネット情報について

インターネットは大きくわけて「ホームページの閲覧、ホームページの公開」「データファイルの送受信」ができます。

情報の例

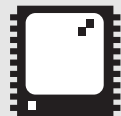


BitSpirit® Internet Copyright 1995-2003 Aplix Corporation. All rights reserved.

本機で使用されているブラウザはBitSpirit® Internetです。

BitSpiritは株式会社アプリックスの登録商標です。

BitSpirit Internetロゴは、株式会社アプリックスの商標です。



BitSpirit® Internet

インターネットの情報やアドレスは予告なく変更されることがあります。

インターネットメニューの表示

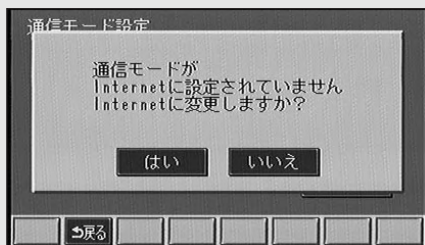
インターネットを利用するときのメニュー画面について紹介します。

- 1 インフォメーション（情報）画面で
インターネットにタッチします。



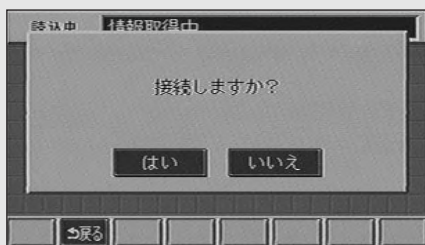
- 通信モード（接続先）が「インターネット（Internet）」に設定されていない場合、メッセージが表示されます。（下記画面）

はい にタッチして通信モードを「インターネット（Internet）」に切り替えてください。



- auのcdmaOne（C3XX系以降）以外の携帯電話をご使用の方は「接続しますか？」とメッセージが表示されます。（下記画面）

いいえ にタッチしてください。



3.インターネットの操作

- インターネットメニュー画面が表示されます。



- ホーム** …… ホームページを表示します。(次ページ参照)
- Bookmark** …… Bookmarkに登録されているホームページを表示します。(224ページ参照)
- URL入力** …… ホームページのアドレス(URL)を入力してインターネットへ接続することができます。(227ページ参照)
- 履歴** …… 前回見たホームページを表示します。(228ページ参照)
- メール** …… メールの確認や送受信をします。(228ページ参照)
- ブラウザ設定** …… インターネット画面の表示設定や回線の自動切断、メールの受信方法などを設定します。(229ページ参照)
- 接続設定** …… 接続先の設定をします。(230ページ参照)

 () …… インターネット接続中は  が表示されます。

 が表示されているときにタッチするとインターネットの接続を切断し、 が表示されます。

インターネットを初めて使うときは

インターネットを初めて使用する場合、プロバイダとの契約を行わなくてはなりません。プロバイダより送られてくる各種設定条件を入力後、インターネットが使用できるようになります。

プロバイダの各種設定条件の入力（接続先の設定）は230ページを参照してください。

ホームページの表示

起動時に設定されているホームページを表示します。

- 1 インターネットメニュー画面で**ホーム**にタッチします。

● ホームページが表示されます。



- メニュー** インターネットメニュー画面へ戻ります。
- 戻る** 1つ前の画面を表示します。
- 進む** 次の画面を表示します。
- 登録** Bookmarkを表示します。Bookmarkが登録されていない場合、表示できません。Bookmarkの登録は次ページを参照してください。
- ページ** スイッチの表示を切り替え、**登録** **タイトル** (**アドレス**) のスイッチを表示します。
- 登録** 表示しているサイトをBookmarkに登録します。(次ページ参照)
- タイトル** タッチすると表示中のページのタイトルを画面上部に表示し、スイッチ表示は**アドレス**になります。
- アドレス** タッチすると表示中のページのアドレスを画面上部に表示し、スイッチ表示は**タイトル**になります。
- 更新** 表示しているサイトを最新の情報に更新します。
- 縮小** 表示している画面を縮小します。タッチするとスイッチ表示は**拡大**になります。
- 拡大** 表示している画面を拡大します。タッチするとスイッチ表示は**縮小**になります。
- **ホーム** にタッチしたときに表示されるホームページを変更する場合、ホームページ設定（233ページ参照）を変更してください。

3.インターネットの操作

Bookmark

よく見るページはBookmarkに登録しておくと、毎回アドレスを入力しなくても少ない手順で表示できるようになります。

Bookmarkに登録する

1 登録したいホームページを表示します。

2 ページにタッチします。

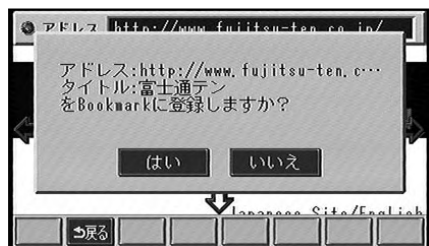


3 登録にタッチします。



4 はいにタッチします。

● いいえにタッチすると、元の画面に戻ります。



Bookmarkを呼び出す

1 インターネットメニュー画面でBookmarkにタッチします。

- 登録されているページがリスト表示されます。
- 画面下に が表示されているとき をタッチしてもBookmarkを呼び出すことができます。



2 表示したいページをタッチします。



●選択したページが表示されます。



Bookmarkを編集する

【例】タイトルを修正します。

1 インターネットメニュー画面で
Bookmark にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 編集するBookmarkにタッチします。



4 タイトルにタッチします。



5 タイトルを修正します。

6 修正が終了したら**完了**にタッチします。



7 **完了** にタッチします。

●URLにタッチしてインターネットアドレスを修正することもできます。



3.インターネットの操作

Bookmarkを削除する

1 インターネットメニュー画面で **Bookmark** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 削除するBookmarkにタッチします。

● **全消去** にタッチすると、登録されているすべてのホームページを消去します。



4 **削除** にタッチします。



5 **はい** をタッチします。



インターネット接続（URL入力）

ホームページのアドレス（URL）を入力して指定したホームページを表示します。

1 インターネットメニュー画面で
URL入力 にタッチします。

2 接続したいインターネットのアドレス
を入力します。

3 入力が終了したら **完了** にタッチしま
す。

●インターネットに接続され、指定したア
ドレスのホームページが表示されます。



ワンポイント

- 文字の入力は247ページのワンポイントを参照してください。
- ホームページ（検索サイトなど）の中から検索する場合、画面に表示されるキーボードからの半角カナ入力による検索ができないことがあります。全角カナ入力を使用して検索してください。

3.インターネットの操作

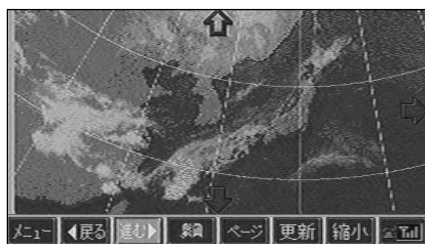
履歴

前回見たホームページを表示します。

1 インターネットメニュー画面で**履歴**にタッチします。

2 表示するホームページにタッチします。

●選択したページが表示されます。



履歴 にタッチするとインターネットに接続して呼び出すことができます。

メール

電子メールの確認や送受信をすることができます。

電子メールを使用する際は事前にプロバイダとメールの契約が必要となります。また契約後、プロバイダ設定画面（232ページ参照）でメール情報の設定が必要です。

1 インターネットメニュー画面で**メール**にタッチします。

●メール画面が表示されます。

●メールについての操作は243ページ以降を参照してください。



新規メール作成 ……新しくメールを作成します。(249ページ参照)
受信メール ……受信済みのメールを表示します。(244ページ参照)
送信済メール ……送信済みのメールを表示します。
未送信メール ……未送信のメールを表示します。
アドレス帳 ……メールアドレスを表示・編集します。(252,253ページ参照)

ブラウザ設定（インターネット専用）

インターネット画面の表示設定や回線の自動切断、メールの受信方法などを設定します。

1 インターネットメニュー画面で
ブラウザ設定にタッチします。

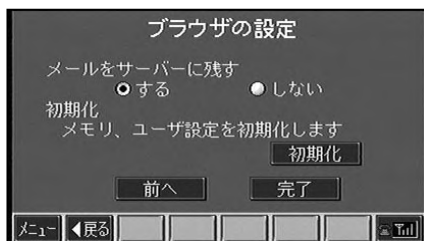
2 設定する項目の左にある○にタッチします。

3 設定が終了したら **次へ** にタッチします。

4 設定する項目の左にある○にタッチします。

5 設定が終了したら **次へ** にタッチします。

6 すべての設定が終了したら **完了** にタッチします。



「表示」 ……情報を受信するときに「画像+文字」または「文字のみ」を設定することができます。(画像のデータ量が大きい場合、受信に時間がかかるため、文字データのみ受信して通信時間を短縮することができます)

「配色」 ……文字と背景色のコントラストが弱いページで、配色設定を変えて文字を読みやすくします。

「文字コード」 ……受信した文字のデータを表示するときの設定をします。(通常は「自動」を選択していれば正しく表示されます)

「自動切断」 ……インターネットへ接続した後、通信していない状態が何分続いたときに回線を切断するかを設定します。

「メールをサーバーに残す」…オリジナルのメールをメールサーバーに残し、コピーを受信します。(本機では受信メールに添付ファイルがあっても表示することができないため、パソコンで同じメールを受信し直すときなどは「する」に設定します)

「初期化」 ……**初期化**にタッチすると、インターネットで登録されているメモリや設定を初期状態に戻します。(メールやBookmark、アドレス帳がすべて消去されます)

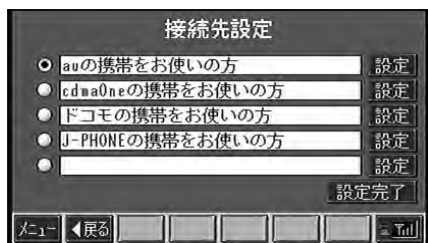
3.インターネットの操作

接続設定

接続先（プロバイダ）の設定をします。

- インターネットメニュー画面で
接続設定 にタッチします。

●接続先設定画面が表示されます。

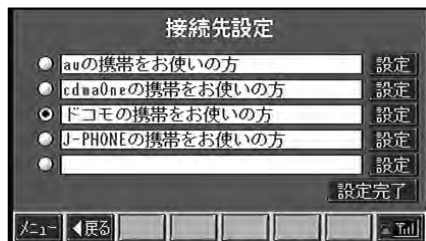


登録済みのプロバイダから設定する

登録されているプロバイダを選択し、設定することができます。

- 接続先設定画面で使用するプロバイダ名の左にある○にタッチします。

- 設定完了** にタッチします。



●au、ドコモまたはJ-PHONEの携帯電話をお使いの方は、あらかじめセットされているプロバイダを選択いただければ、携帯電話の通信料金のみでインターネットに接続することができます。

これらのインターネット接続サービスをご利用になる場合は、携帯電話各社のサービス内容をご確認の上、利用してください。

- 「auの携帯をお使いの方」の設定は

DA・RE・DE・MOのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

プロバイダ名 : auの携帯をお使いの方

電話番号 : # 8753

ユーザID : au

パスワード : au

DNSサーバ1 : 210.157.0.1

DNSサーバ2 : 210.157.0.2

プロキシ : (設定なし)

ポート番号 : (設定なし)

※cdmaOneでもご利用になれますがパケット通信には対応していません。

※auのcdmaOne携帯電話でパケット通信をご利用になる場合は、

「cdmaOneの携帯電話をお使いの方」をお選びください。



- 「cdmaOneの携帯をお使いの方」の設定は
auのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

プロバイダ名 : cdmaOneの携帯をお使いの方
電話番号 : 9999
ユーザID : au
パスワード : au
DNSサーバ1 : 210.196.3.183
DNSサーバ2 : 210.141.112.163
プロキシ : (設定なし)
ポート番号 : (設定なし)
ドメインネーム : au-net.ne.jp

- 「ドコモの携帯をお使いの方」の設定は
NTTドコモ、moperaのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

プロバイダ名 : ドコモの携帯をお使いの方
電話番号 : #9602
ユーザID : mopera
パスワード : mopera
DNSサーバ1 : 211.14.74.49
DNSサーバ2 : 211.14.74.50
プロキシ : (設定なし)
ポート番号 : (設定なし)

- 「J-PHONEの携帯をお使いの方」の設定は
J-PHONEのホームページでご覧になれます。設定されている内容は下記の通りです。

プロバイダ名 : J-PHONEの携帯をお使いの方
電話番号 : *7300
ユーザID : j@phone
パスワード : jphone
DNSサーバ1 : 143.90.130.39
DNSサーバ2 : 143.90.130.23
プロキシ : (設定なし)
ポート番号 : (設定なし)

- その他の通信事業者で接続される場合は、各通信事業者に確認の上、設定してください。なお、無料の接続サービスを行っていない通信事業者もあります。

3.インターネットの操作

希望のプロバイダを入力して設定する

プロバイダから送られてくる各種の設定条件を入力します。

- 1 接続先設定画面でプロバイダの設定をする場所の右側にある **設定** にタッチします。

- 一番下の空欄に、接続先プロバイダの設定を追加することができます。

- 2 設定する項目を入力します。

- 3 入力が終了したら **次へ** にタッチします。

- 4 同様に設定する項目を入力します。

- 5 入力が終了したら **次へ** にタッチします。

- 6 同様に設定する項目を入力します。

- 7 入力が終了したら **次へ** にタッチします。



ワンポイント

- 「auの携帯をお使いの方」「cdmaOneの携帯をお使いの方」「ドコモの携帯をお使いの方」「J-PHONEの携帯をお使いの方」に希望のプロバイダを上書きすると、設定を変更することができます。ただし、一度変更すると元に戻すことはできませんのでご注意ください。
- 変更した接続先設定を元の設定に戻したい場合は、「接続設定」（230ページ参照）を参考にして設定を元に戻してください。
- 入力するプロバイダ名や電話番号などは、契約したプロバイダより送られてきます。
- 文字を入力するときは入力する項目の枠をタッチして、文字を入力します。
- 文字の入力は247ページのワンポイントを参照してください。

8 同様に設定する項目を入力します。

9 入力が終了したら「次へ」にタッチします。

12 同様に設定する項目を入力します。

13 入力が終了したら「次へ」にタッチします。

10 同様に設定する項目を入力します。

11 入力が終了したら「次へ」にタッチします。



「ホームページ設定」…インターネットメニュー画面（222ページ参照）の「ホーム」をタッチしたときに表示するホームページのアドレスを設定します。

「Packet」……………auのcdmaOne携帯電話でパケット通信をご利用になる場合に選択してください。

「その他」……………au以外の携帯電話またはauのcdmaOne携帯電話で回線交換方式をご利用になる場合に選択してください。

「ドメイン（Packet通信用）」……………cdmaOneのパケット通信をご利用いただく場合に設定します。（通常は、変更する必要はありません）

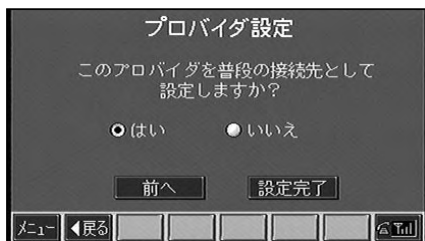
- 携帯電話の通信設定（パケット通信かどうかなど）はナビゲーション本体の設定と同じにしてご利用ください。（設定方法は携帯電話の取扱説明書をご覧ください）
- プロバイダによってはパケット通信での接続ができないところもありますのでお確かめください。

3. インターネットの操作

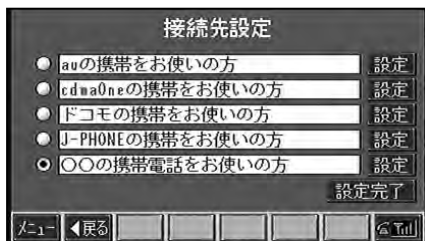
14 「はい」の左にある○にタッチします。

15 **設定完了**にタッチします。

● **いいえ**にタッチすると、普段の接続先に設定されません。



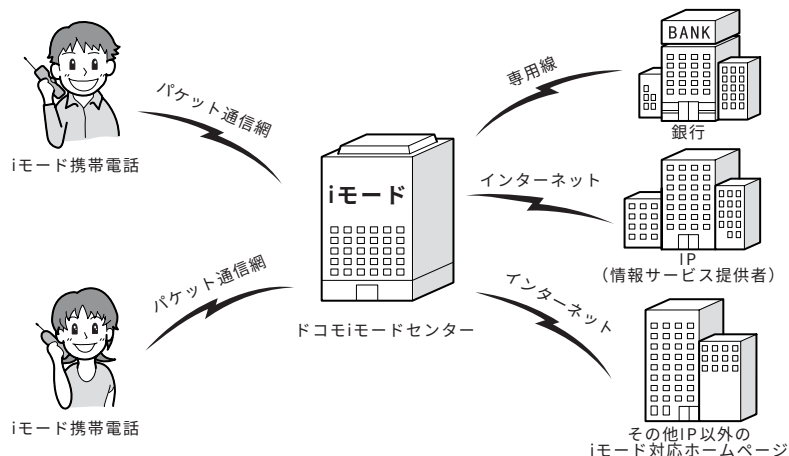
16 **設定完了**にタッチします。



- 入力間違いのときは、接続できません。メッセージにしたがって再度入力してください。
- 電波状態が悪かったり、回線が混雑していると通信に失敗し、接続ができない場合があります。電波状態の良い場所へ移動するか、しばらくしてから再度、通信してください。

4.iモードの操作

iモードとは

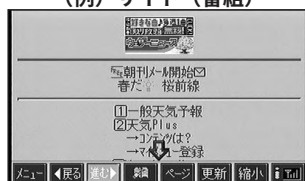


「iモード」は、デジタル携帯電話（iモード携帯電話）を使ったオンラインサービスで、サイト（番組）接続サービスやメッセージサービス、iモードメールなどを利用することができます。本機で「iモード」を利用する場合は本機対応の携帯電話（iナビリンク対応機※）が必要です。※iナビリンク対応機についてはお近くのドコモ販売店またはドコモホームページをご覧ください。

①サイト（番組）接続サービス

簡単なキー操作によって、銀行の残高照会や振り込み、タウンページの電話番号検索など、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスを利用できます。

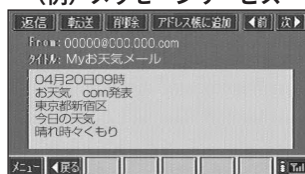
（例）サイト（番組）



②メッセージサービス

各サイト（番組）で申し込みをすると、欲しい情報が自動的に届きます。例えば、ニュース速報や天気予報などを受けることができます。

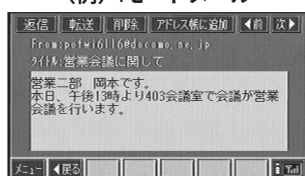
（例）メッセージサービス



③iモードメール

「iモード」を契約するだけで、iモード携帯電話とのメールのやりとりはもちろん、e-mail（電子メール）のやりとりも可能です。

（例）iモードメール

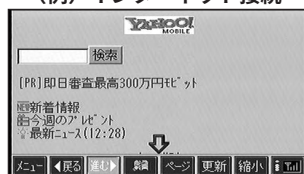


4.iモードの操作

④インターネット接続

見たいホームページアドレスを直接入力すると、iモードセンターを通してインターネットに接続し、iモード対応のホームページを見ることができます。

(例) インターネット接続



⑤「iモード」による施設検索

iモードのサイトを利用して検索した施設を地図上に表示することができます。

(例) iモードによる施設検索



iモードのご利用について

- 本機での「iモード」のご利用には、「ナビリンク」(カーナビ接続)機能搭載のiモード携帯電話が必要です。
- 「iモード」のご利用には、ドコモグループ各社のいずれかと800Mデジタル携帯・自動車電話の契約とパケット通信サービス契約および「iモード」の利用申し込みが必要となります。
契約についての詳細は、携帯電話に付属の取扱説明書または携帯電話販売店にて確認してください。
- 「iモード」は月額基本使用料のほかに、お客様がご利用になったデータ量に応じて、パケット通信料がかかります。受信状況および受信したデータにより正しく受信されない場合でもパケット通信料がかかる場合があります。

- 「iモード」の操作については、携帯電話に付属のiモード取扱説明書を熟読した後、本書をご覧ください。
- 「iモード」のサイトには、一部有料のものがあります。
- 本機で「iモード」サイトを見る場合、表示内容などがiモード携帯電話と異なる場合があります。また、一部サイトが表示できない場合があります。
- 本機と「iモード」携帯電話を接続した状態でiモードメールを送受信した場合、iモードメールに関する送信記録および受信したiモードメールは、本機に保存され、iモード携帯電話には保存されません。
- 本機は「iアプリ」などのiモード対応カーナビ非対応サービス/機能には対応していません。



- 「iモード」および「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「ナビリンク」はNTTドコモの登録商標です。
- 本機は、株式会社NTTドコモとは何ら関係がありません。
- 「iモード」を利用されるときは携帯電話本体にダイヤルロックがかけられていないか確認してください。ダイヤルロックがかけられていると通信できません。携帯電話本体でダイヤルロックを解除してからコネクタに接続してください。
- 携帯電話の電波が届くところで使用してください。
- 「iモード」の利用は、エンジンをかけてから行ってください。エンジンをかける前、かけているときに接続すると、通信が切れることがあります。

iモードメニュー画面の表示

「iモード」を利用するときのメニュー画面について紹介します。

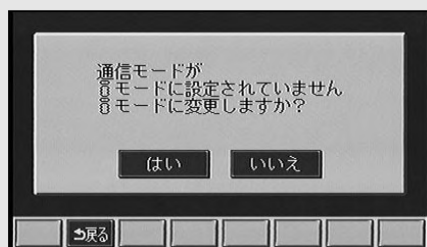
1

インフォメーション（情報）画面で
iモードにタッチします。

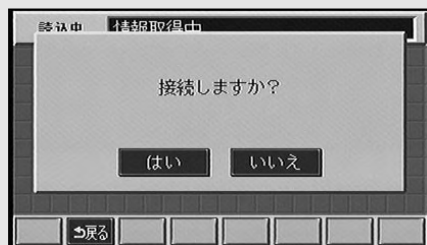


- 通信モード（接続先）が「iモード（i-mode）」に設定されていない場合、メッセージが表示されます。（下記画面）

はいにタッチして通信モードを
「iモード（i-mode）」に切り替えて
ください。



- 「接続しますか？」とメッセージが表示された場合（下記画面）、**いいえ**にタッチしてください。



4.iモードの操作

- iモードメニュー画面が表示されます。



i Menu ………ドコモiモードセンターに接続され、サイト（番組）を表示することができます。（下記参照）

Bookmark ………Bookmarkに登録されているサイト（番組）を表示します。（241ページ参照）

Internet ………アドレスを入力してインターネットへ接続することができます。（256ページ参照）

履歴 ………前回見たサイトを表示します。

メール・メッセージ ………メールの確認や送受信をします。（243、255ページ参照）

ブラウザ設定 ………iモード画面の表示設定やメールの受信を設定します。（257ページ参照）



……………iモード接続中は「i」が点灯します。「i」が点灯しているときにタッチするとiモードの接続を切断し、「i」が消灯します。

サイト（番組）の接続

情報提供者によって用意されたサイトに接続し、情報を入手することができます。

- 1 iモードメニュー画面で **i Menu** にタッチします。

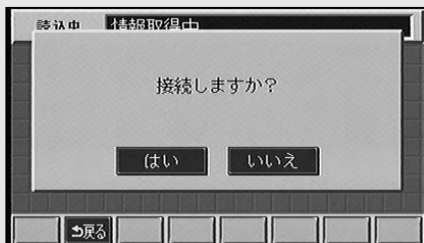
- iモードセンターに接続され、iモードメニュー画面が表示されます。

- 2 希望する項目にタッチします。



- 表示される項目の詳細は携帯電話に付属のiモード取説書を参照してください。

- 「接続しますか？」とメッセージが表示された場合（下記画面）、**はい** にタッチしてください。



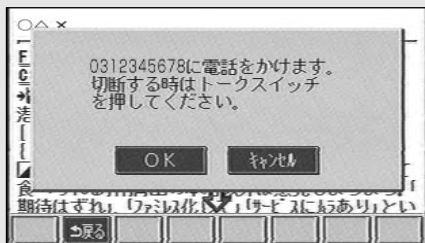
- 選択したサイトの情報が表示されます。



- 戻る** 1つ前の画面を表示します。
- 進む** 次の画面を表示します。
- 検索** Bookmarkを表示します。Bookmarkが登録されていない場合、表示できません。Bookmarkの登録は次ページを参照してください。
- ページ** スイッチの表示を切り替え、**登録** **タイトル** (**アドレス**) のスイッチを表示します。
- 登録** 表示しているサイトをBookmarkに登録します。(次ページ参照)
- タイトル** タッチすると表示中のページのタイトルを画面上部に表示し、スイッチ表示は**アドレス**になります。
- アドレス** タッチすると表示中のページのアドレスを画面上部に表示し、スイッチ表示は**タイトル**になります。
- 更新** 表示しているサイトを最新の情報に更新します。
- 縮小** 表示している画面を縮小します。タッチするとスイッチ表示は**拡大**になります。
- 拡大** 表示している画面を拡大します。タッチするとスイッチ表示は**縮小**になります。

- サイトの中には、直接電話をかけることができるものがあります。このとき、電話番号にタッチするとメッセージが表示されます。(下記参照)

※ 「iモード」に接続しているときは、「電話機使用中です。切断してもよろしいですか?」とメッセージが表示されます。**はい** にタッチしてiモードの接続をいったん解除してください。



OK 表示された電話番号に電話をかけます。通話が終わったら音声認識スイッチ(190ページ参照)を押してください。

キャンセル 元の画面に戻ります。

※ トークスイッチ (音声認識スイッチ)

- サイトの中には直接メール作成をできるものがあります。このとき、リンクにタッチすると送信メール画面が表示され、メールを作成できます。(249ページ参照)
- サイトの中には、ナビゲーションの地図上に場所を表示することができるサイト (iナビリンクサイト) があります。このとき、リンク (住所・電話番号など) にタッチするとナビゲーションの地図上に場所が表示されます。(次ページ参照)

4.iモードの操作

iモードによる施設検索

「iモード」のサイトの中には位置データ（緯度・経度）を利用したカーナビ向けサイト（iナビリンクサイト）があります。

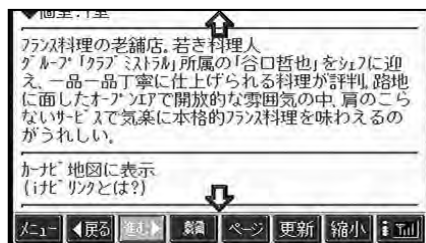
位置情報を入手すると、ナビゲーションの地図上に場所を表示させることができます。

1 iモードメニュー画面からiナビリンクサイトを表示します。

●一例としてこの画面では、〔ナビで見る〕にタッチします。

※位置情報を提供しているサイトによって〔ナビで見る〕という表示は異なります。

●サイトの指示にしたがって操作すると、地点をナビゲーションの画面上に表示することができます。



目的地セット…の中心を目的地に設定します。

地点登録…の中心をメモリ地点に登録します。

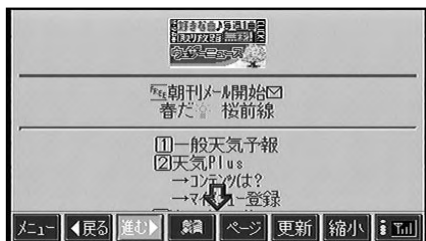
Bookmark

よく見るサイトはBookmarkに登録しておくと、毎回アドレスを入力しなくても少ない手順で表示できるようになります。

Bookmarkを登録する

1 iモードメニュー画面から登録したいサイトを表示します。

2 **ページ**にタッチします。

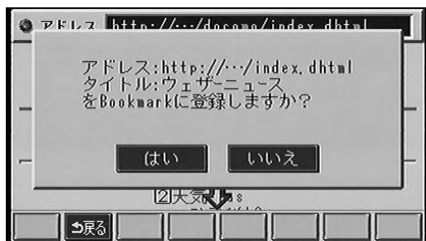


3 **登録**にタッチします。



4 **はい**にタッチします。

● **いいえ**にタッチすると元の画面に戻ります。

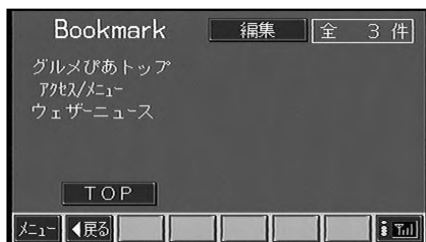


Bookmarkを呼び出す

1 iモードメニュー画面で **Bookmark** にタッチします。

●登録されているサイトがリスト表示されます。

●画面下に **編集** が表示されているとき **編集** をタッチしてもBookmarkを呼び出すことができます。



2 表示したいサイトをタッチします。

●選択したサイトが表示されます。



4.iモードの操作

メール・メッセージとは

「iモード」ではiモードメールやメッセージを受信することができます。

1.iモードメール

「iモード」携帯電話同士はもちろん、インターネットを經由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。

2.メッセージ

サイトから情報を入手するサービスにはメッセージサービスがあり、メッセージサービスは2種類あります。

- ・メッセージ〔R〕（リクエスト）…サイトと契約することで、必要なメッセージを自動で受信できます。
- ・メッセージ〔F〕（フリー）………サイトとの契約が不要な無料のメッセージを受信できます。

メールやメッセージの受信

メールやメッセージが「iモード」に届くと、表示でお知らせします。



受信したメールやメッセージを表示するときは、車を安全な場所に停車させてから行ってください。受信メールの表示方法は次ページ、受信メッセージの表示方法は255ページを参照してください。

iモードメール

「iモード」携帯電話同士はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。

1 iモードメニュー画面で**メール・メッセージ**にタッチします。

2 **メール**にタッチします。



●メール画面が表示されます。



- 新規メール作成**新しくメールを作成します。(249ページ参照)
- 受信メール**受信済みのメールを表示します。(次ページ参照)
- 送信済メール**送信済みのメールを表示します。
- 未送信メール**未送信のメールを表示します。
- アドレス帳**メールアドレスを表示・編集します。(252ページ参照)

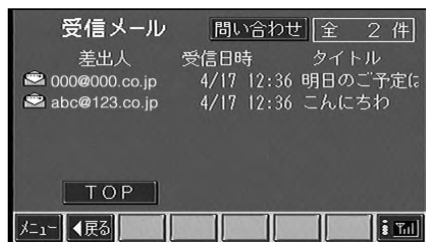
4.iモードの操作

受信メールを表示する

- 1 メール画面で **受信メール** にタッチします。

●受信したメールがリスト表示されます。

- 2 表示したいメールをタッチします。



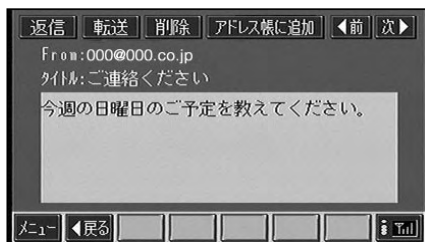
問い合わせ ………iモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせします。

TOP ……………一番最初のリストを表示します。

前へ 次へ ………複数のメールメッセージを受信したとき、1画面におさまりきれないメールやメッセージをスクロールして表示します。

- ナビゲーション本体で受信（保存）できるメール・メッセージは最大20件です。メール・メッセージの受信（保存）合計件数が20件のとき、さらにメール・メッセージを受信する場合は、不要なメール・メッセージを削除してから受信してください。
- ナビゲーション本体で一度受信したメール・メッセージは、携帯電話で再び受信または表示することはできません。ナビゲーションに携帯電話を接続している間、メール・メッセージを受信したくない場合は、ブラウザの設定画面（257ページ参照）で「メール・メッセージの受信」を「しない」に設定してください。また、通信モードをインターネットモードにしておけば、ナビゲーションに接続したままでも携帯電話でiモードメール・メッセージを受信できます。

- メールの内容が表示されます。



返信 ……………表示しているメールを返信します。(次ページ参照)

転送 ……………表示しているメールを転送します。(248ページ参照)

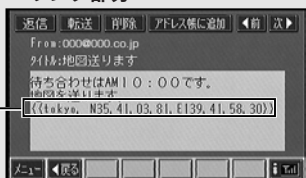
削除 ……………表示しているメールを削除します。

アドレス帳に追加 ……表示しているメールアドレスをアドレス帳に追加します。

◀前 次▶ ……受信したメールが複数ある場合、前(次)のメールを表示します。

- 位置情報が添付されたメールを受信した場合、リンクをタッチするとナビゲーションの地図上に添付された位置を表示することができます。

リンク部分



<位置情報が添付されたメール>

リンクを
タッチ



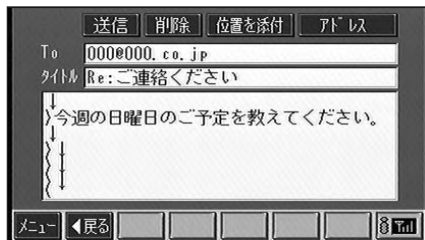
<地図上に添付された位置を表示>

4.iモードの操作

メールを返信する

メール受信した相手に返事を書きます。

- 1 受信メールを表示します。
- 2 **返信** にタッチします。
- 3 修正する部分（タイトルや内容）をタッチします。



削除表示しているメールを削除します。

位置を添付位置情報をメールに添付します。(251ページ参照)

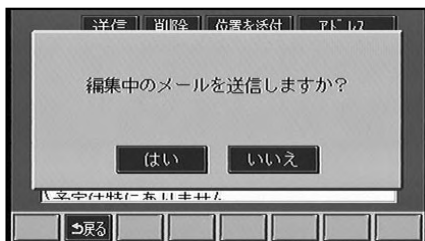
アドレスアドレス帳を表示します。アドレス帳に宛先が登録されている場合、宛先をタッチするだけで、宛先が入力されます。アドレス帳の登録は253ページを参照してください。

- メールの返信では、自動的にTo（宛先）に送信した相手のアドレスが入力され、タイトルに「Re:」が追加されます。
- メールの送信で下記のことはできません。
 - CCの指定
 - 画像ファイルなどの添付
 - コピー＆ペースト
- 1件のメールで指定できる宛先は1件です。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、ナビゲーション本体に5件まで保存されます。保存されたメール合計件数が5件のとき、さらにメールを送信した場合は、最も古いメールから削除されます。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、携帯電話で表示することはできません。

4 内容を修正します。

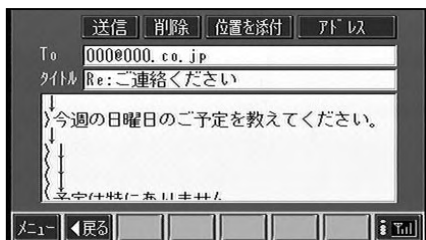


7 はい にタッチします。



5 修正が終了したら **完了** にタッチします。

6 **送信** にタッチします。



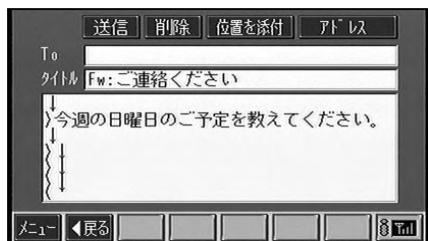
- 削除**入力した文字を1文字ずつ削除します。
- ← ↑ ↓ →**文字を入力（消去）する位置（□で表示）を移動します。
- 小**アルファベットの小文字を表示します。
- 大**アルファベットの大文字を表示します。
- 全**アルファベットの全角文字を表示します。
- 変換**入力中の「かな」を漢字に変換します。
- 無変換**入力中の「かな」をそのまま入力します。
- ┐**1文字分のスペースを空けます。
- ↵**改行をします。
- かな**「かな」を表示します。
- カナ**カタカナを表示します。
- 英数**英字や数字を表示します。
- 記号**記号を表示します。
- 定型**定型文から文章を選択することができます。
- 履歴**前回入力した文字を選択することができます。

4.iモードの操作

メールを転送する

受信したメールを別のアドレスに転送します。

- 1 受信メールを表示します。
- 2 **転送** にタッチします。
- 3 To (宛先) の空白部分にタッチします。



- 4 宛先を入力します。



- 5 入力終了したら **完了** にタッチします。



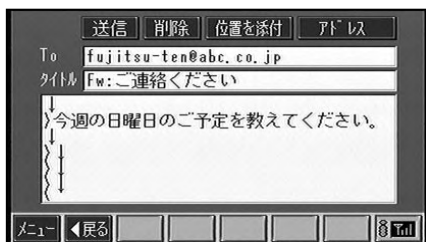
削除表示しているメールを削除します。

位置を添付位置情報をメールに添付します。(251ページ参照)

アドレスアドレス帳を表示します。アドレス帳に宛先が登録されている場合、宛先をタッチするだけで、宛先が入力されます。アドレス帳の登録は253ページを参照してください。

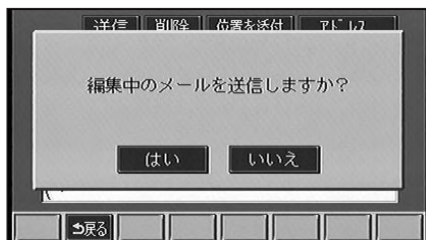
- メールの転送では、タイトルに「Fw:」が追加されます。
- メールの送信で下記のことはできません。
 - CCの指定
 - 画像ファイルなどの添付
 - コピー&ペースト
- 1件のメールで指定できる宛先は1件です。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、ナビゲーション本体に5件まで保存されます。保存されたメール合計件数が5件のとき、さらにメールを送信した場合は、最も古いメールから削除されます。
- ナビゲーション本体で送信したメールは、携帯電話で表示することはできません。
- 文字の入力は前ページのワンポイントを参照してください。

6 送信 にタッチします。



7 はい にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。



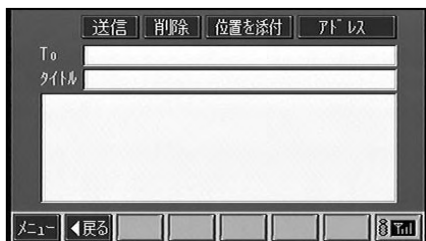
タイトルや内容について修正する場合は、修正する部分をタッチして内容を修正します。

メールを作成する

1 メール画面で **新規メール作成** にタッチします。

- 送信メール画面が表示されます。

2 To (宛先) の空白部分にタッチします。



3 宛先を入力します。



4 入力が終わったら **完了** にタッチします。



削除表示しているメールを削除します。

位置を添付位置情報をメールに添付します。(251ページ参照)

アドレスアドレス帳を表示します。アドレス帳に宛先が登録されている場合、宛先をタッチするだけで、宛先が入力されます。アドレス帳の登録は253ページを参照してください。

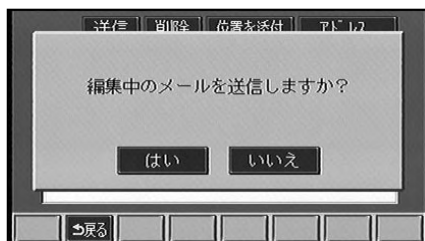
- 文字の入力は247ページのワンポイントを参照してください。

4.iモードの操作

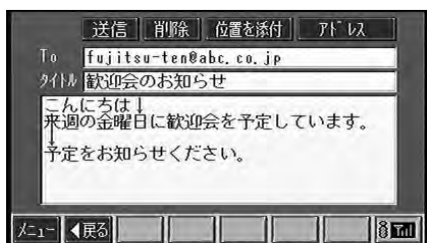
- 5 宛先の入力と同様に、タイトルやメールの内容を入力します。



- 7 はい にタッチします。



- 6 送信 にタッチします。



- メールの送信で下記のことはできません。

- CCの指定
- 画像ファイルなどの添付
- コピー&ペースト

- 1件のメールで指定できる宛先は1件です。

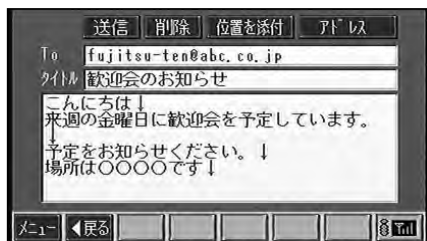
- ナビゲーション本体で送信したメールは、ナビゲーション本体に5件まで保存されます。保存されたメール合計件数が5件のとき、さらにメールを送信した場合は、最も古いメールから削除されます。

- ナビゲーション本体で送信したメールは、携帯電話で表示することはできません。

位置を添付する

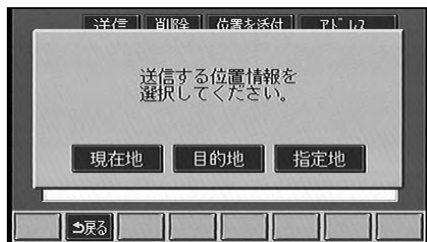
メールに位置情報（現在地、目的地、指定地）を添付して送信することができます。受信側のナビゲーションが位置情報の送受信に対応している場合、位置情報を受けとった側のナビゲーションでは、添付された位置を画面に表示させることができます。

- 1 送信メール画面で **位置を添付** にタッチします。



- 2 添付する位置にタッチします。

- **指定地** をタッチすると、地点の検索画面が表示されます。検索方法については、63ページを参照してください。



- 位置情報がメールに添付されます。



- 位置情報をやりとりするには、送信側と受信側のナビゲーションがともに位置情報の送受信に対応している必要があります。

4.iモードの操作

アドレスを表示する

1 メール画面で、**アドレス帳** にタッチします。

- 登録されているアドレスの名前がリスト表示されます。

2 表示したいアドレスの名前をタッチします。

- 選択したアドレスが表示されます。



TOP一番最初のリストを表示します。

前へ 次へ1画面におさまりきらないアドレスのリストをスクロールして表示することができます。

- アドレスが登録されていない場合、アドレスの名前は表示されません。アドレスの登録は下記を参照してください。

キャンセル元の画面を表示します。

削除表示しているアドレスを削除します。(254ページ参照)

- 名前またはアドレスにタッチするとアドレスを修正することができます。(254ページ参照)

アドレスを登録する

1 メール画面で、**アドレス帳**にタッチします。

2 **新規登録**にタッチします。

3 名前の空白部分にタッチします。

4 文字を入力します。

5 入力が終了したら**完了**にタッチします。

6 同様の操作でアドレスを入力します。

7 入力が終了したら**完了**にタッチします。

●入力したアドレスが登録されます。



4.iモードの操作

アドレスを修正する

- 1 修正したいアドレスを表示します。
- 2 修正する部分（名前またはアドレス）にタッチします。



- 3 文字を入力します。
- 4 入力が終了したら **完了** にタッチします。



- 5 修正が終了したら **完了** にタッチします。



アドレスを削除する

- 1 削除したいアドレスを表示します。
- 2 **削除** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。



キャンセル …元の画面を表示します。

削除 …表示しているアドレスを削除します。

文字の入力は247ページのワンポイントを参照してください。

メッセージの表示

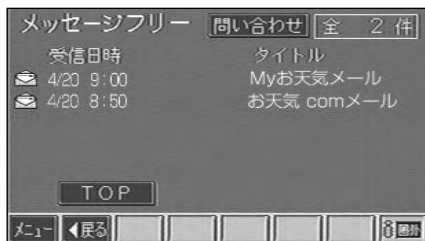
メッセージサービスによって送信されるメッセージを表示します。

1 iモードメニュー画面で、**メール・メッセージ**にタッチします。

2 **メッセージリクエスト**または**メッセージフリー**にタッチします。

●受信しているメッセージがリスト表示されます。

3 表示したいメッセージにタッチします。



●サイトから情報を入手するサービスにはメッセージサービスがあり、メッセージサービスは2種類あります。

- ・メッセージ [R] (リクエスト) ……サイトと契約することで、必要なメッセージを自動で受信できます。
- ・メッセージ [F] (フリー) ……サイトとの契約が不要な無料のメッセージを受信できます。

●ナビゲーション本体で受信（保存）できるメール・メッセージは最大20件です。メール・メッセージの受信（保存）合計件数が20件のとき、さらにメール・メッセージを受信する場合は、不要なメール・メッセージを削除してから受信してください。

問い合わせ ……iモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせします。

TOP ……一番最初のリストを表示します。

前へ **次へ** ……1画面におさまりきらないアドレスのリストをスクロールして表示することができます。

メール・メッセージ問い合わせ ……iモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせします。

メール ……受信済みのメールの表示やメールの新規作成、送信などを行います。（243ページ参照）

4.iモードの操作

- メッセージが表示されます。



インターネットの接続

「iモード」を使ってインターネットへ接続し、ホームページを表示します。

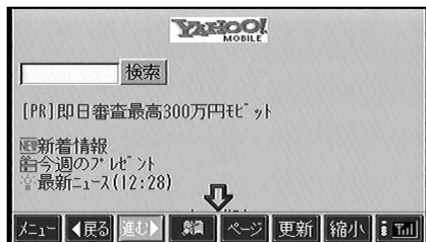
- 1 iモードメニュー画面で、**Internet** にタッチします。



- 2 表示したいホームページのアドレスを入力します。

- 3 入力が終了したら**完了**にタッチします。

- ホームページが表示されます。



- ナビゲーション本体で一度受信したメール・メッセージは、携帯電話で再び受信または表示することはできません。携帯電話でメール・メッセージを表示したい場合は、ブラウザの設定画面（257ページ参照）で「メール・メッセージの受信」を「しない」に設定してください。
- ブックマークまたは履歴が登録されている場合、**Bookmark**または**履歴**にタッチした後、希望のサイト名をタッチしてもサイトへ接続することができます。
- 文字の入力は247ページのワンポイントを参照してください。

ブラウザ設定 (iモード専用)

iモード画面の表示などの設定を行います。

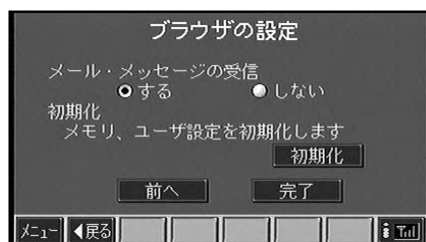
1 iモードメニュー画面で、**ブラウザ設定** にタッチします。

●ブラウザの設定画面が表示されます。

2 設定する項目の左にある○にタッチします。

3 設定が終了したら **次へ** にタッチします。

4 すべての設定が終了したら **完了** にタッチします。



「表示」……………情報を受信するときに「画像+文字」または「文字のみ」を設定することができます。(画像のデータ量が多い場合、受信に時間がかかるため、文字データのみ受信して通信時間を短縮することができます)

「配色」……………文字と背景色のコントラストが弱いページで、配色設定を変えて文字を読みやすくします。

「文字コード」……受信した文字のデータを表示するときの設定をします。(通常は「自動」を選択していれば正しく表示されます)

「メール・メッセージの受信」……iモードメール、メッセージを受信します。(本機でiモードメール、メッセージを受信すると受信したiモードメール、メッセージを携帯電話で見ることができません。携帯電話でiモードメール、メッセージを見るときは本項目を「しない」に設定してください)

「初期化」……………**初期化** をタッチすると、「iモード」で登録されているメモリや設定を初期状態に戻します。

5.ハンズフリー機能の操作

ハンズフリーの概要

ハンズフリーとは音声認識のマイクとナビゲーション画面（一部、音声認識スイッチ）を操作することにより、携帯電話を持たなくても通話することができる機能です。

- 1 インフォメーション（情報）画面で **TEL** にタッチします。



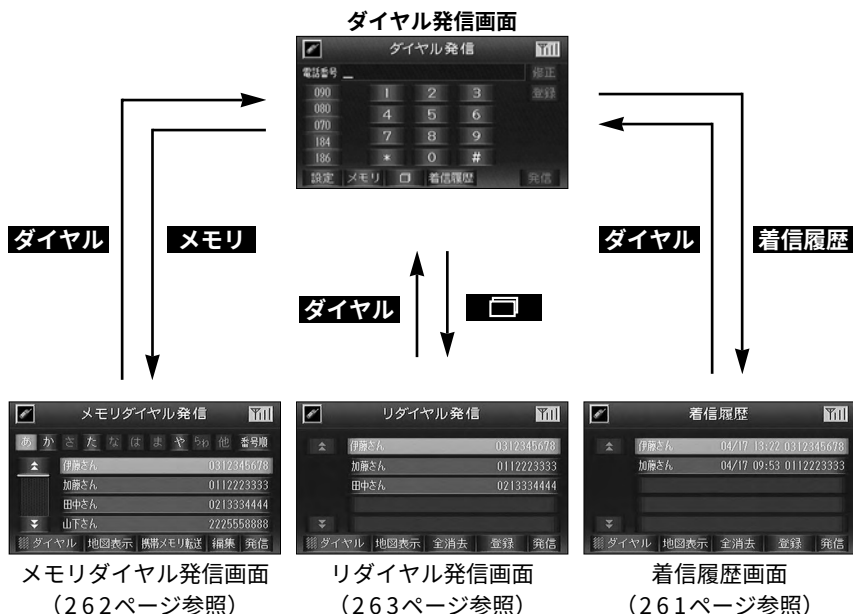
- ダイヤル発信画面が表示されます。



- ハンズフリー通話時・音声認識時にエアコンをご使用になる場合、エアコンの送風量を少なめにし、吹出口をマイクに向けないでください。
- 電話を使用するときは車を安全な場所へ停車させて使用してください。
- ハンズフリー通話は、通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえなくなることがありますが、故障ではありません。
- ハンズフリー通話時、受話音量と着信音量はできる限り小さく調整してください。（264ページ参照）また、送話音（こちらの声）はマイクに向かってできる限り大きくお話しください。
- 携帯電話本体にて、ハンズフリー通話音量が調整できる携帯電話を使用される場合、携帯電話本体にて適切な音量を設定してください。
- 通話中以外（呼出中、着信中など）に携帯電話を接続したときの動作は機種によって異なります。正しく動作しない場合は、携帯電話の終了キーを押すと直ることがあります。
- 割込通話（キャッチホン）や三者通話をご契約いただいている場合は、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- 本機には、音声メモの機能はありません。
- ダイヤル発信画面は下記の方法でも表示させることができます。
 - ・音声認識スイッチを押した後、「電話をかける」と発声します。
 - ・音声認識スイッチを長く押します。

操作画面の概要

ハンズフリーでは4種類の画面から発信をすることができます。



5.ハンズフリー機能の操作

電話をかける

番号を入力して電話をかける

- 1 ダイヤル発信画面で電話番号を入力します。
●数字にタッチすると番号が入力できます。
- 2 電話番号の入力が終了したら **発信** にタッチします。
- 3 相手が出たらハンズフリーで通話します。
- 4 通話が終了したら **切る** にタッチします。



090 **080** **070** **184** **186**

……………スイッチに記載されている番号を入力します。

設定 ……………ハンズフリーの各種設定をします。(268ページ参照)

メモリ ……………メモリダイヤル発信画面を表示します。(262ページ参照)

リダイヤル ……………リダイヤル発信画面を表示します。(263ページ参照)

着信履歴 ……………着信履歴画面を表示します。(261ページ参照)

修正 ……………入力した番号を1番号ずつ消去します。

登録 ……………表示されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。(264ページ参照)

- 携帯電話のバッテリーが切れているときなどに接続していると、「電話機をご確認ください。」が表示されずに通話画面になることがあります。

10キー ……………ダイヤルトーンを送出します。(留守番電話の暗証番号などに使用します)

◀ ……………受話音量を小さくします。

▶ ……………受話音量を大きくします。

ミュートON ……………タッチすると通話相手にこちらの声が聞こえなくなり、スイッチ表示は **ミュートOFF** になります。

ミュートOFF ……………タッチすると消去した音量を消去前の音量に戻し、スイッチ表示は **ミュートON** になります。

登録 ……………表示されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

切る ……………電話を切ります。

- 音声認識スイッチを押しても電話が切れます。

着信履歴から電話をかける

- 1 ダイヤル発信画面で **着信履歴** にタッチします。



- 2 電話をかけたい相手の番号にタッチします。

- 3 **発信** にタッチします。

- 4 相手がでたらハンズフリーで通話します。

- 5 通話が終了したら **切る** にタッチします。



ダイヤル ……ダイヤル発信画面を表示します。(258ページ参照)

地図表示 ……選択されている電話番号の地図を表示します。地図の情報が登録されていない電話番号は地図を表示できません。

全消去 ……着信履歴の電話番号をすべて消去します。

登録 ……選択されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

- 音声認識スイッチを押しても電話が切れます。
- 通話中の画面に表示されるスイッチの操作は前ページのワンポイントを参照してください。

5.ハンズフリー機能の操作

メモリダイヤルから電話をかける

登録した電話番号から選択し、電話をかけます。

- 1 ダイヤル発信画面で **メモリ** にタッチします。
- 2 メモリダイヤル発信画面で電話をかけたい相手の電話番号にタッチします。
- 3 **発信** にタッチします。
- 4 相手がでたらハンズフリーで通話します。
- 5 通話が終了したら **切る** にタッチします。



ダイヤル ……ダイヤル発信画面を表示します。(258ページ参照)

地図表示 ……選択されている電話番号の地図を表示します。地図の情報が登録されていない電話番号は地図を表示できません。

携帯メモリ転送 ……携帯電話に登録されている電話番号を登録します。

(266ページ参照)

編集 ……メモリダイヤルを編集します。(267ページ参照)

▲ ▼ ……画面におさまりきらない電話番号をスクロールして表示します。

番号順 ……リストがメモリNo.順に並び、スイッチ表示が **50音順** になります。

50音順 ……リストが50音順に並び、スイッチ表示が **番号順** になります。

- 登録されている名前の行 (**あ**~**他**) をタッチすると早く検索することができます。
- 音声認識スイッチを押しても電話が切れます。
- 携帯電話のバッテリーが切れているときなどに接続していると、「電話機をご確認ください。」が表示されずに通話画面になることがあります。
- 通話中の画面に表示されるスイッチの操作は264ページのワンポイントを参照してください。

リダイヤルから電話をかける

前回電話をかけた電話番号（最大10件）から選択し、電話をかけます。

- 1 ダイヤル発信画面で  にタッチします。
- 2 リダイヤル発信画面で電話をかけたい相手の電話番号にタッチします。
- 3 **発信** にタッチします。
- 4 相手が出たらハンズフリーで通話します。
- 5 通話が終了したら **切る** にタッチします。



ダイヤル ……ダイヤル発信画面を表示します。（258ページ参照）

地図表示 ……選択されている電話番号の地図を表示します。地図の情報が登録されていない電話番号は地図を表示できません。

全消去 ……リダイヤルの電話番号をすべて消去します。

登録 ……選択されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

●音声認識スイッチを押しても電話が切れます。

●通話中の画面に表示されるスイッチの操作は264ページのワンポイントを参照してください。

電話を受ける

- 1 着信中に音声認識スイッチを押します。



取る ……電話を受けられます。

登録 ……着信中の電話番号をメモリダイヤルに登録します。

保留 ……電話を保留します。



※トークスイッチ（音声認識スイッチ）

5.ハンズフリー機能の操作

- 2 ハンズフリーで通話します。
- 3 通話中に音声認識スイッチを押すと通話を切断します。



10キー ……ダイヤルトーンを送出します。(留守番電話の暗証番号入力などに使用します)

◀ ……受話音量を大きくします。

▶ ……受話音量を小さくします。

ミュートON ……タッチすると通信相手にこちらの声が聞こえなくなり、スイッチ表示は **ミュートOFF** になります。

ミュートOFF ……タッチすると消去した音量を消去前の音量に戻し、スイッチ表示は **ミュートON** になります。

登録 ……表示されている電話番号をメモリダイヤルに登録します。

切る ……電話を切ります。

電話番号の登録

電話番号を登録しておくともメモリダイヤルから番号を選択し、電話をかけることができます。(262ページ参照)

ダイヤル発信画面から登録する

- 1 ダイヤル発信画面で番号を入力します。
- 2 **登録** にタッチします。



メモリダイヤル発信画面から登録する

- 1 メモリダイヤル発信画面で **編集** にタッチします。



- 2 **追加** にタッチします。



- 3 登録する相手の名前を入力します。

- 文字の入力方法はメモリ地点の名称入力方法と同じです。(137ページ参照)



- 4 名前の読みを入力します。

- 文字の入力方法はメモリ地点の名称読み入力方法と同じです。(139ページ参照)



- 5 電話番号を入力します。

- 携帯電話などの電話番号は **090**、**080** または **070** にタッチすると先頭の3桁をワンタッチで入力することができます。

- 6 **完了** にタッチします。

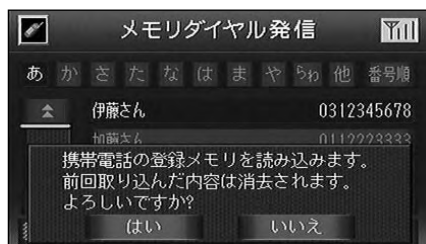


5.ハンズフリー機能の操作

携帯電話の登録メモリを登録する

携帯電話に登録されている電話番号（携帯電話の登録メモリ）をナビゲーションへ転送します。

- 1 メモリダイヤル発信画面で
携帯メモリ転送にタッチします。
- 2 **はい**にタッチします。
- **いいえ**にタッチすると元の画面に戻ります。
- 電話番号が転送され、終了するとメモリダイヤル発信画面を表示します。



- 電話番号を転送すると前回ナビゲーションに登録した携帯電話の登録メモリは消去されます。
- 携帯電話の登録メモリの転送は、設定画面からも行うことができます。（268ページ参照）
- 画面から登録した電話番号は、メモリNo.500～599に登録されます。
- 携帯電話から転送した登録メモリは、メモリNo.0～499に登録されます。
- 修理などで、バッテリーがはずれると、メモリダイヤルが消去されます。

メモリダイヤルの変更・削除

メモリダイヤルに登録（264ページ参照）されている電話番号を変更・削除します。

メモリダイヤルを変更する

- 1 メモリダイヤル発信画面で **編集** にタッチします。
- 2 変更する電話番号にタッチします。
- 3 **変更** にタッチします。



- 4 修正・入力する項目の右側にある **変更** にタッチします。

●修正・入力方法はメモリ地点の修正・入力方法と同じです。

- ・名称（137ページ参照）
- ・電話番号（136ページ参照）
- ・名称読み（139ページ参照）



メモリダイヤルを削除する

- 1 メモリダイヤル発信画面で **編集** にタッチします。
- 2 削除する電話番号にタッチします。
- 3 **削除** にタッチします。



- 4 **はい** にタッチします。

●**いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。



- 携帯電話から転送した電話番号の場合、内部メモリに移しかえてから保存・変更が可能になります。
- 名称の読みを登録しておくと、音声操作で電話をかけることができます。（208ページ参照）

5.ハンズフリー機能の操作

設定

電話番号の転送や電話番号の消去をします。

電話番号を転送する

携帯電話に登録されている電話番号（携帯電話の登録メモリ）をナビゲーションへ転送します。

- 1 ダイヤル発信画面で **設定** にタッチします。

●設定画面が表示されます。

- 2 **転送** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。

●転送が開始されます。

- **いいえ** にタッチすると元の画面に戻ります。



登録されている電話番号を消去する

- 1 ダイヤル発信画面で **設定** にタッチします。

●設定画面が表示されます。

- 2 **初期化** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。

●メモリダイヤルをすべて消去します。



●携帯電話の登録メモリの転送は、メモリダイヤル発信画面からも行うことができます。（266ページ参照）

●電話番号を転送すると前回ナビゲーションに登録した携帯電話の登録メモリは消去されます。

6. ヘルプネットの操作

ここでは、『ヘルプネット』を使用する上で「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」と、その回避方法を記載しています。これらは安全のために重要ですので必ず読んで遵守してください。



●安全運転を心がけてください。

ヘルプネットは、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護や事故防止の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。

●事故発生時は人命救助を最優先にしてください。

事故が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。

●ヘルプネットは事故発生時、衝撃などによって、作動しなくなる場合があります。このような場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

●ヘルプネットはエアバッグと連動していないため、事故発生時、エアバッグが作動しても通報されません。このような場合には **HELPNET** (緊急通報ボタン) による緊急通報をしてください。(276ページ参照)

●携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、事故発生時にヘルプネットオペレーションセンターと回線接続してもヘルプネットオペレーションセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

●以下の場合、緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- ・携帯電話サービスエリア外でご使用の場合 **HELPNET** によって、緊急通報動作が開始されても、緊急通報はできません
- ・携帯電話が接続されていない場合
- ・携帯電話の電源が入っていない、または、バッテリーがない場合
- ・携帯電話が本システムに適合していない場合
- ・携帯電話の料金を滞納している場合
- ・機器（本機、携帯電話回線に接続する機器、アンテナおよび、これらを接続する電気配線）に異常または損傷がある場合
- ・ヘルプネット未契約または、契約期限が切れている場合

●ヘルプネットは、衝撃を受け、機器（本機、携帯電話回線に接続する機器、アンテナおよび、これらを接続する電気配線）に異常または損傷がある場合、緊急通報および通話できないことがあります。

緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

●バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットオペレーションセンターと通信できない場合があります。

●事故発生により燃料の匂いや異臭を感じる時は車内にとどまらずに、直ちに安全な場所に避難してください。

6. ヘルプネットの操作



- 緊急通報後に救援を待つあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で安全な場所を確保してください。状況によっては、携帯電話をホルダーから取りはずして身に付けてお持ちください。また、携帯電話を取りはずした際に、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットのオペレーターからの着信をお待ちください。
- 安全のため、走行中は **HELPNET** による緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。 **HELPNET** による緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。（276ページ参照）
- 以下の電話機能を利用しますと緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなりますので、これらの電話機能は利用しないでください。
 - ・ダイヤルロック
 - ・D（ドライブ）モード
 - ・留守番電話
 - ・キャッチホン
 - ・着信転送
 - ・セレクション
 - ・その他、発信および着信を制限する機能または禁止する機能（前ページ参照）
- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると故障の原因となります。万一、不具合などがある場合には、すぐにお買い上げの販売店に相談してください。
- ヘルプネットサービスの契約期間が終了している場合は、緊急通報ができません。ヘルプネットサービスを継続してご利用になる場合には、契約更新の手続きをしてください。
契約期間が終了している場合、機器が故障している場合は緊急通報できません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットオペレーションセンターへの回線接続を繰り返し行いますが、電波状態等の理由で回線接続ができない場合には、「緊急通報できませんでした。電話機の状態をご確認の上、再度通報してください」という音声案内が流れ、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。



- 会員登録時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあります。会員登録を行う際の手動保守点検時に、本機が、正常に動作しない、または **HELPNET** の表示が正常に行われない場合には、お買い上げの販売店に相談してください。（286ページ参照）
- 下記の温度範囲以外では緊急通報、電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
動作温度範囲：-20℃～+60℃
- 電話料金を滞納している場合には緊急通報できません。
電話料金の滞納にはくれぐれも注意してください。



- 事故発生時、火災発生などの危険がある場合および、車外に避難するときはパーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチをLOCKにしてください。緊急通報開始後であれば、20分間動作し続けます。
- 実際の事故発生地点とセンターに通報される位置には多少の誤差が発生することがあります。事故発生地点や目標物についてはヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 手動保守点検は、正確に位置情報を送れることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場等の屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしの良い場所で行ってください。(20ページ参照)
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたは音声認識マイクに故障不具合などがありますと、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは必ず、お買い上げの販売店に相談してください。
- 本機の取りはずしを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取りはずしが必要な場合には、お買い上げの販売店に相談してください。
- 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店に相談してください。
- ヒューズ交換は必ず表示された規格のヒューズを使用してください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因になります。
- バッテリーをはずした場合、ヘルプネット機能のプログラムは消去されます。再びヘルプネット機能を使用する場合は、地図ディスクを挿入し、再度、プログラムを読み込んでください。
- HELPNET** による緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- HELPNET** は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、解約時の処理を行っていない中古車などに搭載された本機を使用する場合は、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。



- 会員登録を解約するときの手動保守点検後、**HELPNET** が消灯しない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
- 誤通報やいたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に關しての請求や関連法規により処罰されることがあります。誤通報または、いたずらをしないようにしてください。
- 本機のGPSから位置情報を取得しております。GPSについての解説は、20ページを参照してください。

6.ヘルプネットの操作

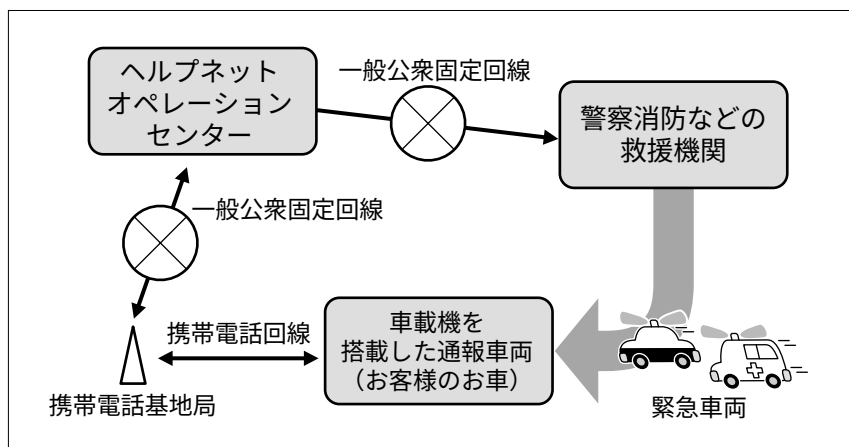
ヘルプネットとは

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、手動操作でヘルプネットオペレーションセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。

エンジンスイッチがACCまたはONの位置にあるときに作動します。ヘルプネットオペレーションセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から事故や負傷状態などを確認して、警察、もしくは消防にオペレーターが事故の状況を通報します。

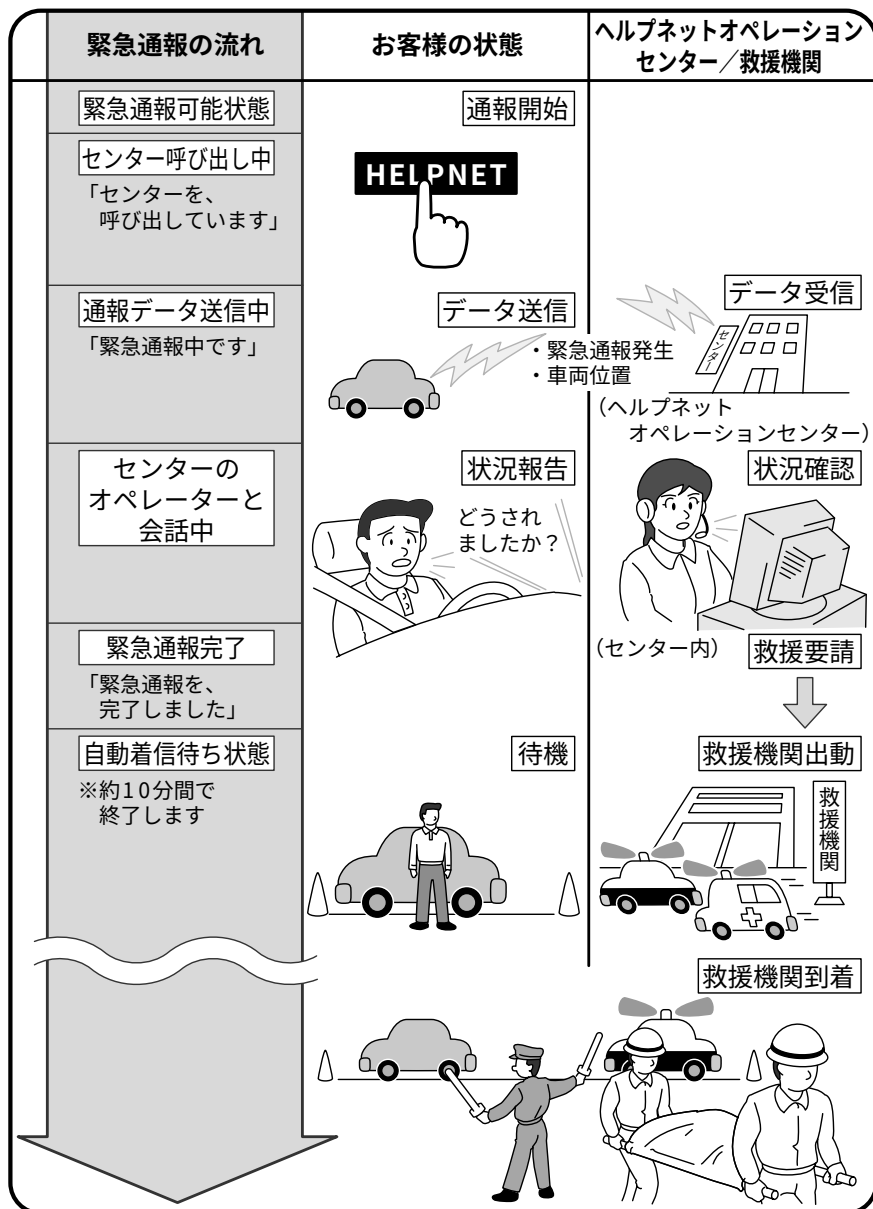
緊急通報

乗員が**HELPNET**を操作することにより、お客様のお車に搭載された車載機が、ヘルプネットオペレーションセンターに通報します。本機はヘルプネットワンタッチタイプの車載機です。



※ヘルプネットは(株)日本緊急通報サービスの商標です。

緊急通報の主な流れ



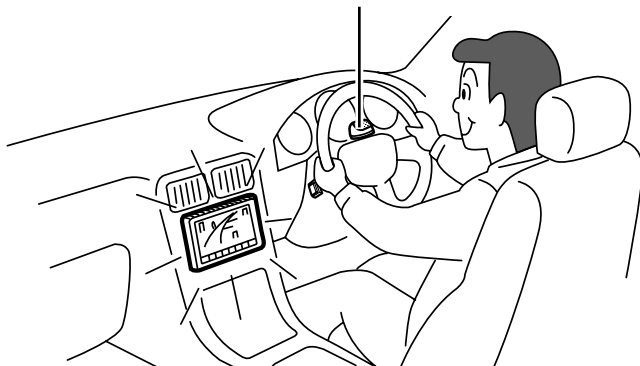
6. ヘルプネットの操作

各部の名称とはたらき

マイク

HELPNET による緊急通報中のハンズフリー通話時、また手動保守点検時に、自分の声をヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターに伝えます。

マイク



- 本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機には液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本機が故障したときは必ず、お買い上げの販売店に相談してください。

- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合などがありますと、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは必ず、お買い上げの販売店に相談してください。

会員登録するとき

(株) 日本緊急通報サービスとの会員契約成立後、手動保守点検（281ページ参照）を行い、以下の点を確認してください。

本確認が行われないとヘルプネットサービスの提供ができないので必ず実施してください。なお、可能な限り見晴らしの良い場所で行うようにしてください。（ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください）

〈本機が正常動作することを確認してください〉

- ・手動保守点検で通信が正常に始まることを確認してください。
- ・音声通話ができることを確認してください。
- ・通報位置が正しいことをヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターとの音声通話で確認してください。



●本機が正常動作しない場合(発呼しない、通報位置とセンターでの位置表示が間違っている、音声通話できない)、緊急時にセンターへ正しい情報が伝わらず救援困難となる可能性があります。

●手動保守点検後、**HELPNET**が点灯しない場合、緊急通報は動作しません。

●本機が正常動作しない場合や手動保守点検後、**HELPNET**が点灯しない場合、**HELPNET**は点灯したが音声通話できない場合は販売店に相談してください。

●携帯電話は、指定にしたがった携帯電話を接続してください。

指定外の携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないだけでなく、携帯電話本体の破損など故障の原因になる場合があります。

●本機に携帯電話を接続する際に、必ず携帯電話のバッテリー残量を確認してください。携帯電話のバッテリーが空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報は動作しません。本機には携帯電話の充電機能はありません。

●手動保守点検中は電話の使用ができなくなるため、電話を使用する動作はできなくなります。この場合、手動保守点検が終了してから操作してください。

●携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチONで表示部の照明がついたままになることがあります。この場合は携帯電話の照明をOFFに設定してください。

(設定については携帯電話の取扱説明書を参照してください)

●携帯電話の下記機能を解除してください。(設定の解除については携帯電話の取扱説明書を参照してください)

(1) パケット通信モード (cdmaOneのみ)

(2) ダイヤルロック

(3) ダイヤル発信禁止

(4) ドライブモード／マナーモード

(5) メモリ着信拒否、メモリ着信許可

(6) 着信転送

(7) 留守番電話

(8) 発信者電話番号非通知

※(1)～(3)を解除しないと、センターに電話できないため、緊急通報は動作しません。

(4)～(8)を解除しないと、センターや救援先からの呼び返し*1ができず、救援困難となる可能性があります。

その他にも、各通信事業者が独自に設定している付加サービス(セレクションなど)によってはサービスを受けていると緊急通報システムが正常に動作しない場合があります。

●携帯電話接続ケーブルと携帯電話が正しく接続されていることを確認してください。

正しく接続されていないと、緊急通報は動作しません。

また正しく装着されていない場合、走行中の振動や衝撃でも携帯電話が接続ケーブルからはずされ、車両の安全な運行に支障をきたすだけでなく、緊急時にサービスが利用できなくなることがあります。

*1：緊急通報中に通話が切断了た場合のヘルプネットオペレーションセンターや救援先から緊急通報ユーザへのコールバック

6.ヘルプネットの操作



- 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- 会員登録時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあります。会員登録を行う際の手動保守点検時に本機が正常に動作しない、または**HELPNET**の表示が正常に行われない場合には、お買い上げの販売店に相談してください。
- 手動保守点検は正確に位置情報を送れることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしの良い場所で行ってください。

会員登録を解約するとき

会員から退会申し込み後、(株)日本緊急通報サービスから退会通知、もしくは契約解除通知を受領したら、手動保守点検（281ページ参照）を行い、本機を緊急通報不可状態にしてください。

<**HELPNET**の色が反転していることを確認してください>

手動保守点検後、インフォメーション（情報）画面の**HELPNET**の色が反転していることを確認してください。



- 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検で行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- 手動保守点検中は電話の使用ができなくなるため、電話を使用する動作（電話をかけたり、インターネットなどの通話をする）はできなくなります。この場合、手動保守点検が終了してから操作してください。
- 契約解除通知を受領した後、手動保守点検をしてもインフォメーション（情報）画面の**HELPNET**の色が反転しない場合、販売店に相談してください。

通報するとき

エンジンスイッチがACCまたはONのとき、本機のタッチスイッチの操作により緊急通報を開始します。

1

インフォメーション（情報）画面で
HELPNETにタッチします。



- ヘルプネットへの接続が開始されます。



- ヘルプネットオペレーションセンターに接続されると、データ通信が行われます。

- データ通信によって車両の現在地や手動による通報であることなどの情報が確認されます。



- データ通信完了後、通話モードになります。
- 通話画面が表示されます。



- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、事故発生時にヘルプネットオペレーションセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報時は、ヘルプネットオペレーションセンターへの回線接続を繰り返し行います。しかし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、「緊急通報できませんでした。電話機の状態をご確認の上、再度通報してください」という音声案内が流れ、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。



- 携帯電話を接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。
- パケット通信をご利用の方は、パケット通信モードを解除してください。（解除の方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください）

6. ヘルプネットの操作

2

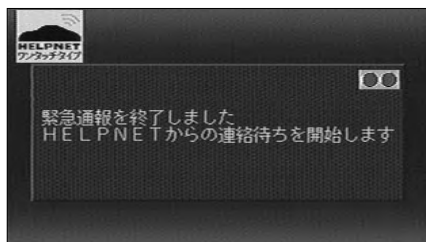
音声認識マイクに向かってヘルプネットのオペレーターに状況やけがの状態、警察もしくは消防などへの通報の要・不要を伝えます。

- 警察あるいは消防への通報が必要なときは、ヘルプネットオペレーションセンターが、警察あるいは消防に状況を通報します。

- 通話が終了すると、ヘルプネットオペレーションセンターが、電話回線の切断を行います。



- 電話回線が切断されると、「緊急通報を終了しました。ヘルプネットからの連絡待ちを開始します」という音声案内が流れます。



- 通話後約10分間は、ヘルプネットオペレーションセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、自動着信待ち状態となります。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。



状況によっては、携帯電話を接続ケーブルから取りはずして身に付けてお持ちください。また、携帯電話を取りはずした際に、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットのオペレーターからの着信をお待ちください。



- 通話音量はハンズフリー使用時と同じ音量になります。音量の変更は260ページのワンポイントを参照してください。
- HELPMET**による緊急通報時には、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターは通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
- 自動着信待ち状態中は、緊急通報に関係のない電話も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる電話であっても、着信できません。
- 自動着信待ち状態で電話がかかってくると、さらに約10分間、自動着信待ち状態が延長されます。

- 自動着信待ち状態が終了すると、現在地画面が表示されます。



- 誤操作などでヘルプネットオペレーションセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断される場合があります。
- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わりましたら、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 以下の場合は、オーディオの音量が自動的にミュート（消音）されます。
 - ・ハンズフリー通話中
 - ・緊急通報時の音声案内中
- 緊急通報中は一般電話は使用できません。
- 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検または電話などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- HELPNET** は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、解約時の処理を行っていない中古車などに搭載された車載機を使用する場合に、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

6. ヘルプネットの操作

システムの点検

自動保守点検

ヘルプネットオペレーションセンターが会員登録されているか否かの確認をするために、本機は定期的に車載機の保守点検を自動的に実施します。

ヘルプネットは、常に正しく機能できるように（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに、ヘルプネットオペレーションセンターとの通信テスト、システムの自動保守点検およびヘルプネットサービス契約の確認を自動的に行います。

この自動保守点検のための操作は特に必要ありませんが、以下の要領で行われます。

〈点検時期〉

（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。

〈点検時間〉

自動保守点検は開始後、2～3分で終了します。



注意

- 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- 自動保守点検中は電話の使用ができなくなるため、電話を使用する操作（電話をかける）はできなくなります。この場合、自動保守点検が終了してから操作してください。



ワンポイント

自動保守点検開始後何らかの理由で、通信が中断されてしまった場合は、約10分の間隔を置いて再び自動保守点検を開始します。

手動保守点検

本機の保守点検（本機修理点検や車両修理後の保守点検）とセンターに会員登録されているか否かの確認（加入時、解約時、契約内容変更時）を行い、緊急通報発呼可能／不可能状態の切り替えを行う場合に必要な操作です。

- 1 現在地画面でGPSの受信を確認します。

GPSマーク



- 3 **保守点検** を約10秒以上、長くタッチします。



- 2 インフォメーション（情報）画面で**メンテナンス**にタッチします。



- 携帯電話を接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。
- パケット通信をご利用の方は、パケット通信モードを解除してください。（解除の方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください）



初期状態では、**HELPNET**は色が反転しています。ヘルプネットセンターに会員登録されていれば、手動保守点検終了後に**HELPNET**のスイッチが有効になります。

6. ヘルプネットの操作

- ヘルプネットへの接続が開始されます。



- ヘルプネットオペレーションセンターに接続されると、データ通信が行われます。
- 車両の現在地や手動保守点検をしていること、ヘルプネットオペレーションセンターに会員登録されているかなどの情報が確認されます。



- データ通信完了後、通話モードになります。
- 通話画面が表示されます。



- 4 マイクに向かってヘルプネットオペレーションセンターと通話します。



- 会話の終了後に、点検を終了します。
- 通話が終了すると、手動保守点検が終了します。



- 現在のシステム状態を表示します。
- しばらくすると、現在地画面が表示されます。





- 手動保守点検は正確に位置情報を送れることを確認しています。
手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしの良い場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットオペレーションセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度LOCKに戻し、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、お買い上げの販売店に相談してください。
- 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。
- 自動保守点検および手動保守点検中は、電話の使用ができなくなるため、電話を使用する操作はできなくなります。この場合、自動保守点検が終了してから操作してください。

6.ヘルプネットの操作

一般電話を使うとき

〈一般電話で利用可能な電話機能および回線サービス（NTTドコモ）〉

NTTドコモとご契約のお客様は、以下（×印）の電話機能および回線サービスは緊急通報の妨げとなりますので、絶対にご使用にならないでください。

機能名／サービス名		利用
電話機能	リダイヤル	○
	電話番号表示	○
	禁止動作設定	○
	メモリ指定発信制限	○
	メモリ指定着信拒否	○
	メモリ指定着信許可	○
	発信者番号通知	○
	不在着信通知機能	○
	ハンズフリー切替	○
	設定状況確認	○
	設定リセット	○
	暗証番号の登録・変更	○
	ボタン確認音ON/OFF	○
	応答保留	○
	エニーキー応答保留	○
	エニーキーアンサ機能	○
	シークレットモード	○
	通話中時間表示	○
	着信音量調節	○
	メモリ指定着信音変更	○
	積算時間・料金リセット	○
	積算料金表示	○
	通話料金表示	○
	積算時間表示	○
	通話時間表示	○
	照明	○
	通話品質アラーム音の設定	○
	ノイズキャンセラ設定	○
機能名／サービス名		利用
電話機能	再接続機能	○
	ヘルプ機能	○
	プッシュ信号送出	○
	メモリダイヤル	○
	上位桁表示	○
	音声メモ	○
	ミュート機能	○
	受信音量調節	○
	短縮ダイヤル機能	○
	ワンタッチダイヤル	○
	FAXモード設定	×
	MNPモード設定	×
	ADPモード設定	×
	簡易ダイヤルロック	×
回線サービス	D（ドライブ）モード	×
	着信番号識別機能	×
	着信転送	×
	サービス確認	○
	度数表示サービス	○
	ブースタ接続サービス	×
	ダイレクトナンバー	×
	留守番電話サービス	×
	ショートメールサービス	×
	キャッチホンサービス	×
	転送でんわサービス	×
	三者通話サービス	×
	セレクフォン	×

○：利用できます

×：利用しないでください

発信および着信を制限する機能または禁止する機能は上記の表に関わらずご使用にならないでください。

〈一般電話で利用可能な電話機能および回線サービス（au）〉

auとご契約のお客様は、以下（×印）の電話機能および回線サービスは緊急通報の妨げとなりますので、絶対にご使用にならないでください。

機能名／サービス名		利用
電話機能	リダイヤル	○
	電話番号表示	○
	禁止動作設定	○
	メモリ指定発信制限	○
	メモリ指定着信拒否	○
	メモリ指定着信許可	○
	発信者番号通知	○
	不在着信表示	○
	ハンズフリー切替	○
	設定状況確認	○
	設定リセット	○
	シークレット№変更	○
	ボタン確認音設定	○
	応答保留	○
	エニーキー応答保留	○
	エニーキーアンサ	○
	シークレットモード	○
	通話経過時間表示	○
	着信音量調節	○
	通話料金目安表示	○
回線サービス	累積通話料金目安表示	○
	累積通話時間目安表示	○
	累積通話時間 ／累積通話料金リセット	○
	通話時間目安表示	○
	ディスプレイ照明	○
	通話品質アラーム設定	○
	ノイズキャンセラ設定	○
	ヘルプ	○
	プッシュトーン送出	○
	メモリダイヤル	○
電話機能	上位桁表示	○
	音声メモ	○
	ミュート機能	○
	受話音量調節	○
	ワンタッチダイヤル	○
	FAX通信モード設定	×
	データ2400通信モード設定	×
	データ9600通信モード設定	×
	ダイヤルロック	×
	発信者番号表示	○
回線サービス	ローミングサービス	※1
	お留守番サービス	×
	プチメール	×
	割込通話	×
	着信転送	×

○：利用できます

×：利用しないでください

※1：auでご契約の場合、NTTドコモのローミングサービスに加入してもご利用できません。

発信および着信を制限する機能または禁止する機能は上記の表に関わらずご使用にならないでください。

➡ 次ページに続く

6. ヘルプネットの操作



緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。

以下の電話機能を利用しますと緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなりますので、これらの機能は使用しないでください。

- ・ダイヤルロック
- ・D（ドライブ）モード
- ・留守番電話
- ・キャッチホン
- ・着信転送
- ・セレクフォン
- ・その他、発信および着信を制限する機能または禁止する機能



一般電話はヘルプネットの通信機能を使用しています。

この通信機能は緊急通報、自動保守点検、および手動保守点検に使用しています。このため以下のような場合は一般電話は使用できません。

- 一般電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始された場合には一般電話の使用を中止します。
- 緊急通報中は、一般電話は使用できません。
- 自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、一般電話は使用できません。

ヘルプネットの緊急通報ができない場合について

下記のような場合には、ヘルプネットサービスが提供できないまたは、ヘルプネットサービスの質が低下することがあります。

<契約の不成立または消滅>

契約の不成立または消滅

- 契約が締結できない場合
 - ・会費支払いに使用するクレジットの信用調査において欠格
- 以下の理由などにより、契約の解除が実施された場合
 - ・申込時の虚偽申告の判明
 - ・会員規約の違反
 - ・サービスの不当利用
 - ・会費の不払い など
- 契約が終了した場合
 - ・契約者からの解約申請が行われ、解約手続きが完了した場合

<車載機または車両関連機器の異常による通信不能>

- 車載機（本機、携帯電話機、音声認識スイッチ、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障・不具合
- バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・不具合
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

＜緊急通報センターシステムの位置評定エラー＞

- GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きい場合、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きい場合など、位置評定が正常に行われない、または誤差が大きい場合

＜ヘルプネットオペレーションセンターシステムの異常による通信不能＞

- ヘルプネットオペレーションセンターシステムの故障・不具合など
- ヘルプネットオペレーションセンターの火災などによる、ヘルプネットオペレーションセンターシステムの損傷

＜ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能＞

- 本サービスに使用する携帯電話のサービス提供圏外に、“登録車両”が位置する場合
- 携帯電話のサービス提供圏内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合
- 携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果としてヘルプネットによる通信ができない場合
- 通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができない場合
- 本サービスに使用する携帯電話または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止された場合

＜緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止＞

- ヘルプネットオペレーションセンターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がヘルプネットオペレーションセンターに集中した場合

＜その他＞

- 接続した携帯電話が利用料不払いなどで発信できない場合
- 手動通報で、ヘルプネットオペレーションセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無くヘルプネットオペレーションセンターとして状況把握ができない場合（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われた など）



携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は事故発生時にヘルプネットオペレーションセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

6. ヘルプネットの操作

廃車／転売について

本機をお譲りになる場合は、必ずお買い上げの販売店に連絡して必要な手続きを行ってください。



- 本機をお譲りになった後でも、契約者の責任においてヘルプネットの解約などの申請がない限り、ヘルプネットの諸費用が請求されます。本機をお譲りになる場合は必ず、解約手続きを行ってください。
- 本機を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。

7.ETCの操作

別売のナビゲーション対応ETCユニット(専用品)を接続した場合に表示・操作できます。
ナビゲーション対応ETCユニットについては本機をお買い上げいただいた販売店にてご確認ください。



- ETC車載器は外国為替および外国貿易管理法に定める規制貨物に該当しますので、輸出する場合には同法に基づく輸出許可が必要です。
- ETC車載器は電波法の基準に適合しています。製品に貼り付けられているシールはその証明ですのではさないでください。また、製品を分解、改造されると法律により、罰せられることがあります。
- ETC車載器の電源コードを傷付けないでください。ETC車載器が故障するおそれがあります。
- ETC車載器の内部に異物などを入れないでください。ETC車載器が故障するおそれがあります。
- ETC車載器に衝撃を与えないでください。ETC車載器が故障、破損するおそれがあります。また、取り付け角度がずれて路側無線装置と通信ができなくなる場合があります。
- ETC車載器の取り付け角度は取付店で取り付けた角度から変えないでください。路側無線装置と通信ができなくなる場合があります。
- フロントガラスが熱線反射ガラスの場合、路側無線装置と通信できないことがあります。
- ETC車載器の上に物を置かないでください。ETC車載器が故障、破損するおそれがあります。また、路側無線装置との通信が遮断される場合があります。
- 濡れた手でETC車載器を触れないでください。ETC車載器内部に水が入り故障、破損するおそれがあります。
- 水(液体など)を付着させないでください。ETC車載器内部に水が入り故障、破損するおそれがあります。
- 汚れたとき、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。ETC車載器が変形、故障する場合があります。

ETC車載器を初めて使う

車両情報などをETC車載器に登録する

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要となります。

また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

ETCカードを入手する

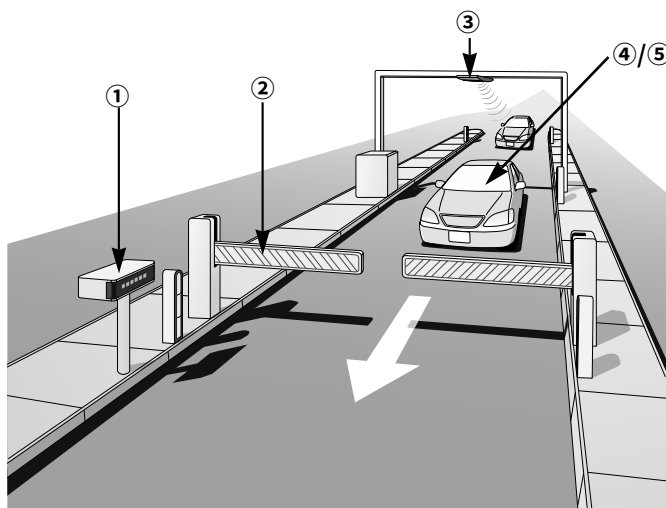
ETC車載器をご利用するためには、ETC車載器に挿入して使用するETCカードが必要となります。クレジット会社が発行するETCカードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

7.ETCの操作

ETCとは

ETC（Electronic Toll Collection System）は、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置とETC車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



①路側表示器

料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。

②発信制御装置 (ゲート)

料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要な応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。

③路側無線装置

料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、車両のETC機器との通信を行うためのアンテナです。

④ETC機器

車両に装着されています。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。

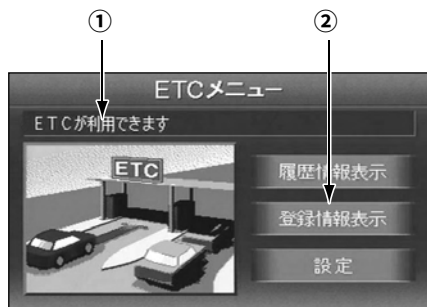
⑤ETCカード

ETC機器に挿入します。ICチップを搭載した、ETC機器用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。

ETCメニュー画面

インフォメーション（情報）画面（164ページ）で、**ETC** にタッチします。

●ETCニュー画面になります。



ETCカードメッセージ

現在のETCユニットの状態が表示されます。

「ETCカード未挿入」……ETCカードが挿入されていません。

「認証中」……ETCカードを読み込んでいます。

「ETCカード異常」……ETCカードを読み込むことができません。

「ETCが利用できます」……ETCが利用可能な状態です。



履歴情報表示 ……ETCの利用履歴を表示します。（次ページ参照）

登録情報表示 ……ETC車載器に登録されている車輛情報を表示します。

設定 ……ETCの表示や案内を設定します。（293ページ参照）

7.ETCの操作

履歴の表示

ECTの利用履歴表示します。

- 1 ETCメニュー画面で、**履歴情報表示**にタッチします。

- 2 **▲前**、**▼次** にタッチして、表示させる履歴を切り替えます。

- 履歴を切り替えたとき、**最新** にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

- 3 **詳細** にタッチすると、利用区間が表示されます。

ETC履歴情報				戻る
最新	利用日	料金		
▲前	2002 年 1 月 15 日	700 円	詳細	
	2002 年 1 月 15 日	2000 円	詳細	
	2002 年 2 月 22 日	3500 円	詳細	
	2002 年 2 月 28 日	700 円	詳細	
▼次	2002 年 3 月 8 日	650 円	詳細	

登録情報の表示

ETC車載器に登録されている車両情報を表示します。

- 1 ETCメニュー画面で、**登録情報表示**にタッチします。

ETC登録情報		戻る
車載器管理番号	01234 01234567 012345	
車載器登録番号	〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇	
セットアップカード 発行年月日	2002 年 5 月 25 日	
セットアップカード 情報有効年月日	2005 年 12 月 31 日	

- ETC車載器に登録されているセットアップ情報が表示されます。



- 表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

ETCの設定

ECTの表示や案内を設定します。

ETCの各項目を設定する

- 1 ETCメニュー画面で、**設定** にタッチします。



- 2 **する**、**しない** にタッチしてETCの項目を設定します。

●ETC割込表示

ETCを利用するときに、通行の可否や利用料金を画面に表示して案内します。

●ゲート通過案内

ETCゲートの通行可または通行不可の案内

●予告レーン案内

この先のETCゲートの通行可または通行不可の案内

●料金徴収案内

料金徴収の案内

●ETC音声案内

ETCを利用するときに、通行の可否や利用料金を音声の出力で案内します。

●ACCオン時警告表示

エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、カードの差し忘れを画面に表示して警告します。

●ACCオン時警告音声案内

エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、カードの差し忘れを警告します。

●カード抜き忘れ警告

エンジンスイッチをACCからLOCKの位置にしたとき、カードの抜き忘れを音声の出力で警告します。

- 3 **完了** タッチします。

ETC割り込み案内について

料金所に近づいたとき、通行の可否や利用料金を案内します。(ETC専用ゲートからの情報が受信されたときのみ)



●割り込み案内 (例)



ETCの音声案内は、経路案内中以外でも案内を開始します。

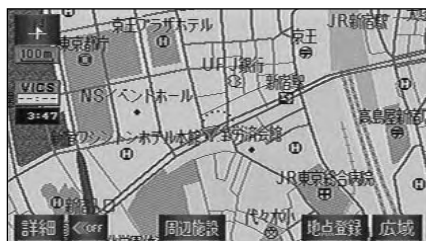
8.バックモニターの操作

オプションのバックモニターを装着した場合、バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

バックモニターの映像

1 バックギアにシフトします。

- 後方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 他にシフトすると通常画面に戻ります。



- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を充分確認してください。
- 太陽光を直接長時間映さないでください。焼き付け現象が残ることがあります。



- 写真は一例です。モニター画面に写る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、いったん白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。[CCD素子特有の現象（スミヤ現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。

MEMO

1.ナビゲーションの補正が必要なとき

次のようなときはナビゲーションの補正を行う必要があります。

- タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。(距離の補正)

また、次のようなときも補正を行うことができます。

- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている(自車位置マークがずれている)とき…自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。(現在地の修正)
- 走行中、地図の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自車位置マークの進み方を修正することができます。(距離の補正)

ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます(場合によっては、数分程度かかることがあります)。GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

現在地の補正

- 1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。
- 2 **ナビ補正** にタッチします。



- 3 **現在地修正** にタッチします。



- 4 上向き矢印にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。
- 5 **セット** にタッチします。



800mスケール図より詳細な地図で補正することができます。

6 方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは $\curvearrowleft$ 、時計まわりに動かすときは $\curvearrowright$ にタッチします。

7 セット にタッチします。



1.ナビゲーションの補正が必要なとき

距離の補正

1 メニュー画面で、**ナビ設定** にタッチします。

2 **ナビ補正** にタッチします。



3 **距離補正** にタッチします。

●自動補正、または手動補正を行います。



自動補正するとき

1 **自動補正** にタッチします。

- 自動補正中はタッチスイッチが選択色になります。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチが元に戻ります。



手動補正するとき

1 自転車位置マーク[▲]の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは[▶](進める)、早く進むときは[◀](遅らせる)にタッチします。



2 **セット** にタッチします。



- 本機はGPSにより自動的に車速センサーの距離補正を行っています。ところが自動距離補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、新しく別の車両に本機を取り付けたときなど）に対しては対応が遅れてしまいます。

それを防ぐために、このような場合は自動補正を選択し、距離補正係数の計算のやり直しをさせることをおすすめします。距離補正は、GPSの電波の受信状態の良好な道路を約10km走行してください。

- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自転車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- 最も進めると、最も遅らせるとの色が反転し、タッチしても操作できません。
- 初期状態に戻す**にタッチすると、手動補正の設定が初期設定の状態に戻ります。

2. 車速情報の表示

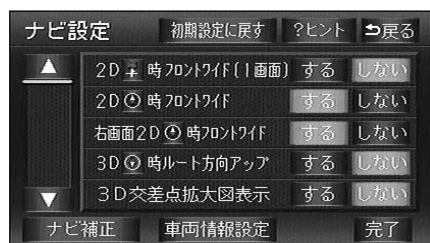
車両の車速パルス（スピード信号）、推定速度を確認することができます。

ナビゲーションを新規で車輛に取り付けたとき、車速信号が正しく入力されているか、確認する場合などに使用します。

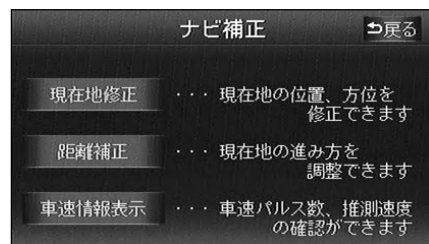
車速情報の表示

1 メニュー画面で **ナビ設定** にタッチします。

2 **ナビ補正** にタッチします。



3 **車速情報表示** にタッチします。



● 車速パルス数、推定速度が表示されます。



3.地図DVD-ROMの情報

地図DVD-ROMに収納されているデータベースなどの情報を見ることができます。
下の画面は表示例であり、地図DVD-ROMの作成時期・種類などによって表示内容が異なります。

地図DVD-ROMの情報表示

- 1 メニュー画面で **使用データ** にタッチします。

●情報が表示されます。



4.知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション全般に関するメッセージ

メッセージ	原 因	処 置
GPSアンテナの接続が異常です。	GPSアンテナが正しく接続されていないため。	GPSアンテナを正しく接続してください。
車速パルスが入力されていません。	車速センサーと正しく接続されていないため。	車速センサーを正しく接続してください。
高速走行では市街図を表示できません。 広域な地図に切り替えます。	市 街 図 表 示 中、車 速 が 約 80km/h以上になったため。	車速が約70km/h以下になると市街図を表示します。
自宅が登録されていません。 メニューのメモリ地点から登録できます。	自宅が登録されていないときに、 自宅に帰る にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。 (129ページ参照)
該当する電話番号が検索できません。 確認して修正して下さい。	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません。 確認して修正して下さい。	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。

メッセージ	原因	処置
該当するマップコードが収録されていません。確認して修正して下さい。	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
この縮尺では位置が特定できません。 詳細な地図に切り替えます。	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(ワンタッチメモリ地点登録のときを除く)	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(800mスケール図以下)で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません。 移動してから再操作をお願いします。	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります。 目的地の移動をしますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に案内できる道路データがありません。 目的地の移動をお願いします。	ルート探索できないところに目的地・通過目的地を設定しようとしたとき。	目的地・通過目的地を幹線道路付近に変更してください。
周辺に対象となる施設が見つかりません。	施設選択された施設が周辺にないため。	故障ではありません。 データがあれば表示されます。
メモリ地点が登録されていません。 メモリ地点を登録してからお使い下さい。	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。 (131ページ参照)

4.知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
これ以上登録できません。 消去してからお使い下さい。	メモリ地点を登録した数が 100箇所有的时候に、さらに登 録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録 してください。(140ページ参照)
これ以上施設を選択できませ ん。	既に表示する施設を5つ選択 している場合。	さらに表示するには不要な施設の表示 を解除してください。
地図ディスクが入っていません。	地図ディスクが挿入されてい ないため。	地図ディスクを挿入してください。
データが読めません。 地図ディスクが正しいかご確 認ください。	地図ディスク以外を挿入した とき。	挿入されているディスクを取り出し、 正しい地図ディスクを挿入し直してく ださい。
データが正しく読めません。 ディスクの傷、汚れをご確認 ください。	地図ディスクに傷、汚れなど があり、正常にデータが読め ないとき。	販売店に相談してください。

VICSに関するメッセージ

メッセージ	原因	処置
VICS情報は1／8万より広域 の地図には表示されません。	VICS表示中に800mスケール より広域の地図にしたとき。	800mスケール以下の詳細な地図に切 り替えてください。(37ページ参照)
受信中です。 しばらくお待ち下さい。	VICSメニューを受信していな いとき。	しばらくしてもメッセージを表示する 場合、選局し直してください。 (152ページ参照)

メッセージ	原因	処置
走行中は自動送りでできません。 停車してから自動送りを再開します。	自動送り機能を走行中にしたとき。	停車してからご使用ください。
VICSの文字（図形）情報を受信していません。 VICS選局で周波数をご確認下さい。	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないとき。	選局し直してVICSの情報を受信してください。 （152ページ参照）
ビーコンが接続されていません。	2メディアVICSユニットが接続されていないため。	2メディアVICSユニットを接続してからご使用ください。
VICSの文字（図形）情報が提供されていません。	VICSユニットが接続されていますが、情報が未受信のとき。	故障ではありません。 情報が受信できれば正常に動作します。

通信全般に関するメッセージ

メッセージ	原因	処置
電話機をご確認下さい。	携帯電話の接続がされていないとき。 接続されているが電源が入っていない場合。	お使いの携帯電話は対応機種でしょうか。携帯電話の接続、電源を確認してください。
ダイヤルロックされています。 電話機をご確認下さい。	携帯電話がダイヤルロックされている場合。	ダイヤルロックを解除してから再度通信してください。
電話機を使用中です。	携帯電話本体で通話している場合。	通話を終了してから再度通信してください。
通信圏外です。 しばらくしてからご使用下さい。	携帯電話が通信圏外にある場合。	通信圏内でご使用ください。
回線が混雑しています。 しばらく待ってお使い下さい。	センターまたは電話回線が混雑している場合。	時間をおいて、もう一度通信を開始してください。
目的地が設定されていません。 目的地を設定してからご利用下さい。	ナビゲーションでルートが設定されていない場合。	ナビゲーションでルートを設定してからお使いください。

4.知っておいていただきたいこと

iモードに関するメッセージ

メッセージ	原因	処置
接続されている携帯電話はiナビリンク対応機ではありません。 電話機をご確認下さい。	携帯電話がナビゲーションに対応していない。	ナビゲーションに接続可能なiモード携帯電話を接続してください。
	iモード携帯電話の接続が不完全。	iモード携帯電話の電源を入れ直し、コードの接続を確認してください。
空きメモリがないためメール・メッセージを受信できませんでした。メモリを削除してから受信して下さい。	「iモード」でのメールやメッセージの保存合計件数が20件のときに、さらにメールやメッセージを受信しようとしたとき。	消してもよいメールまたはメッセージを消してから、受信をしてください。
空きメモリがないため全てのメール・メッセージを受信できませんでした。 メモリを削除してから受信して下さい。		

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検をお受けください。

ナビゲーション全般に関係すること

症 状	考えられること	処 置
電源が入らない。	ヒューズが切れているか、本体の電源の取り付けがはずれていると思われます。	ヒューズを点検してください。切れている場合はヒューズを交換します。または、電源の取り付けを販売店で確認してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。 (33 ページ参照)
自車位置マーク  が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。 (33 ページ参照)
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPSアンテナ上部に物が置いてあるときは、取り除いてください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。 (105 ページ参照)
	案内の音量が小さく（音声OFF）になっていませんか。	音量を大きくしてください。 (30 ページ参照)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

4.知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処 置
エンジンスイッチをONの位置にした後、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。(27ページ参照)
実際の現在地と異なる場所に 自車位置マーク  が表示されている。 (自車位置マーク  がずれている)	GPS衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自車位置マーク  がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マーク  がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります)GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の補正を行ってください。 (296ページ参照)
リストの中に目的の市区町村名がない。	リストを50音ごとにとばして動かしていませんか。	1項目ずつ動かしてください。(24ページ参照)
地図のディスクが取り出せない。	指定外のディスクを挿入したり正しく挿入されなかったと思われるます。	イジェクトスイッチを長押し(5秒以上)してください。 (「取扱説明書クイックガイド編」-「ディスクの出し入れ」参照)

VICSに関係すること

症 状	考えられること	処 置
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していない。	VICS選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっている。	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定がすべてOFFになっている。	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアをはずれている。	VICSの提供エリアは、同梱の「地図ディスクについて」を参照してください。
	ディスク情報が古い場合。 VICS エリアは毎年拡大され、そのデータはディスクに納められ、毎年更新されます。	最新版のディスクをお求めください。
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がありません。	情報を受信次第表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯のとき。	情報を受信次第表示されます。
VICS情報の表示が乱れる。	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。
 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。

4.知っておいていただきたいこと

ハンズフリーに関係すること

症 状	考えられること	処 置
発信や着信ができない。	携帯電話が対応機種でない。	対応機種かどうかご確認ください。
	電波状況が悪い。	圏外と表示されていたり、受信レベルが▼になっていないかご確認ください。
	携帯電話とコネクタの接続が不完全。	コネクタからはずして接続し直してください。
	携帯電話のバッテリーが切れている。	本機には充電機能がありませんので、専用の充電器で充電してください。
	携帯電話の表示がおかしい。	コネクタからはずして電話の電源を入れ直すと直ることがあります。
	ダイヤルロックされている。	携帯電話の本体でダイヤルロックを解除してください。

ヘルプネットに関係すること

症 状	考えられること	処 置
HELPNET の色が反転している。	会員登録時の手動保守点検が行われていない可能性があります。	お買い上げの販売店に相談してください。
ヘルプネットオペレーションセンターに接続できない。	「ダイヤルロック」されていますか？	電話機側の操作で「ダイヤルロック」を解除してください。
	電波状態が悪くありませんか？	最寄りの公衆電話などから通報してください。
	携帯電話サービスエリア外ではありませんか？	最寄りの公衆電話などから通報してください。
	携帯電話回線が混雑していますか？	最寄りの公衆電話などから通報してください。

4.知っておいていただきたいこと

音声操作に関すること

音声認識機能に関する制限事項

- (1) 音声認識には、雑音や周囲の話し声が大きいうまく認識できない場合があります。
 - ・窓を開けた状態
 - ・エアコンのファンの音が大きいつき
 - ・路面が悪く、走行雑音が大きいつき
 - ・同乗者の話し声があるとき
- (2) 画面を切り替える音声認識コマンドは、音声認識中に画面が遷移すると、コマンドの実行ができない場合があります。
- (3) 長く押して機能するスイッチは、音声認識コマンドにて動作させることができません。

(例：案内開始に長くタッチして、デモンストレーション走行する場合など)
- (4) 施設ランドマーク表示で音声認識できる施設名は地図ディスクに依存します。地図ディスクを更新すると内容が変更されることがあります。また、音声認識できるコマンドも地図ディスクに依存します。

スイッチの表示名称と音声認識コマンドが異なる場合があります。
- (5) 走行・表示・案内などの状況で音声認識時間が長くなることがあります。
- (6) 音声認識動作中は、案内音声の発声やオーディオの音声も中断されます。
- (7) バッテリー脱着時やディスクの交換を行った場合は、エンジンスイッチをACCにしても約30秒音声認識動作ができません。この間に音声認識スイッチを押すと「地図ディスクを確認しています」とトークバックします。
- (8) 画面状態によっては音声認識機能が使えないことがあります。この間に音声認識スイッチを押すと「この画面では操作できません」もしくは「認識できませんでした」とトークバックするか、他のコマンドに誤認識します。
- (9) メモリ地点の「読み」に入力した言葉が、住所・施設・コマンドなど他の音声認識コマンドと重複した場合、メモリ地点以外のコマンドが優先されます。
- (10) 音声認識コマンドによっては、実行できる画面が特定されているコマンドがあります。
- (11) 音声認識中のマークが表示されている間に次のコマンドを話すと、その前に話したコマンドが無効になります。

こんなトークバックのとき

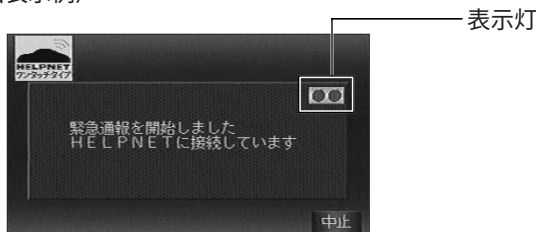
メッセージ	原因	処置
認識できませんでした。	認識されるコマンド（言葉）ではありません。	認識されるコマンド（言葉）をお話してください。
この画面では、操作できません。	この表示画面では、発声したコマンドは動作できません。	他の画面でお試してください。
2画面表示にして、お使いください。	2画面表示時の右画面に対してのコマンドです。	2画面表示にして、お使いください。
3D表示では、地図向きの変更はできません。	3D表示は、ヘッドینگアップのみ表示可能です。	2D表示にして、お使いください。
目的地が、設定されていません。	目的地が設定されていないため、情報が計算できません。	ルートを設定して、お使いください。
案内ルートからはずれているため、目的地までの情報が計算できません。	案内ルートからはずれているため、情報が計算できません。	案内ルートに乗ってから、お使いください。
ルート案内中でないため、発声できません。	目的地が設定されていないため、情報が計算できません。	目的地を設定して、お使いください。
ルート案内中でないため、表示できません。	目的地が設定されていないため、情報が計算できません。	目的地を設定して、お使いください。
これ以上、広域にできません。	表示地図の縮尺が最大で操作ができません。	他の縮尺でお使いください。
これ以上、詳細にできません。	表示地図の縮尺が最小で操作ができません。	他の縮尺でお使いください。
ここでは市街図は収録されていません。	表示中の地図には市街図がありません。	市街図のある地域に移動してから、操作してください。

4.知っておいていただきたいこと

ヘルプネットの表示灯について

ヘルプネットではシステムの動作状態を画面の赤と緑の表示灯で次のようにお知らせします。

〈画面表示例〉



表示灯		表示する場合	処理方法
緑 (左)	赤 (右)		
○ 点灯	○ 消灯	動作中のとき (携帯電話サービスエリア内)	緊急通報および電話がご利用になれます。
○ 消灯	○ 点灯	動作中のとき (携帯電話サービスエリア外)	携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		機器に異常がある場合 (携帯電話サービスエリア内)	携帯電話サービスエリア内で、いつまでもこの表示が続く場合は機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店に相談してください。
⬆ 点滅	○ 消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了すると、表示が変化しますのでそのままお待ちください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了すると表示が変化しますので、そのままお待ちください。
○ 消灯	⬆ 点滅	緊急通報に失敗したとき	約6秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		何回も連続して自動保守点検に失敗したとき	手動保守点検をしてください。(281ページ参照) それでも表示が続く場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
		手動保守点検に失敗したとき	携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。(281ページ参照)
		機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らない場合は、機器に異常があることが考えられます。直ちにお買い上げの販売店に相談してください。

表示灯		表示する場合	処理方法
緑 (左)	赤 (右)		
○ 点灯	○ 点灯	エンジン始動時の保守点検中のとき	保守点検 (約5秒間) が終了すると、表示が変化しますので、そのままお待ちください。
		機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らない場合は、機器に異常があることが考えられます。直ちにお買い上げの販売店に相談してください。
○ 消灯	○ 消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	ヘルプネットサービスに契約してください。
		ナビゲーション本体が動作していないとき	エンジンスイッチをACCまたはONにしてもこの状態が続く場合は、お買い上げの販売店に相談してください。



表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、解約時の処理を行っていない中古車などに搭載された車載機を使用する場合は、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

4.知っておいていただきたいこと

ヘルプネットサービス会員規約

このヘルプネットサービス会員規約（以下、「本規約」といいます）は、株式会社日本緊急通報サービス（以下、「当社」といいます）が提供するヘルプネットサービス（以下、「本サービス」といいます）の利用について定めます。

第1章 総 則

第1条 本規約の適用

本規約は、当社と本サービスの会員（以下、「会員」といいます）との間の、本サービスの利用にかかわる一切の関係に適用されます。

第2条 本規約の変更

当社は、会員の下承を得ることなく本規約を変更することがあり、会員はこれを承諾します。

2. 当社は、変更後の内容を当社が定める方法により会員に通知します。

第3条 用語の定義

本規約においては、次の各号に定める用語は、それぞれ当該各号に定める意味で使します。

- ①登録車載機：本規約に基づいて当社に登録されている、本サービスの利用を可能とする車載機器
- ②登録車両：登録車載機を搭載し、かつ本規約に基づいて当社に登録されている車両
- ③通信機：本サービスの利用において、登録車載機に内蔵または接続して利用される、携帯電話機などの通信機器
- ④利用電話サービス：通信機において、契約・利用されている携帯電話等の電話サービス
- ⑤通報：緊急事態発生時に登録車載機から発せられる、車両位置等のデータおよび音声を含む通信
- ⑥サービス開始操作：本サービスの利用を可能な状態とするため、会員が登録車載機において行う所定の操作
- ⑦サービス終了操作：本サービスの利用を不能な状態とするため、会員が登録車載機において行う所定の操作
- ⑧センタースystem：当社が設置する、本サービスを提供するためのSystem全般
- ⑨関係機関：警察および消防等
- ⑩緊急事態：以下の場合を指します。

- (1) 交通事故、急病その他の事由により登録車両の乗員等を医療機関その他の場所へ緊急に搬送する必要が発生した場合
- (2) 登録車両の乗員等の生命・身体が重大な危険に晒されるような切迫した事態が発生した場合
- (3) 交通事故等による物の損壊があった場合、または火災が発生した場合
- ⑩自動発信：エアバッグの展開等と連動して、通報が登録車載機から自動的になされる発信
- ⑪手動発信：ボタンの押下等の手動の操作により、通報が登録車載機からなされる発信
- ⑫会員情報：名称・氏名、住所、支払方法、登録車載機に関する情報、および登録車両に関する情報等

第2章 会員契約

第4条 入会申込

本サービスの利用を希望する者は、当社が定める手続きに従い、本規約を承諾のうえ、当社へ入会を申し込むものとします。

2. 申込者は、前項に定める入会申込に際し、会員情報を当社に届け出るものとします。

第5条 申込の承諾

当社は、前条の申込を受け取った場合、これを承諾します。ただし、以下に該当する場合には承諾を行わないことができるものとします。

- ①申込者本人の意思により申し込まれたことが確認できない場合
- ②法令に違反する等、不正な手続きによって申し込まれた場合
- ③申込書に必要事項が記入されていない場合、またはその内容が正確でない場合
- ④申込者が、過去において本サービスの提供を受けるのにふさわしくない行為を行ったことがある場合
- ⑤申込者が未成年の個人で、申込に当たり保護者の同意を得ていない場合
- ⑥申込について、当社が本サービスを正常に提供できないおそれがあると判断した場合
- ⑦会費等の支払を現に怠り、または怠るおそれがある場合
- ⑧その他、当社が不相当と判断した場合

第6条 会員契約の成立

会員契約は、第4条の申込に対して当社が承諾したときに成立し、第12条または第13条の規定に基づき会員契約が終了しない限り、継続するものとします。

第7条 契約の単位

当社は、一の契約単位ごとに、会員1名、車載機1台、車両1台を登録します。

4. 知っておいていただきたいこと

2. 当社は、一の契約単位ごとに一の契約番号を付与し、当社が定める方法によりこれを会員に通知します。

第8条 契約番号の管理責任

会員は、自己の契約番号の管理、使用について責任を持ち、自己の契約番号の使用に関して当社に損害・損失等を与えることのないものとします。

第9条 会費等の支払い

会員は、別表に定める会費等を当社が定める期日までに支払うこととします。

2. 当社は、会員が会費等について支払期日を経過してもなお当社に対して支払わない場合、支払期日の翌日から支払日の前日までの日数について年14.5%の割合で計算して得た額を延滞利息として会員に請求することができるものとします。
3. 会員は、第12条または第13条の規定に基づく会員契約の終了に際し、以下に定める事項を承諾します。
 - ①既に支払われた会費等について、当社がこれを返還しないこと。
 - ②会員に未払いの会費等がある場合は、その支払義務を免れるものではないこと。

第10条 権利義務の譲渡禁止

会員は、当社が予め承諾した場合を除き、会員契約に基づく権利または義務の全部または一部を第三者に譲渡し、承継させ、または担保に供することはできないものとします。

第11条 会員情報の変更の届出

会員は、会員情報の内容に変更が生じた場合は、当社が定める手続きに従い、速やかに変更の届出を行うものとします。

第12条 退会

会員は、退会を希望する場合、当社が定める手続きに従い、退会希望日の1ヶ月前までに当社へ退会の申出をするものとします。

2. 当社は、会員からの申出がなされた退会希望日を退会日として承諾します。ただし、退会希望日が当社の営業日でないときは、その翌営業日をもって退会日とします。
3. 当社は、退会日をもって、会員に対する一切のサービス提供義務を免れるものとします。
4. 会員は、退会日以降、登録車載機において速やかにサービス終了操作を行うこととします。
5. 会員は、前項のサービス終了操作を怠ったことにより発生した損害・損失等について、当社が一切の責任を負わないことを承諾します。

第13条 会員契約の解除

当社は、会員が以下の項目に該当する場合には、事前に何ら通知または催告することなく、会員契約を解除することができるものとします。また、この場合、当社が会員契約を解除したことを当社が定める方法により通知します。

- ①本規約に違反した場合
 - ②入会申込時等に虚偽の事項を申告したことが判明した場合
 - ③虚報等、本サービスの利用に関して不適切な行為があると当社が判断した場合
 - ④本サービスの利用に関して不適切な車載機または通信機等を使用する等、本サービスに重大な悪影響を及ぼすような行為があると当社が判断した場合
 - ⑤会費等について、その支払期日を経過してもなお支払われない場合、またはそのおそれがある場合
 - ⑥会員契約成立後、第16条に規定するサービス開始操作を1年間のうちに完了しなかった場合
 - ⑦会員契約成立後、第5条に規定する項目に該当することが判明した場合
 - ⑧その他、当社が不適当と判断した場合
2. 当社は、前項により会員契約を解除した日をもって、会員に対する一切のサービス提供義務を免れるものとします。
 3. 会員は、当社が会員契約を解除した後、登録車載機において速やかにサービス終了操作を行うこととします。
 4. 会員は、前項のサービス終了操作を怠ったことにより発生した損害・損失等について、当社が一切の責任を負わないことを承諾します。

第3章 本サービス

第14条 本サービスの提供

当社は、会員に対し、本規約に基づいて本サービスを提供します。

第15条 本サービスの内容

本サービスは、緊急事態発生時の登録車載機からの通報を、当社が会員の要請に基づき関係機関に接続するものです。

2. 前項の規定にかかわらず、通報において、エアバッグの展開等や音声その他による情報等から緊急事態が発生していることが判断される場合、当社は、会員の要請によらず関係機関に通報を接続する場合があります。
3. 会員は、本サービスについて、登録車載機からの通報が関係機関に接続されるまでに一定の時間を要するものであることを承諾します。
4. 会員は、本サービスによる関係機関への通報の接続およびそれに基づく関係機関による救急救助等の措置が、関係機関において優先的に取り扱われるものでないことを承諾します。

4.知っておいていただきたいこと

5. 会員は、本サービスの利用において当社に交通事故・火災等の緊急事態発生の実情を伝えることが、道路交通法及び消防法等の関連適用法規により義務づけられている措置・通報の代替行為とならず、法的義務が免除されるものではないことを承諾します。
6. 会員は、本サービスの利用によって関係機関に通報がなされた後、当該関係機関から当社へ再接続の要請等ある場合、会員へ通話を接続する場合があることを承諾します。
7. 会員は、自らの責任において本サービスを利用し、関係機関への通報およびその内容に関して当社または関係機関その他に損害・損失等を与えることのないものとし、ます。

第16条 本サービスの利用開始

会員は、会員契約成立後、速やかに登録車載機においてサービス開始操作を行い、本サービスの利用が可能な状態になったことを確認することとします。

2. 会員は、前項の確認が完了するまでは本サービスの利用ができないことを承諾します。

第17条 本サービスの利用可能期間

本サービスの利用可能期間は、前条によりサービス利用が可能になった時点から、第12条または第13条の規定に基づき会員契約が終了となるまでとします。

第18条 本サービス利用上の制限

会員は、本サービスの利用が緊急事態発生時に限られることを承諾します。

第19条 本サービスの提供エリア

本サービスの提供エリアは、利用電話サービスおよび全地球測位システム（GPS）が利用可能な日本国内のエリアとします。

第20条 本サービスの対応言語

当社は、本サービスの提供にあたり、日本語のみで対応します。

第21条 本サービスの提供の中断または休止

当社は、以下の場合には、会員に事前に通知することなく、一時的に本サービスの提供を中断または休止することがあります。

- ①センターシステムの保守を定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
- ②センターシステムが火災、停電、損壊、故障等により、正常に作動しなくなった場合
- ③地震、噴火、洪水、津波等の天災により、本サービスの提供が出来なくなった場合

④戦争、動乱、暴動、争乱、労働争議等により、本サービスの提供が出来なくなった場合

⑤その他、運用上または技術上の理由等により、本サービスの提供の一時的な中断または休止が必要であると当社が判断した場合

第4章 機器等

第22条 登録車載機

会員は、本サービスを利用するために、自己の責任において登録車載機を設置するものとします。

2. 会員は、登録車載機が正常に作動し、本サービスの利用が可能である状態を保持するものとします。
3. 当社は、登録車載機について発生した障害およびトラブルに関し、一切の責任を負わないものとします。

第23条 通信機

会員は、本サービスを利用するために、自己の責任において登録車載機に適合する通信機を設置するものとします。

2. 会員は、利用電話サービスを含め、通信機が正常に作動し、本サービスの利用が可能である状態を保持するものとします。
3. 会員は、本サービスならびにサービス開始操作、サービス終了操作、および次条に規定する登録車載機等の診断に関係し発生する通信費用を負担するものとします。
4. 当社は、通信機および利用電話サービスについて発生した障害およびトラブルに関し、一切の責任を負わないものとします。

第24条 登録車載機等の診断

会員は、登録車載機から定期的かつ自動的に登録車載機等の診断のための通信がなされることを承諾します。

2. 当社は、登録車載機から随時に発信される登録車載機等の診断のための通信を受付けます。

➡ 次ページに続く

4.知っておいていただきたいこと

第5章 損害賠償

第25条 免責

会員は、以下の場合等には、本サービスの全部または一部を利用できず、それにより会員または第三者が被った損害・損失等に対して、それが当社の故意または重過失により生じた場合を除き、当社がいかなる責任も負わないものであることを承諾します。

- ①交通事故等による強い衝撃や振動、または異常な高温や低温、高湿度等に起因して、登録車両（車両積載のバッテリーを含みます。）、登録車載機、通信機またはその他周辺機器等（アンテナ、エアバッグ、エアバッグセンサー、ハンドセット、ハンズフリーユニット、その他これらに準ずる機器を含みます。）に損傷、または故障、配線等の切断、もしくは電源の遮断等が発生し、正常に作動しなかった場合
 - ②登録車両が、第19条に規定する本サービス提供エリアの外（屋内、地下駐車場、ビルの陰、トンネル、山間部等、電波が伝わりにくいところを含みます。）にある場合
 - ③利用電話サービスにおいて通話が著しく輻輳する等、本サービス利用に関する正常な通信が出来ない場合
 - ④関係機関または当社への通報が一時に集中した場合
 - ⑤第27条に規定する情報の全部または一部を当社が取得できなかった場合、または取得した情報の内容に誤りもしくは誤差が含まれる場合
 - ⑥道路や建物などの地理的な条件や、関係機関の所轄に関する情報が新設、変更または廃止され、その情報を当社が認知していない場合
 - ⑦登録車両の自走によらない移動の直後（フェリーからの降船直後等）、長期間車両を使用していなかった直後等、登録車載機に搭載されている全地球測位システム（GPS）等を利用して得られた位置情報に誤りまたは誤差がある場合
 - ⑧第21条の規定に基づき本サービスの提供が中断または休止している場合
2. 会員は、以下の場合等には、本サービスの全部または一部が利用できず、それにより会員または第三者が被った損害・損失等に対して、それが当社の故意または重過失により生じた場合を除き、当社がいかなる責任も負わないものであることを承諾するとともに、会員が自己の責任においてその原因となる事象を解決することとします。
- ①会費等について、当社の定める支払期日を経過してもなおその支払いがない場合
 - ②会員情報の内容に誤りのある場合、または会員情報の変更の届出を怠っている場合
 - ③会員契約が有効でない場合、または、第17条に規定する本サービスの利用可能期間内にない場合

- ④登録車両、登録車載機、通信機またはその他周辺機器等が正しく設置もしくは接続されていない場合、または故障、損壊、不具合等があり正常に作動しない場合、またはこれらの組み合わせにおいて不適合である場合、または本サービスの利用に障害となるような機能設定をしている場合
- ⑤登録車載機や通信機またはその他周辺機器の取扱説明書等に記載されている事項を遵守しなかった場合
- ⑥登録車両搭載のバッテリーの電圧低下や、登録車載機または通信機の電池切れ等、登録車載機、通信機またはその他周辺機器等に電力が正常に供給されていない場合
- ⑦登録車載機や通信機またはその他周辺機器等の電源が入っていない場合
- ⑧ドライブモード、ダイヤルロック、発信禁止、留守番電話等、本サービスの利用に障害となるような、利用電話サービスにおけるネットワークサービスの利用や通信機の機能設定をしている場合
- ⑨利用電話サービスにおいて、その料金の滞納等によりその利用が停止または解除されている場合
- ⑩利用電話サービスにおいて、その通信方式等の変更または終了により、登録車載機、通信機、またはその他周辺機器等が利用できなくなった場合

第26条 損害賠償

会員は、本サービスの内容またはその利用により会員または第三者が被った損害・損失等に対し、それが当社の故意または重過失により生じた場合を除き、当社がいかなる責任も負わないものであることを承諾します。

2. 本サービスに関して会員が第三者に対して損害・損失等を与えた場合は、会員は、自己の責任と費用をもって解決するものとし、当社に損害・損失等を与えないものとし、なお、会員の行為により当社に損害・損失等が生じた場合には、当社は会員にその賠償を請求することができるものとし、

第6章 その他

第27条 個人情報等に関する取扱い

会員は、当社が本サービスの提供に際し、会員情報、および通報により当社が取得したデータや音声による情報のうち、以下の情報を関係機関へ伝達することに同意します。また、会員はこれに協力することとします。

- ①緊急事態に関する情報：緊急事態の内容等
- ②会員の属性に関する情報：会員の氏名・名称、住所、電話番号等
- ③車両情報：通報発信時の位置、走行履歴、車両番号、年式、型式、車種名、車体色等

4.知っておいていただきたいこと

④発信種類：自動発信、手動発信の別

⑤その他：通報発信時刻、通信機に付与された電話番号等

2. 当社は、前項で規定する情報を含め、会員からの通報に関して取得したデータや音声等について記録、録音等を行うことがあります。
3. 当社は、前二項で規定する情報等を、本サービスの提供を遂行する目的以外に利用しないものとします。

第28条 専属的合意管轄裁判所

当社と会員の間で訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

（付則）本規約は、平成12年9月1日から実施されます。

別表：会費等（別途消費税相当額を申し受けます）

入会金 6000円

年会費 4000円

MEMO

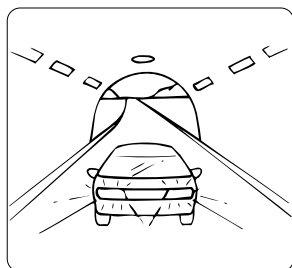
1.精度と誤差について

測位精度について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

GPS衛星の電波の性質と受信状態について

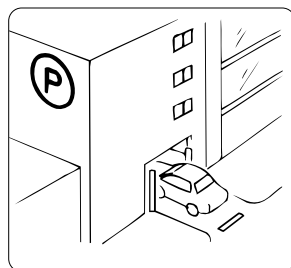
※GPS衛星からの電波は直進性が強いいため、次のような場所では受信できないことがあります。(地図画面にGPSマークが表示されていないときはGPS電波がうまく受信されていないときです)



① トンネルの中



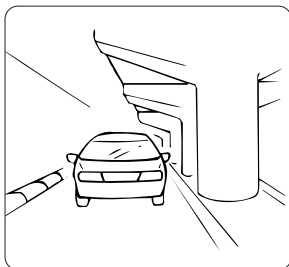
② ビルの谷間



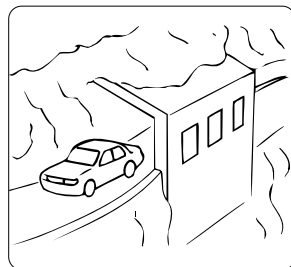
③ 建物の中



④ 街路樹の並木道、山間部の林の道



⑤ 高速道路等立体道路の下
の道路



⑥ 崖下の道、洞門

- GPSアンテナの上または周囲が障害物（積載物を含む）に覆われた場合、GPS電波を受信できなくなることがあります。
- GPS衛星は米国国防総省により管理されており、測位精度を故意に落とすことがあります。このような場合には、自車マークがずれることがあります。



以下の理由により、取付説明書に定められた位置に取り付けてください。

- ・他の電装品から生じるノイズにより、受信低下の可能性があります。
- ・エアバッグの作動を妨げる可能性があります。
- ・フロントピラー、ルーフパネルにより車両側方、後方の衛星からの受信が低下する可能性があります。

現在地表示の誤差

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよびジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

タイヤによる誤差

本機では自転車の移動した距離を車速センサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているのですが、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

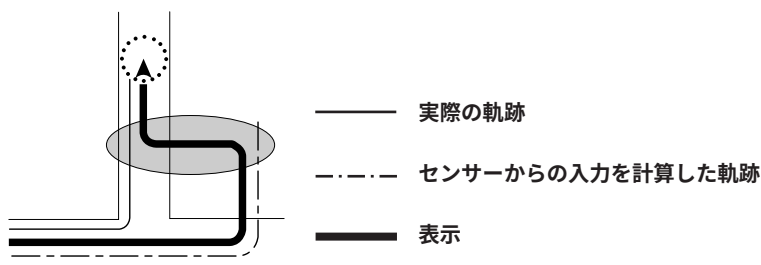
- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき(距離補正係数の設定を変えて調整できます)。

マップマッチングによる自転車位置検出の補正

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路線上に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせ得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

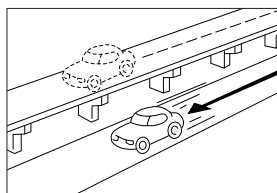
しかし、現在地の誤差はどうしても避けられないため、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。



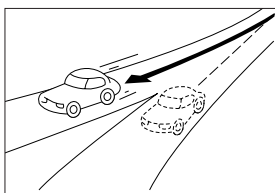
1.精度と誤差について

現在地表示の精度について

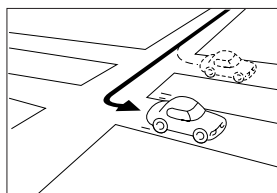
※以下のような走行状態や、GPS衛星の状態により現在地表示がずれる場合があります。また、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、現在地表示がずれる場合がありますが、そのまましばらく走行すると補正機能で自動的に正しく表示します。しばらくしても戻らない場合は現在地の修正や自動補正をしてください。



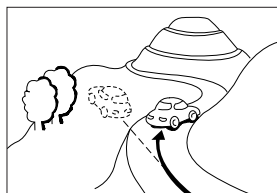
①並走している道路に自車マークが表示されることがあります。



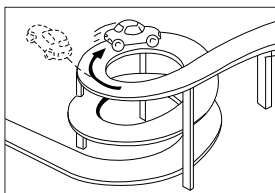
②角度の小さなY字路を走行しているとき、他方の道路に自車マークが表示されることがあります。



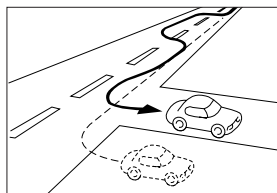
③右左折の場合、手前の道路または、先の道路に自車マークが表示されることがあります。



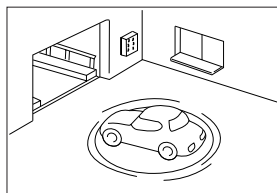
④急勾配の道路を走行した場合、自車マークがずれて表示されることがあります。



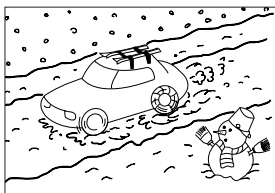
⑤同一方向のカーブが連続する道路を走行した場合、自車マークがずれて表示されることがあります。



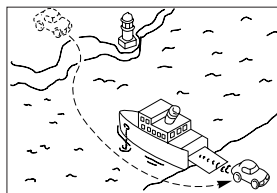
⑥車線変更等、蛇行運転をした場合、自車位置がずれることがあります。



⑦駐車場などのターンテーブルで、ACC OFFの状態では回転すると、自車マークの向きがずれることもあります。駐車場から出た後もずれることがあります。



⑧雪道、山道等の走行、タイヤチェーン、スベアタイヤ等で走行した場合、自車マークの位置がずれることがあります。※このような走行をした後に、「距離の補正」(298ページ)と同じ操作をしてください。



⑨フェリー等、自車走行以外で移動した場合は、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に自車マークが表示されません。

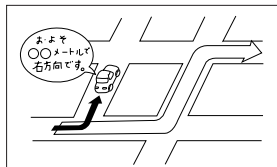
⑩タイヤ交換した場合、自車マークがずれることがあります。※タイヤ交換した場合、「距離の補正」(298ページ)を参照してください。

道路、地名データについて

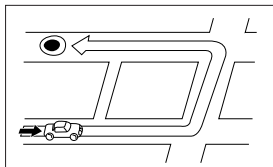
道路や地名は、地図ディスク作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

ルート案内について

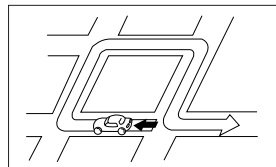
次の条件のような場合は故障ではありません。



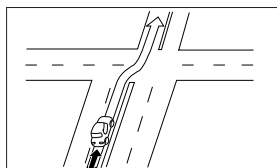
①案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤って出る場合があります。



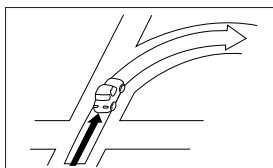
②再探索時に、ルートが大回りになる場合があります。



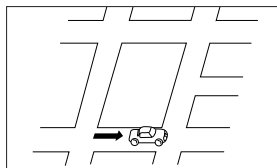
③Uターンするルートを案内する場合があります。



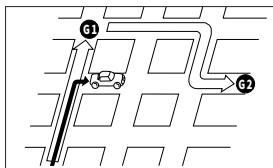
④直線道路を走行中に、直進の音声案内が出る場合があります。



⑤交差点で曲がるのに案内の出ない場合があります。



⑥再探索時のルート表示が、次の右折までに間に合わない場合があります。



⑦通過点を通らずに目的地に向かうとき、再探索すると通過点へ戻るルートが出る場合があります。

⑧方向の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。

⑨ルートが探索されない場合があります。

⑩目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。

⑪高速走行時の再探索時間が長い場合があります。

⑫再探索しても、ルートが変わらない場合があります。

⑬実際には通行できない道を案内（進入禁止を案内）する場合があります。

⑭案内経路上を逆走しても案内は行いません。

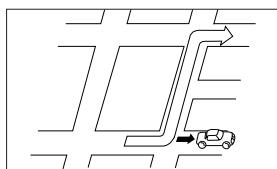
⑮フェリーが近い場合でも、使用しない場合があります。

⑯ルート探索終了後に案内交差点が近い場合、案内できない場合があります。

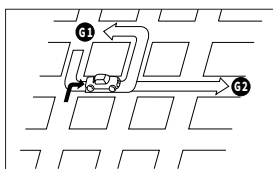
⑰有料道路優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。（「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般の道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです）



ルート探索完了



再探索

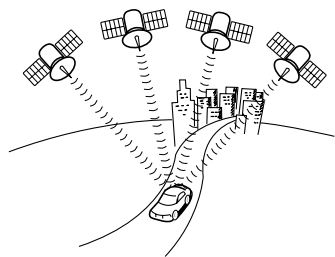


2.用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

ナビゲーション全般

GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回するGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、位置を検出するシステムです。3つ以上の衛星の電波を受信して三角測量の原理を利用し、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができます。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。

自立航法

車速センサーとジャイロセンサーからのデータによって自転車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。

トンネルや高架下道路などでも自転車の現在地を表示できます。

広域地図、詳細地図

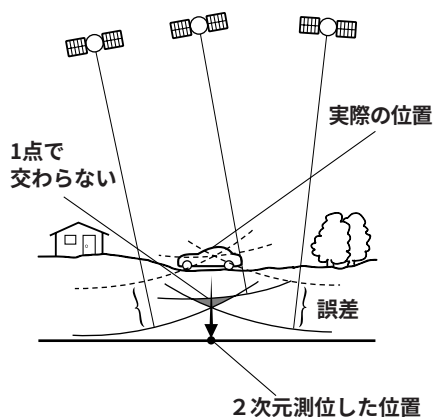
広域地図とは縮尺の大きな地図で、詳細地図とは縮尺の小さな地図のことです。地図の縮尺は1/2048万、1/1024万、1/512万、1/256万、1/128万、1/64万、1/32万、1/16万、1/8万、1/4万、1/2万、1/1万、1/5000、1/2500です。

測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自転車の現在地を測定することです。本機では3個以上のGPS衛星の電波を受信して測位可能な場合に、現在地画面上の左上隅に「GPS」を表示します。(メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」マークは表示しません)

2次元測位と3次元測位



ジャイロセンサー

GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自車位置の表示の誤差も少なくなります。

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電氣的に検出するセンサーです。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

2.用語説明

データ通信全般

回線交換

データ通信において、通信中はずっと回線を確保したまま通信を行う方式。まず通信に先立って通信回線を確保し、通信が終了した時点で回線を解放する。通信するデータがない場合でも回線を占有するので、回線の利用効率は悪い。

パケット交換

データ通信において、データのある大きさのパケット（ひとかたまりのデータ）に区切り、パケットごとに宛先アドレスやデータ属性、エラーチェックコードなどを付けて、通信媒体上へ送出する方式。実際にデータを送受信しているとき以外は回線を占有しないので、チャンネルを多重化して回線の使用効率の改善を図ることができる。

パケット通信

データ通信において、通信パケットを転送の単位とする蓄積交換方式の1つ。コンピュータネットワークのために開発されたもので、多数の端末、または多数の利用者が送出するパケットを1つの通信回線上で多重化して伝送することができ、通信回線を効率的に利用できるのが特徴。また、交換機でデータの変換が行なえるため、通信速度や通信制御手段の異なる端末間でも通信することができる。

iモード関連

iモードセンター

情報サービス提供者と携帯電話とを中継している。また、携帯電話のユーザが携帯電話の電源を切っていたりiモードサービスエリアの圏外にいたりして、メッセージやメールを届けられなかったときにはそれらを保管する。

iモードメール

「iモード」携帯電話でのメール。
iモード同士だけではなく、インターネットメールアドレスを持っている人となら誰でも電子メールが送受信できる。
iモードセンターでのiモードメールの保存件数は最大20件、保存期間は30日間。（720時間）

サイト 「iモード」で提供されている公認コンテンツ番組のこと。

メッセージ サイトによって提供される情報のこと。
サイトとの契約が必要なメッセージリクエスト（メッセージR）とサイトとの契約が不要なメッセージフリー（メッセージF）がある。
iモードセンターでのメッセージの保存件数には制限があり、保存期間は3日間。（72時間）

インターネット関連

DNSサーバ インターネットに接続されているコンピュータは、実際にはIPアドレスという数値で識別される。
（例：204.123.34.56）
DNS（Domain Name System）とは、IPアドレスとドメイン名を対応させるシステムで、その管理を行うサーバをDNSサーバという。

POP3サーバ POP（Post Office Protocol）は、自分宛の電子メールを自分のコンピュータに取り込むための通信規約。
POPサーバとは、この規約に基づいて電子メールを取り込ませるコンピュータのこと。

SMTPサーバ SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）はインターネットで電子メールを転送するための標準通信規約。
SMTPサーバとは、この規約に基づいて電子メールを送受信するコンピュータのこと。

URL（Uniform Resource Locator） インターネット上のページリリースの場所を示す文字列。

WWW（World Wide Web） インターネットのサービスのひとつ。
インターネット上に公開されている様々なデータを利用して、情報を文字、画像などで得ることができる。

2.用語説明

画像ファイルの形式	コンピュータで使用される画像ファイルの保存形式は主に以下の3種類がある。インターネットで使用されるのは、主にGIFとJPEGである。 ・GIF ファイルサイズが小さく表示がJPEGより比較的速い。 ・JPEG カラー静止画像、写真データの保存に適した形式。 ・BMP Windowsの標準画像ファイル形式。
電子メール (Electric Mail)	コンピュータネットワークを介してやりとりされる文書のこと。 Eメールやe-mailと略される場合もある。
ドメインネーム (Domain Name)	インターネットに接続されているコンピュータを識別するための名前。 ドメイン名ともいう。
ブックマーク (Bookmark)	ホームページのURLを登録、削除、呼び出す機能。
プロバイダ (Provider)	インターネットの接続業者のこと。 個人や一般企業がインターネットに接続するには、プロバイダを利用する。電話回線での接続、ホームページ開設などのサービスを提供している。
ホームページ (Homepage)	WWWサーバにあるデータ情報の総称。またはデータ情報の最初のページのこと。

3. 目的別索引

地図に関して

<地図の表示について>

■地図画面の見方を知りたい

「ナビゲーション画面の見方」……………P18

■地図記号について知りたい

「凡例」……………「取扱説明書クイックガイド編」

「VICS記号（凡例）」……………P162

■現在地を知りたい

「現在地の表示」……………P33

■現在地付近の地図を見たい

●現在地付近の地図を見たい

「地図の移動（ワンタッチスクロール）」……………P34

●移動方面の地名を知りたい

「スクロール方面名称の表示を設定する」……………P35

■地図に表示されているタッチスイッチを消去したい

「タッチスイッチの表示」……………P36

■地図の大きさ（縮尺）をかえたい

●200Kmスケール～50mスケールの間で切り替えたい

「地図縮尺の切り替え」……………P37

●25mスケール（市街図表示）に切り替えたい

「市街図の表示」……………P38

■地図の表示方法をかえたい

●地図の向いている向きをかえたい

「地図向きの切り替え」……………P40

●車の進行方向の地図を広げたい

「フロントワイド表示の切り替え」……………P41

●画面を2分割して表示させたい

「2画面表示の切り替え」……………P42

●ハイウェイモードを表示させたい

「ハイウェイモード画面」……………P44

●地図を立体的に表示させたい

「3D表示の設定」……………P46

3. 目的別索引

■地図にさまざまな情報を表示させたい

- 立体的な施設マークを表示させたい
「立体ランドマークの表示」……………P56
- 施設（コンビニ・ガソリンスタンドなど）を表示させたい
「施設の表示」……………P58
- 目的地に到着する時間を表示させたい
「到着予想時刻の表示」……………P111
- 観光地の位置を表示させたい
「観光地名称の表示設定」……………P54
- 交差点・インターチェンジなどを吹き出しで表示させたい
「ポップアップ表示の設定」……………P55

■地図の画質をかえたい

- 明るさやコントラストをかえたい
「画面の調整」……………P27
- 地図の色をかえたい
「地図の表示色の切り替え」……………P28

<地図の呼び出しについて>

■地図を呼び出したい

- 「地図の呼び出し方法」……………P62
- 施設の名称または住所の一部を入力して呼び出したい
「50音で地図を呼び出す」……………P64
- 施設を検索して呼び出したい
「施設で地図を呼び出す」……………P68
- 電話番号を入力して呼び出したい
「電話番号で地図を呼び出す」……………P70
- 住所を検索して呼び出したい
「住所で地図を呼び出す」……………P72
- 郵便番号を入力して呼び出したい
「郵便番号で地図を呼び出す」……………P73
- 登録した地点から呼び出したい
「メモリ地点で地図を呼び出す」……………P73
- 以前の目的地から呼び出したい
「目的地履歴から地図を呼び出す」……………P74
- マップコードを入力して呼び出したい
「マップコードで地図を呼び出す」……………P74

目的地案内に関して

<目的地案内を開始する前に>

■目的地を決めたい

「目的地の設定」……………P 82

■案内を開始させたい

「案内の開始」……………P 105

■案内をする前にデモを見たい

「デモンストレーション（デモ）」……………P 106

■表示されているルート以外のルートを知りたい

「5ルート同時表示」……………P 90

<目的地案内を開始する前に、または目的地案内中に>

■目的地までのルート（案内道路）を知りたい

「ルート情報（案内道路情報）の表示」……………P 89

■目的地に到着する時間を知りたい

「到着予想時刻の表示」……………P 111

■目的地を追加したい

「目的地の追加」……………P 92

■通るインターチェンジ（IC）を決めたい

「出入口インターチェンジ（IC）の指定」……………P 98

■通る道路を決めたい

「通過道路の指定」……………P 100

■表示されているルートをかえたい

「探索条件の変更」……………P 94

3. 目的別索引

<目的地案内中に>

■ 音声案内の音量をかえたい

「音声の設定」 P 30

■ 案内をやめたい

● 目的地を消去せずに案内を一時的に中止したい

「案内の中止・再開」 P 105

● 目的地を消去して案内を中止したい

「目的地の消去」 P 96

■ 全ルート図を表示させたい

「全ルート図の再表示」 P 120

■ 表示されているルートをかえたい、または表示されているルートからはずれてしまった

「ルートの再探索」 P 125

VICS

<VICSについて>

■ VICS放送を受信したい

「VICS提供放送局の選択」 P 152

■ VICS情報を地図に表示させたい

「VICS情報の表示」 P 154

■ VICS文字情報を表示させたい

「VICS文字情報の表示」 P 157

■ VICS図形情報を表示させたい

「VICS図形情報の表示」 P 158

■ VICS記号について知りたい

「VICS記号」 P 162

情報

<情報について>

■FM多重放送を表示させたい

「FM多重放送」……………P169

■車両のメンテナンス時期を記憶させたい

「メンテナンス機能」……………P173

■施設の情報（住所・料金など）が知りたい

「レジャーインフォメーション（レジャー *i*）の検索」……………P181

「情報付施設の検索」……………P186

■施設の電話番号が知りたい

「電話帳機能」……………P180

■カレンダーにメモを記憶させたい

「カレンダー機能」……………P182

オプション機能

<オプション機能について>

■iモードを表示させたい

「iモードの操作」……………P235

■インターネットを表示させたい

「インターネットの操作」……………P220

■ハンズフリーで電話を操作したい（ハンズフリー）

「ハンズフリー機能の操作」……………P258

■緊急時の通報をしたい（ヘルプネット）

「ヘルプネットの操作」……………P269

■ETCの表示・操作をしたい

「ETCの操作」……………P290

■車両の駐車補助をしたい

「バックモニターの操作」……………P294

3. 目的別索引

その他

<便利な機能>

■操作の手引きとなる説明音声がかきたい

「操作説明音声の設定」 P 31

■地図に目印を付けたい

●自宅の目印を付けたい

「自宅の登録」 P 129

●覚えておきたい場所の目印を付けたい

「メモリ地点の登録」 P 131

「特別メモリ地点の登録」 P 141

<わからなくてお困りのとき>

■リスト画面の動かし方がわからない

「リスト画面の切り替え方」 P 24

■タッチスイッチの機能が知りたい

「ヒント機能」 P 26

■操作手順が知りたい

「デモ機能」 P 168

■画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」 P 302

■故障がどうかかわからない

「故障とお考えになる前に」 P 307

■GPSマークが表示されていない

「GPSについて」 P 20

4.索引

五十音順

ア

インターチェンジ（IC）の指定	98
インターネット	220
迂回メモリ地点の登録	144
音声案内	117
音声操作システム	190
音量を調節する	30
全ルートスクロール	121

カ

画面の調整	27
カレンダー機能	182
季節規制区間の表示	88
距離の補正	298
県境お知らせ	57
現在地の表示	33
交差点案内	107
高速分岐案内	115

サ

残距離表示の切り替え	120
シーズンレジャーランドマークの表示	53
市街図の表示	38
自転車位置マーク	18
施設の表示	58
自宅の登録	129
自動再探索	126
車両情報を設定する	114
スケール表示	18
精度と誤差について	328
接続先の設定	218

全ルート図表示	86
操作説明音声の設定	31

タ

タッチスイッチ	36
地図縮尺の切り替え	37
地図DVD-ROMの情報表示	301
地図の呼び出し方法	62
地点の登録	128
通過道路の指定	100
デモンストレーション（デモ）	106
電話機の接続	216
電話帳機能	180
到着予想時刻の表示	111
道路形状警告	110
特別メモリ地点の登録	141
都市高速マップ	116

ナ

ナビゲーション画面の見方	18
ノースアップ表示	40

ハ

バーチャタウンマップ	46
ハートフル音声の設定	32
ハイウェイモード画面	44
バックモニターの操作	294
ハンズフリー	258
販売店の設定	178
ビジュアルシティマップの表示	52
昼画表示	27
ピンポイントで検索	75
フェリー航路	110
フロントワイド表示	41

4.索引

平均車速を設定する	112
ヘディングアップ表示	40
ヘルプネット	269
方位マーク	18

マ

マップコード	74
マップマッチング	327
メニュー画面	22
メモリ地点の登録	131
メモリ地点の名称入力	137
メンテナンス機能	173
目的地案内の 開始・中止・再開	105
目的地の設定	82
目的地履歴の消去	147

ヤ

夜画表示	27
------------	----

ラ

立体ランドマークの表示	56
料金案内	113
ルート情報（案内道路情報）	89
ルート探索	85
ルートの再探索	125
レーン（車線）リスト図表示	109
レジャー <i>i</i> の検索	181

ワ

ワンタッチスクロール	34
------------------	----

アルファベット/数字

E

ETCシステム	289
---------------	-----

F

FM多重放送	169
--------------	-----

G

GPS	20
iモード	235

V

VICS	148
------------	-----

数字

2画面表示	42
3D表示	46
5ルート同時表示	90

MEMO

MEMO

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。
©富士通テン株式会社 2003

090002-25850700
0309K (N)